

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

変動地形に基づいたリニアメントの判読結果の凡例

- L₅ 変動地形である可能性が高い
- L₄ 変動地形である可能性がある
- L₃ 変動地形である可能性が低い
- L₂ 変動地形である可能性は非常に低い

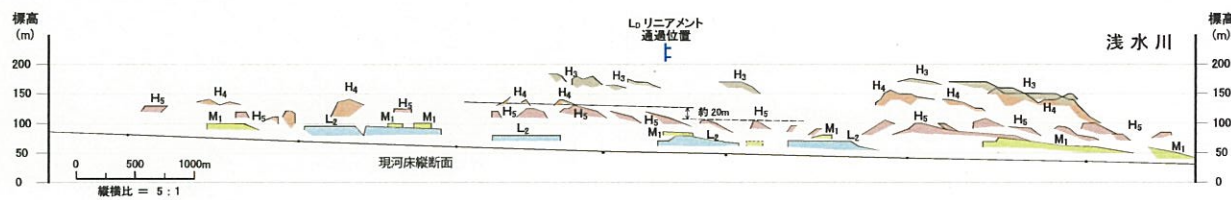
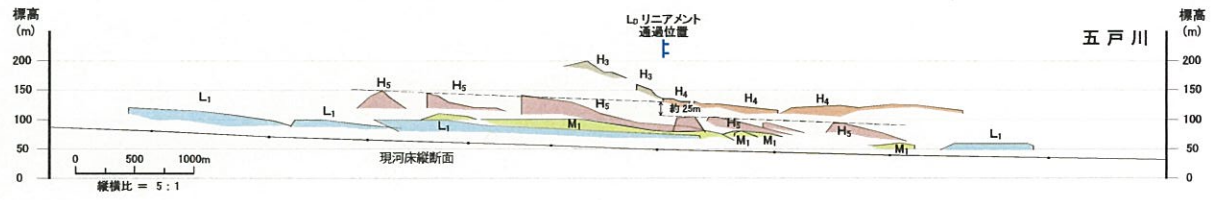
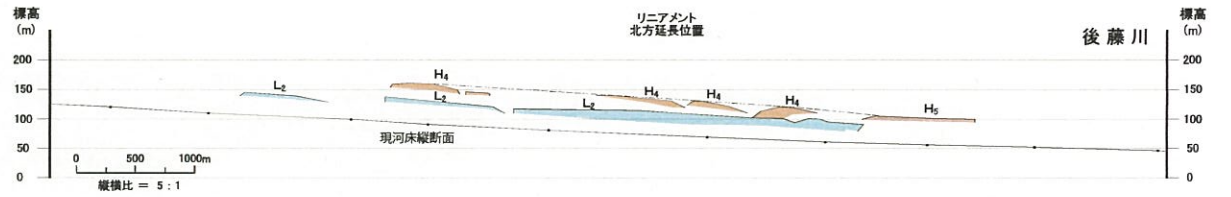
○短線は、低い地形の方向を示す。
○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

↓↓ 段丘面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。

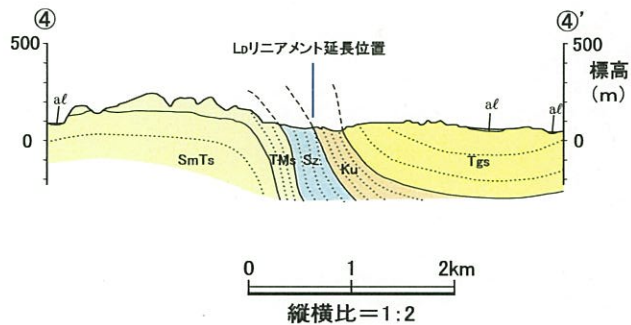
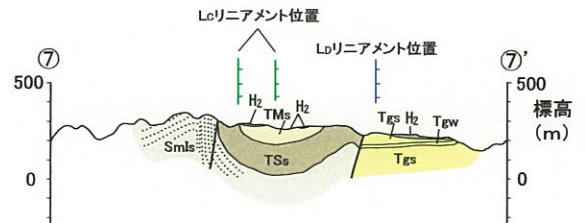
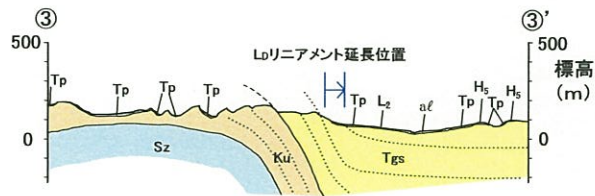
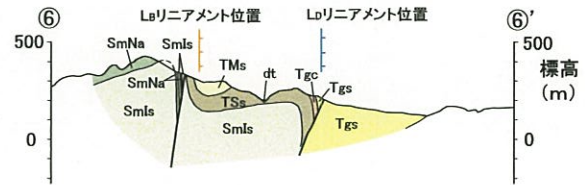
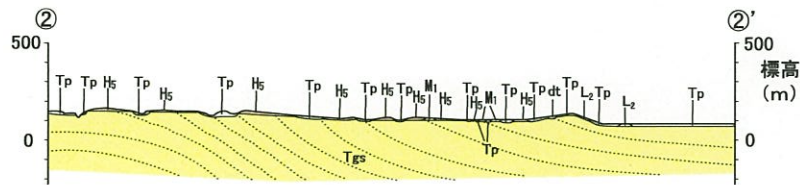
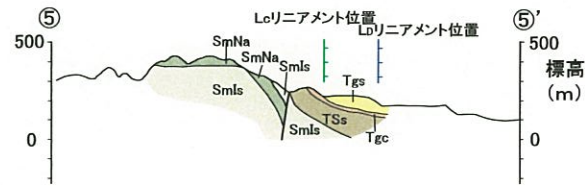
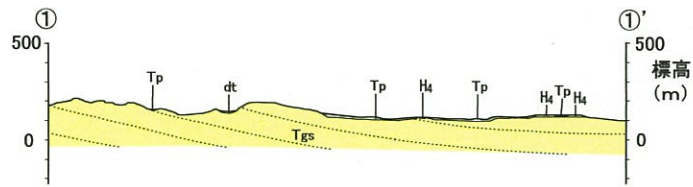
●本地域にL₀リニアメントは判読されない。

地形面区分凡例

dt	扇状地面	
L ₅	L ₅ 面	低位面
L ₄	L ₄ 面	
L ₃	L ₃ 面	
L ₂	L ₂ 面	
L ₁	L ₁ 面	
M ₃	M ₃ 面	中位面
M ₂	M ₂ 面	
M ₁	M ₁ 面	
H ₅	H ₅ 面	高位面
H ₄	H ₄ 面	
H ₃	H ₃ 面	
H ₂	H ₂ 面	
H ₁	H ₁ 面	
		断面位置



第4.2-113図 折爪断層北部の段丘面高度分布図
4-4-360



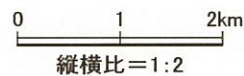
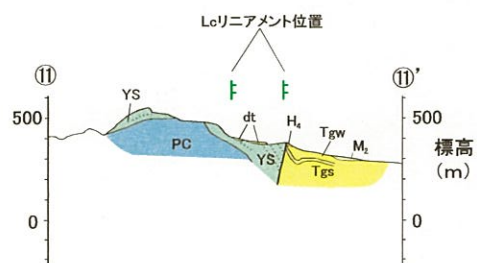
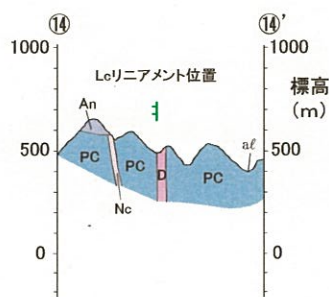
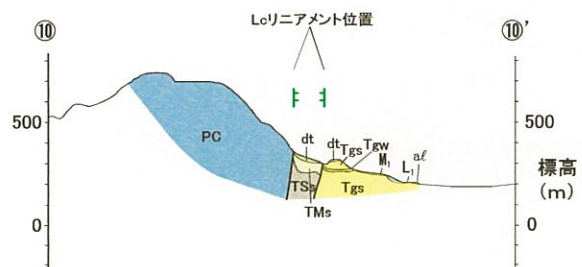
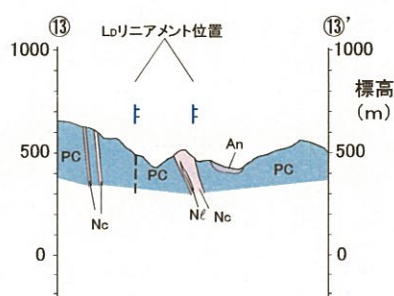
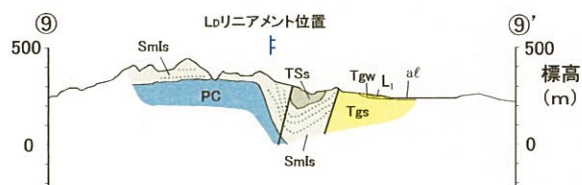
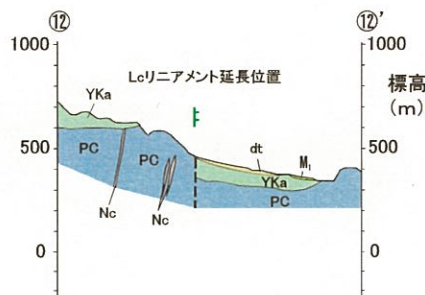
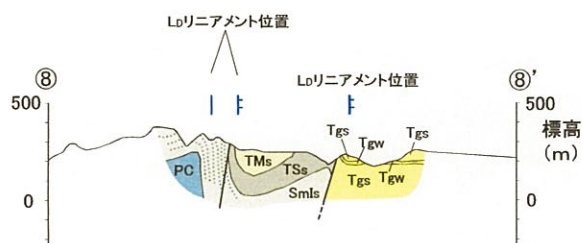
地質凡例		
地質時代	地層名	記号
完新世	沖積層	al
	崖錐堆積層	dt
第四紀	十和田火山軽石流堆積物	Tp
	後期 低位段丘堆積層	Lz
	中期 中位段丘堆積層	M1
	前期 高位段丘堆積層	Hs
鮮新世	斗川層	Tgs, Tgw, Tgc
	久保層	Ku
	舌崎層	Sz
第三紀	留崎層	TMs, TSs
	高屋敷粗粒砂岩部層	SmTs
	名久井岳安山岩部層	SmNa
	五日町砂岩部層	Smls

変動地形に基づいたリニアメントの判読結果の凡例	
LA	変動地形である可能性が高い
LB	変動地形である可能性がある
LC	変動地形である可能性が低い
LD	変動地形である可能性は非常に低い

○	短線の方向は、低い地形の方向を示す。
○	短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。
●	本地域に、LAリニアメントは判読されない。

—	地層境界線
---	断層線(---部は推定)
.....	層理

第4.2-115図(1) 折爪断層周辺の地質断面図



地質凡例

地質時代	地層名	記号	
第四紀	更新世	沖積低地堆積層	aL
	後期	崖錐堆積層	dt
		低位段丘堆積層	L1
	中期	中位段丘堆積層	M2
高位段丘堆積層		M1	
鮮新世	斗川層	Tgs	砂岩・泥岩
		Tgw	凝灰岩互層
	留崎層	TMs	目時貝殻砂岩部層
		TSs	宮沢砂岩部層
末ノ松山層	Smls	五日町砂岩部層	
	YS	傾城峠安山岩部層	
四ツ役層	YS	双畑互層部層	
	中・古生代	中・古生層	PC
		Nc	チャート
		Nc	石灰岩
	年代不詳	An	安山岩
		D	貫入岩

——— 地層境界線
 ——— 断層線(---部は推定)
 層理

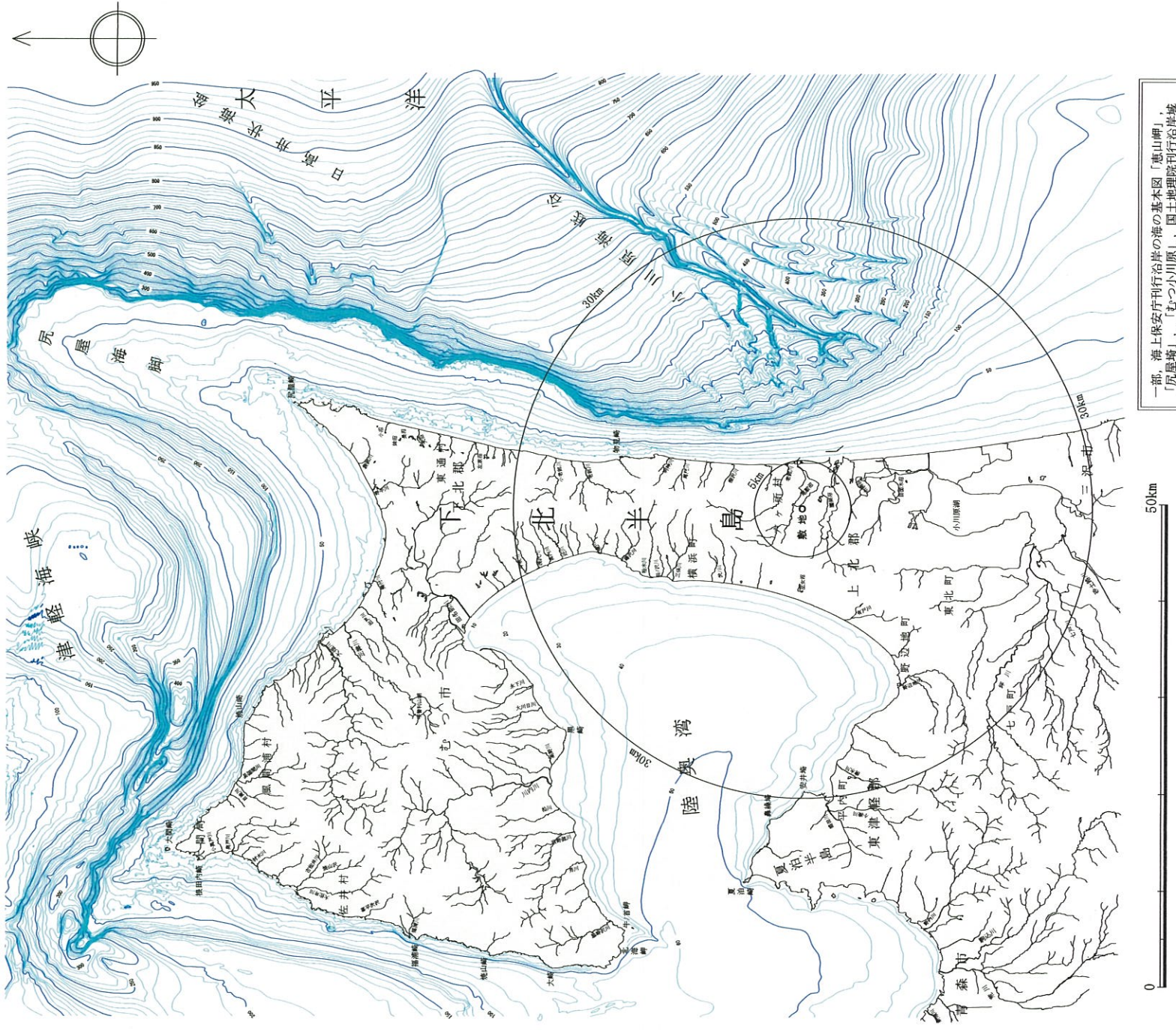
変動地形に基づいた リニアメントの判読結果の凡例

L_A 変動地形である可能性が高い
 L_B 変動地形である可能性がある
 L_C 変動地形である可能性が低い
 L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
 ○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

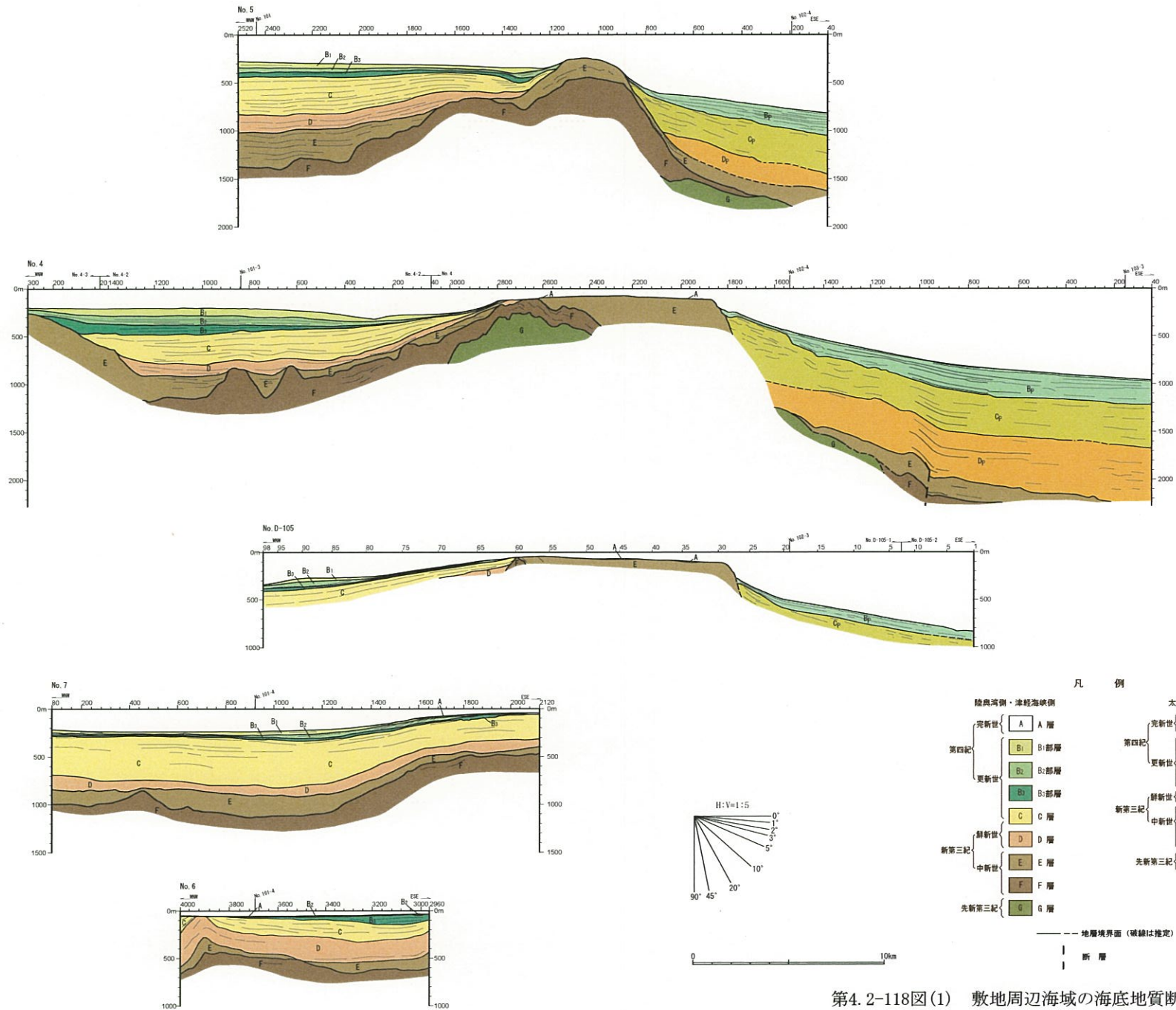
●本地域に、L_A及びL_Bリニアメントは判読されない。

第4.2-115図(2) 折爪断層周辺の地質断面図
4-4-363

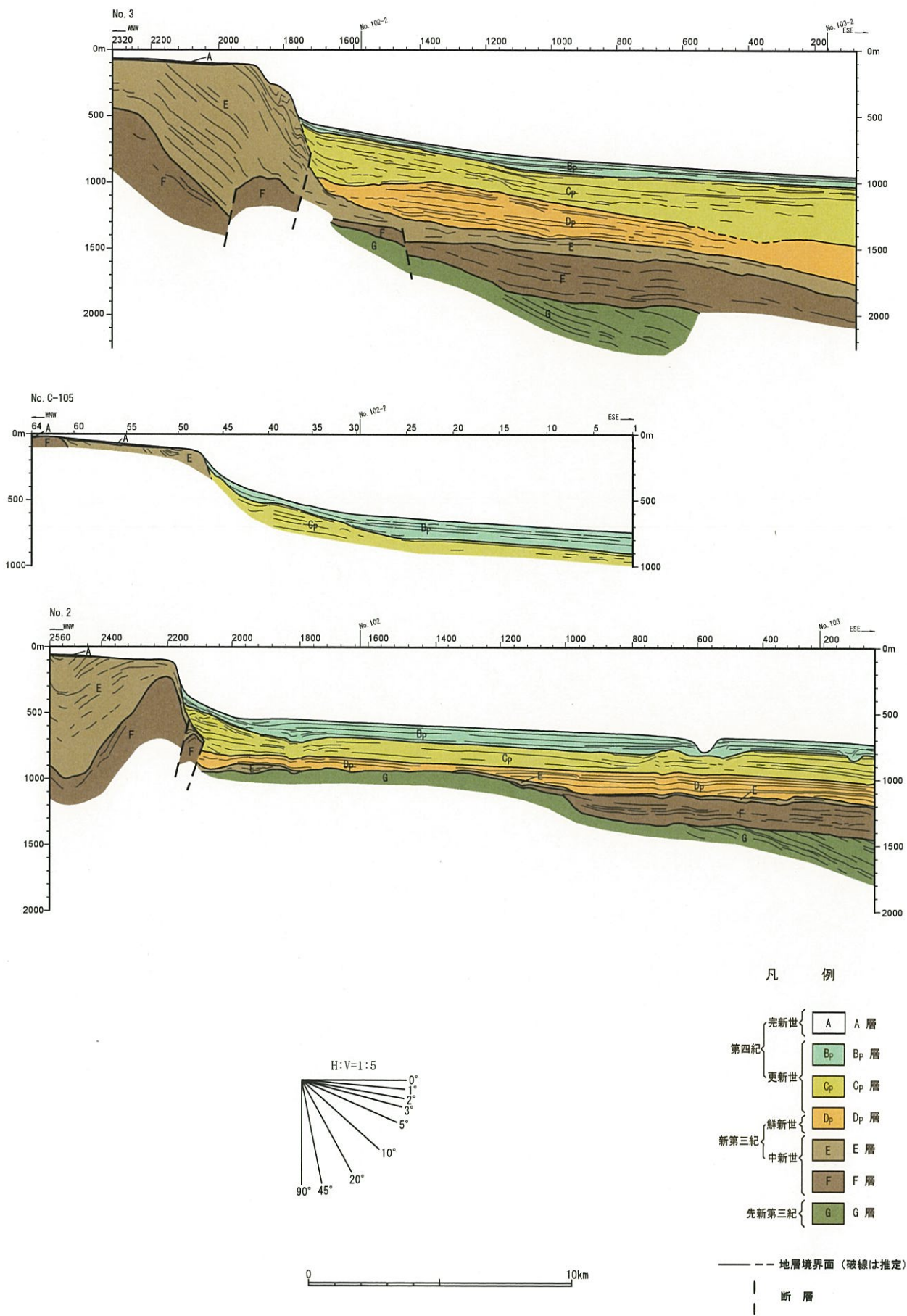


一部、海上保安庁刊行沿岸の海の基本図「恵山岬」「尻屋崎」、「むつ小川原」、国土地理院刊行沿岸城
 広域土地条件図「隠森湾」等から編纂したものである。

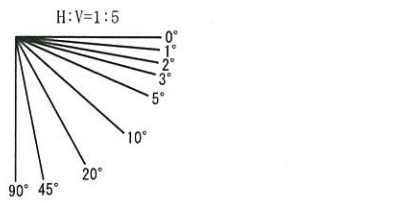
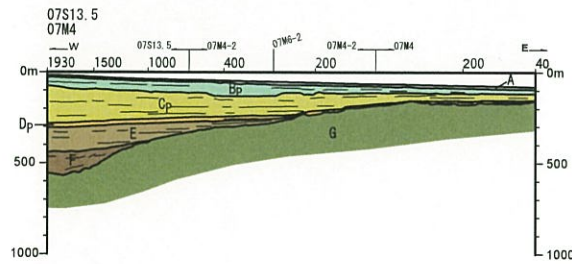
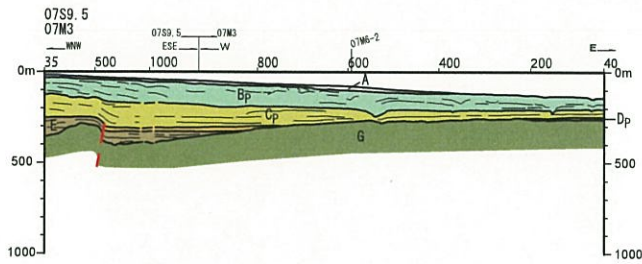
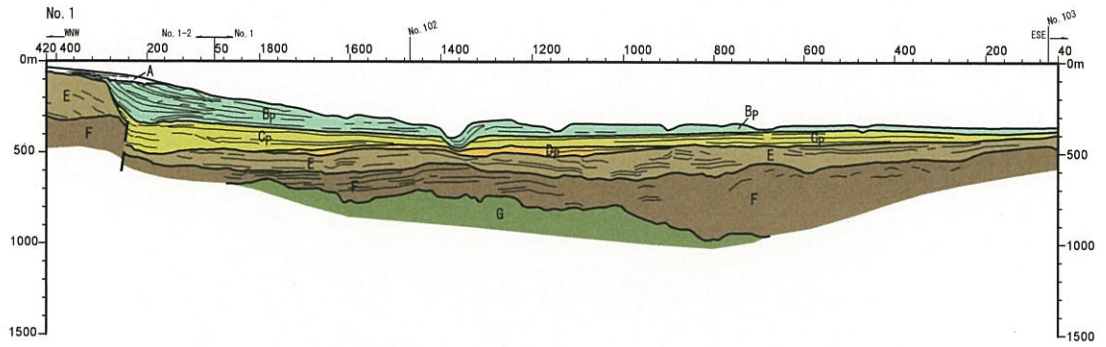
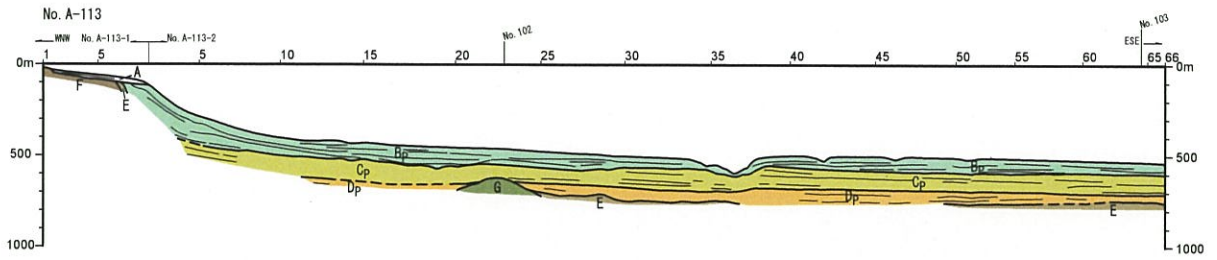
第4.2-116図 敷地周辺海域の地形図



第4.2-118図(1) 敷地周辺海域の海底地質断面図

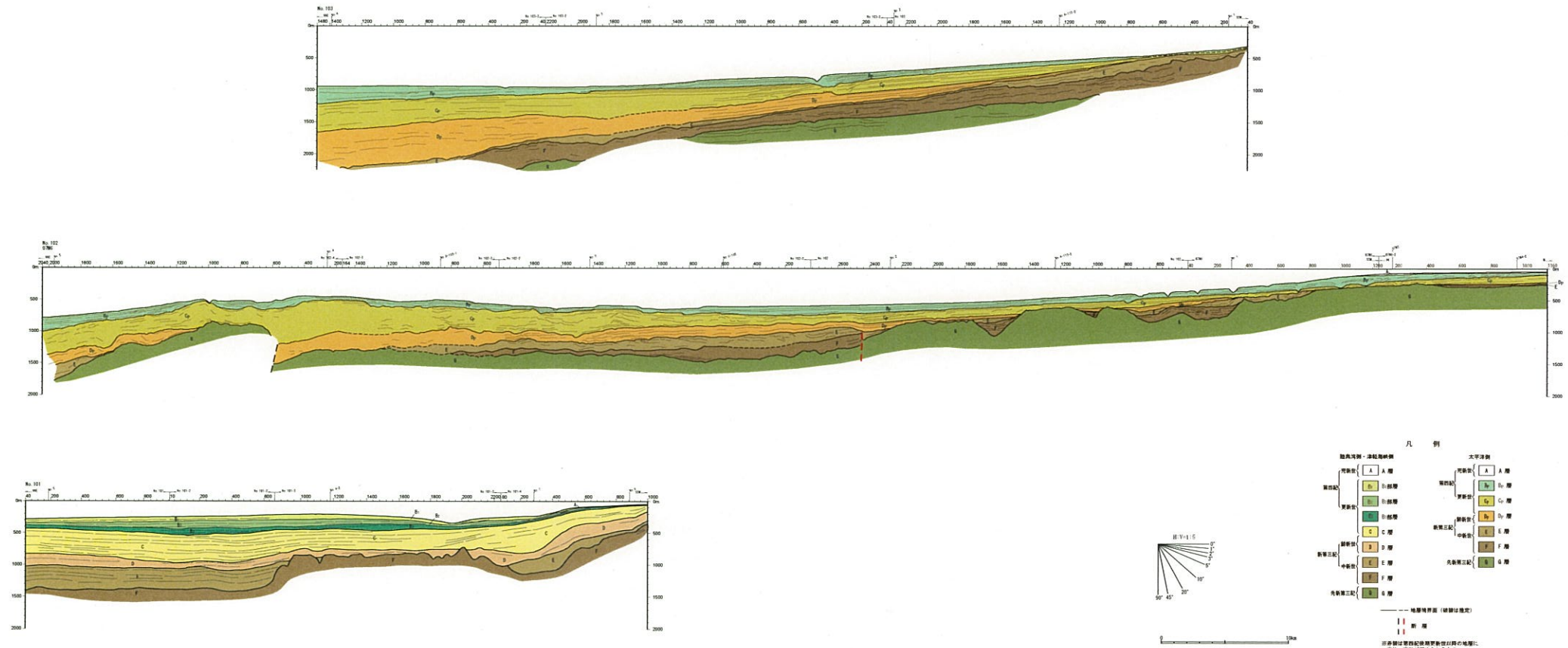


第4.2-118図(2) 敷地周辺海域の海底地質断面図

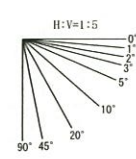
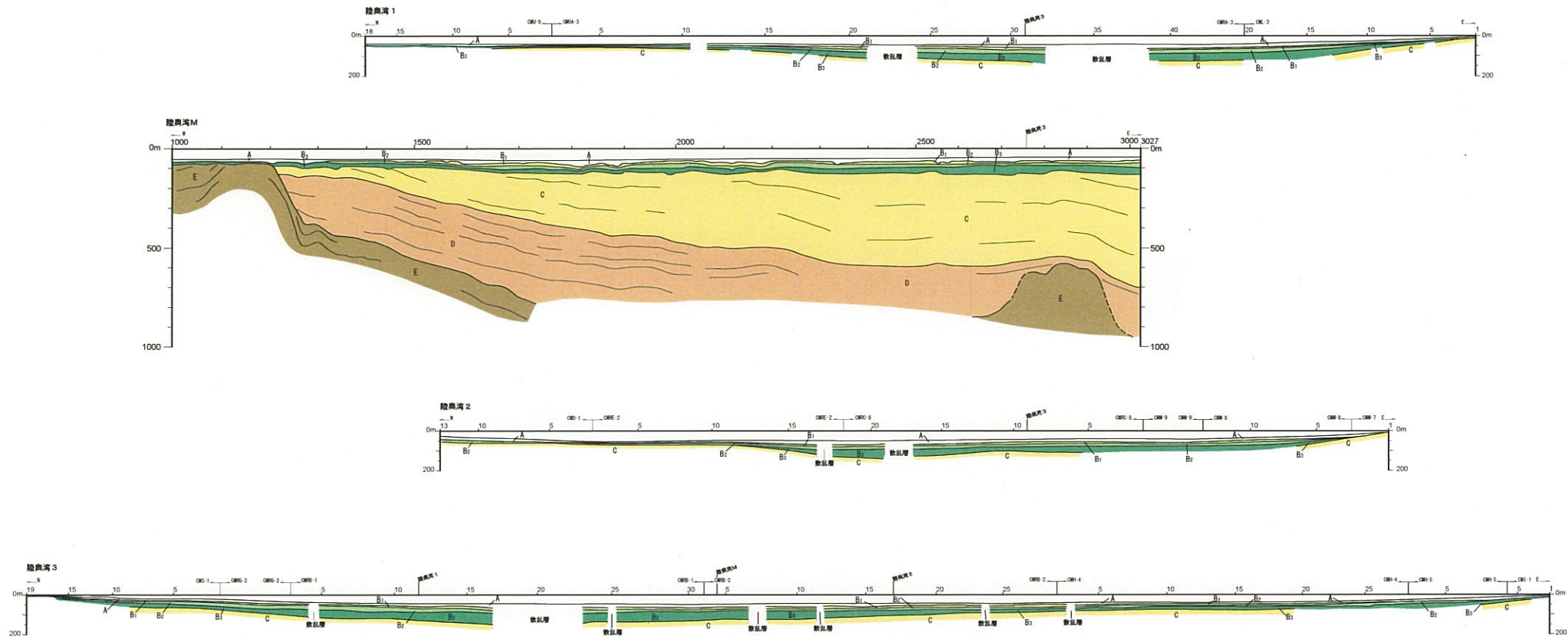


- 凡 例
- 第四紀
 - 完新世 { A 層
 - 更新世 { B_p 層
 - { C_p 層
 - 新第三紀
 - 鮮新世 { D_p 層
 - 中新世 { E 層
 - { F 層
 - 先新第三紀 { G 層
- — — 地層境界面 (破線は推定)
- || 断 層
- ※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第4.2-118図(3) 敷地周辺海域の海底地質断面図



第4.2-118図(4) 敷地周辺海域の海底地質断面図
 4-4-369



凡例

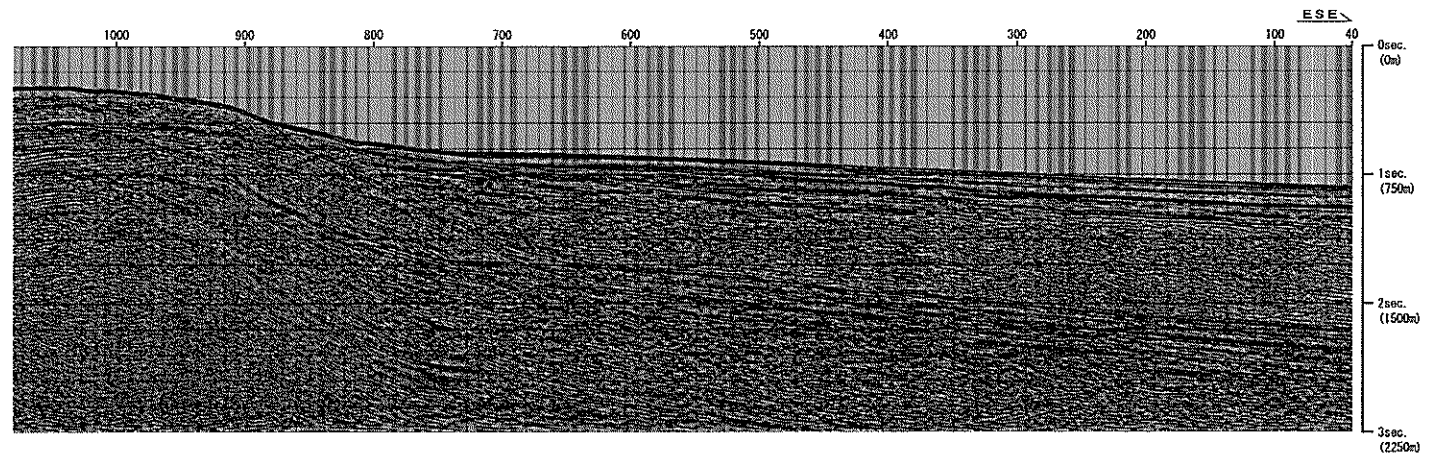
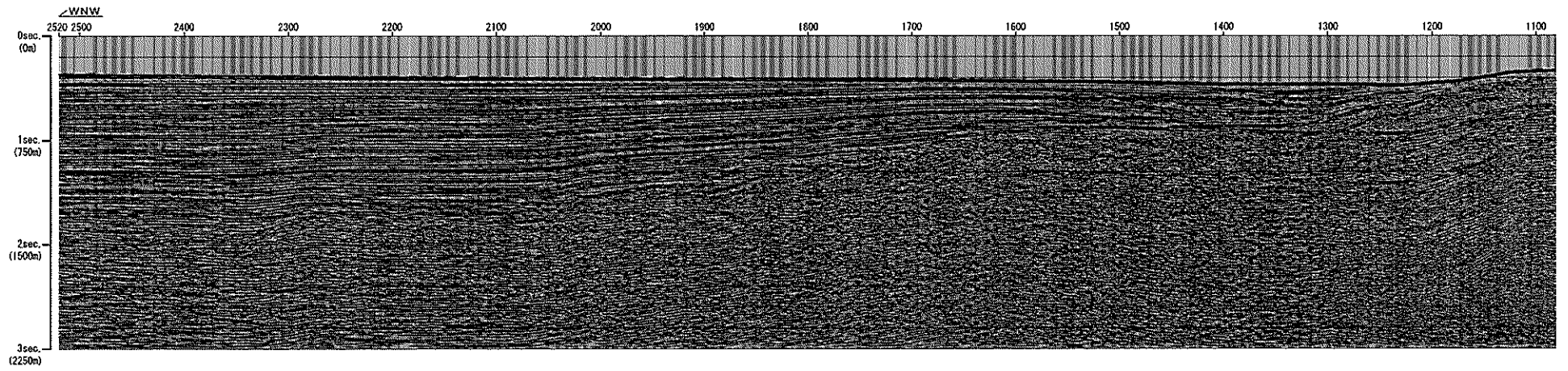
第四紀	完新世	A	A層
	更新世	B1	B1層
		B2	B2層
新第三紀	鮮新世	B3	B3層
		C	C層
	中新世	D	D層
		E	E層
先新第三紀	F	F層	
	G	G層	

--- 地層境界面 (破線は推定)
| 断層

※この図面は、以下の機関が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃が独自に解析・作成したものである。
陸奥湾1・陸奥湾2・陸奥湾3：国土地理院
陸奥湾M：(財)電力中央研究所

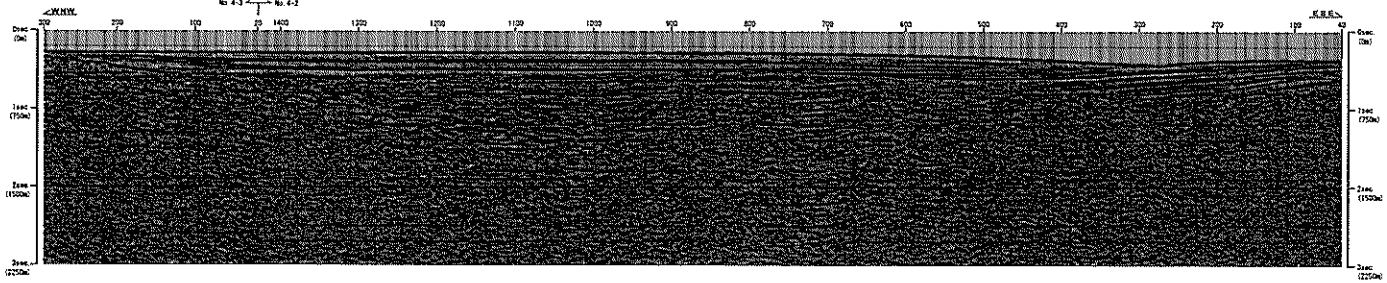
第4.2-118図(5) 敷地周辺海域の海底地質断面図

No. 5

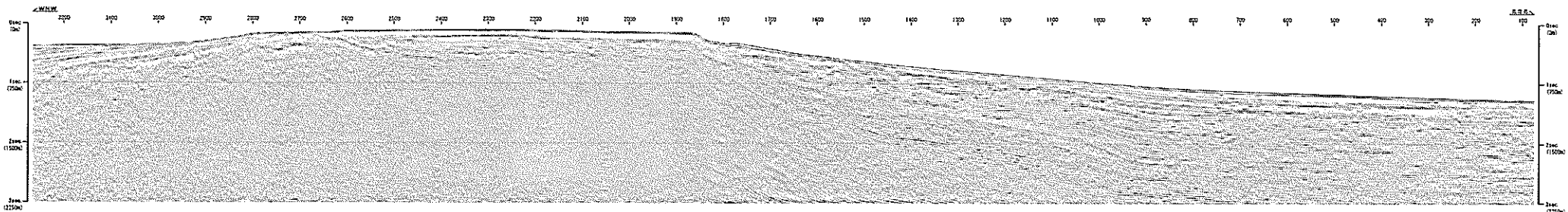


第4. 2-119図(1) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 4-3, No. 4-2

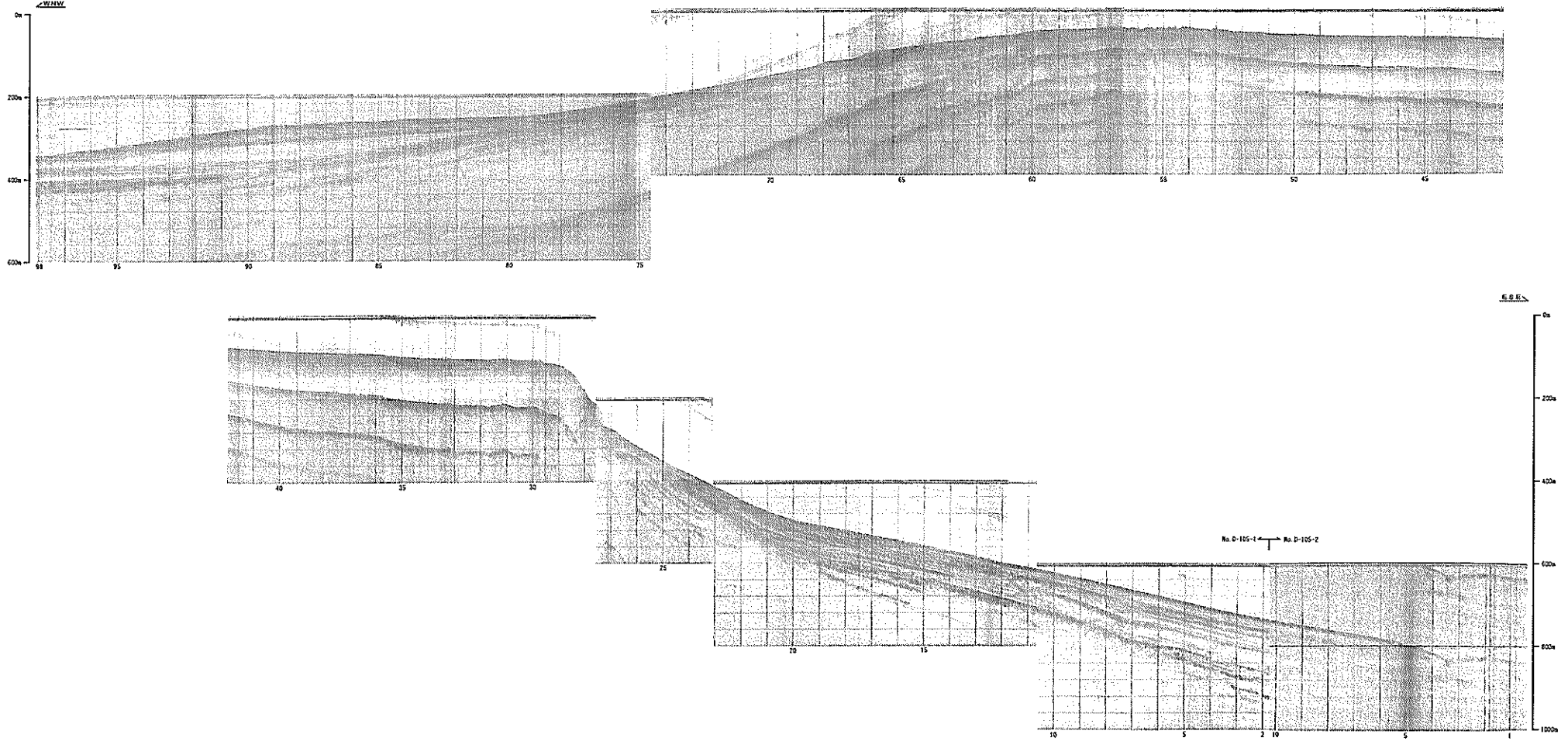


No. 4



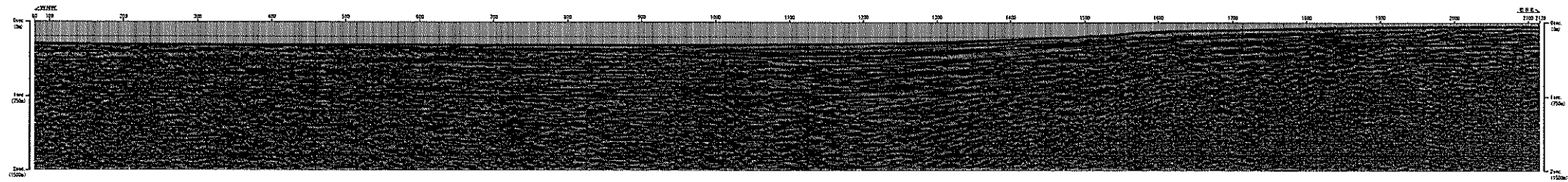
第4.2-119図(2) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. D-105

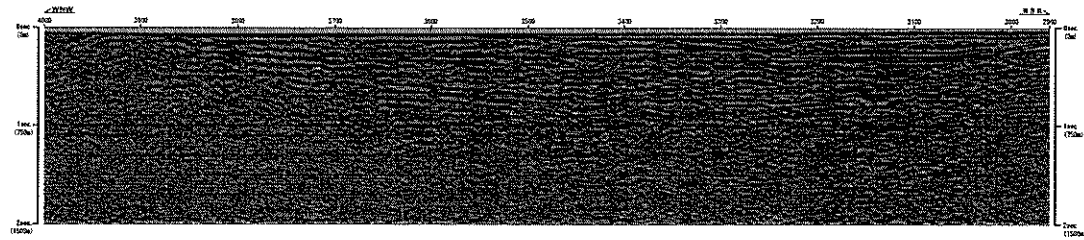


第4.2-119図(3) 敷地周辺海域の音波探査記録

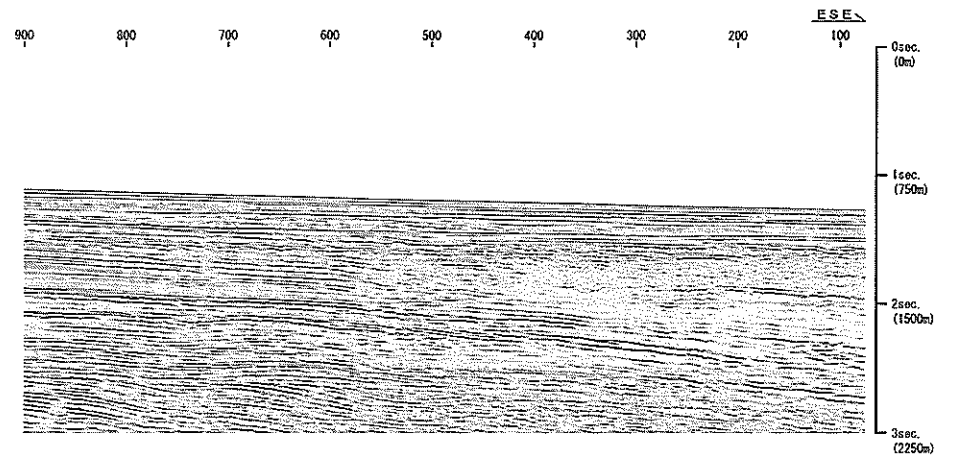
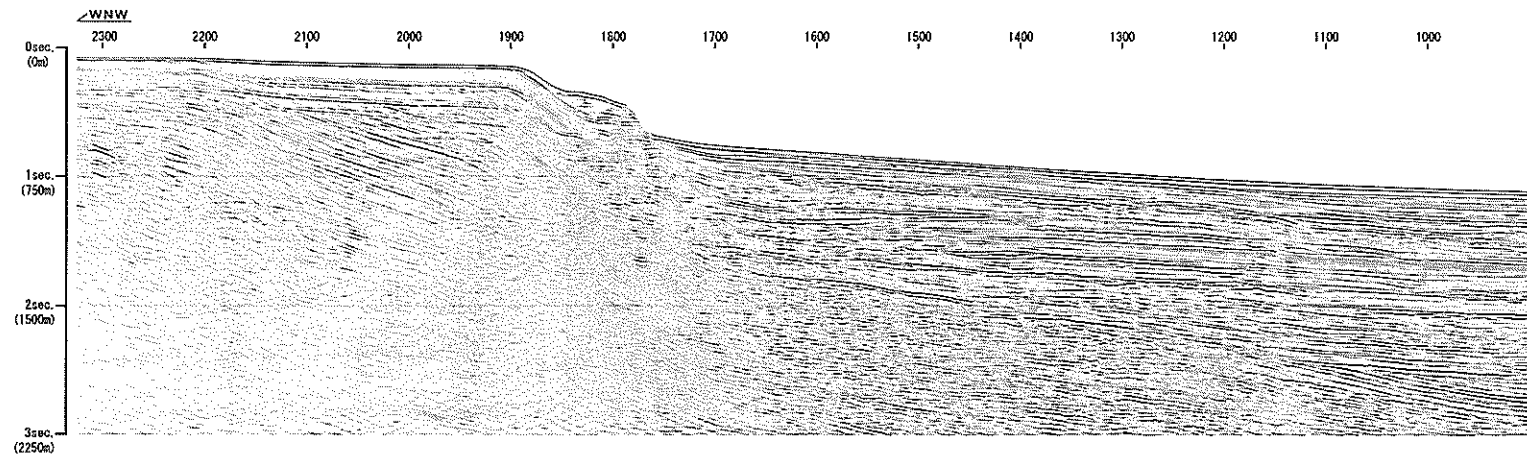
No. 7



No. 6

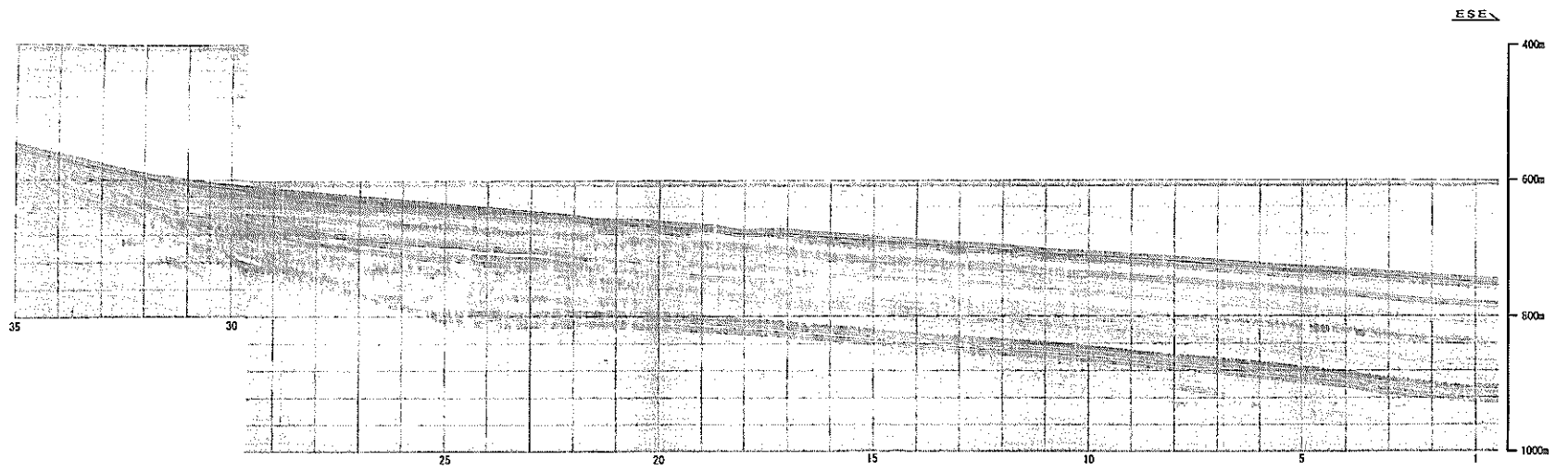
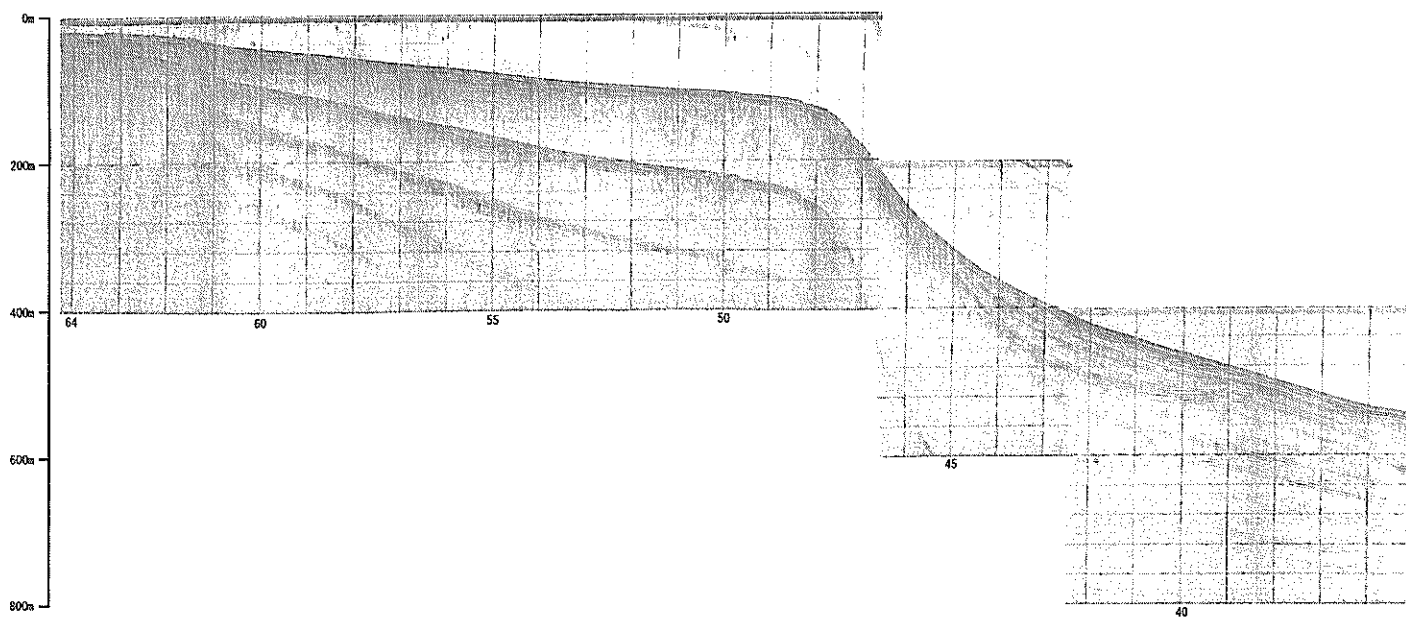


No. 3



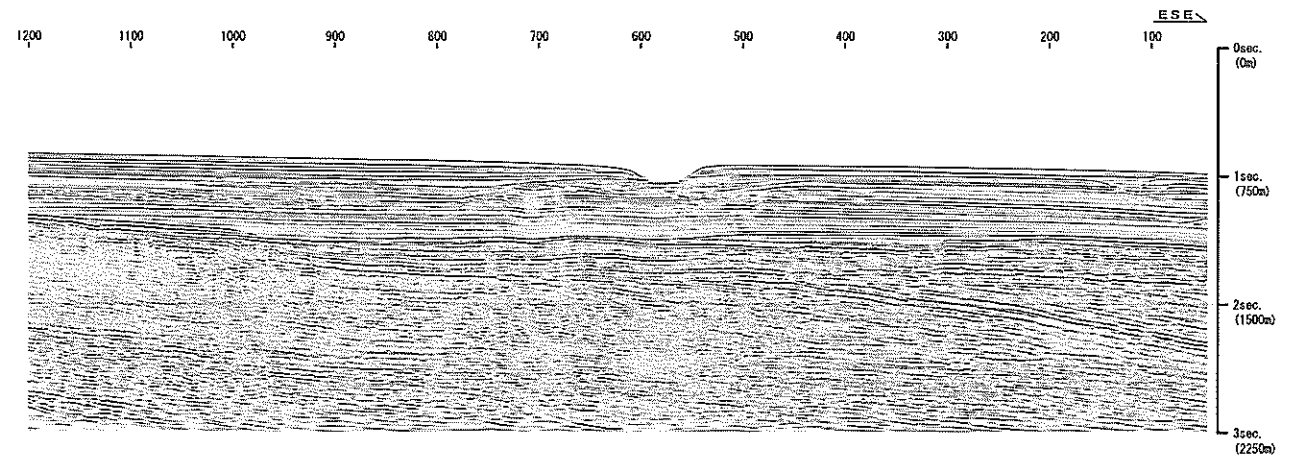
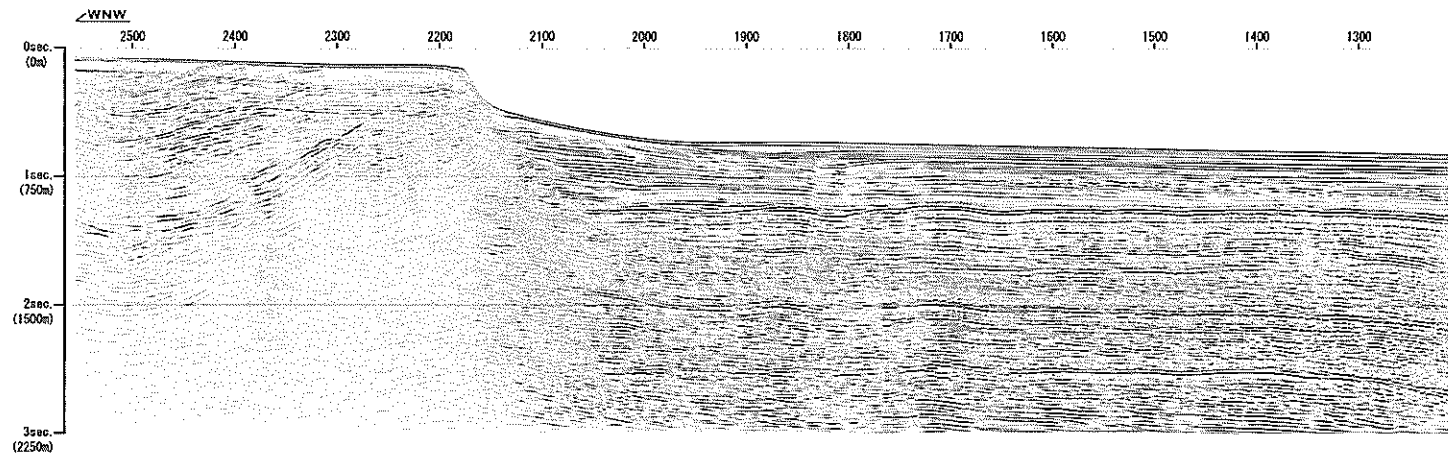
第4. 2-119図(5) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. C-105



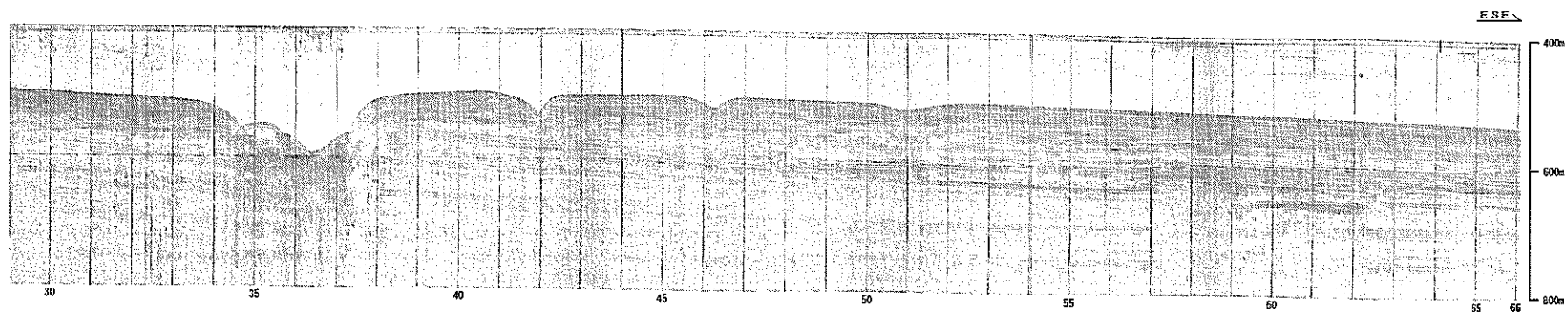
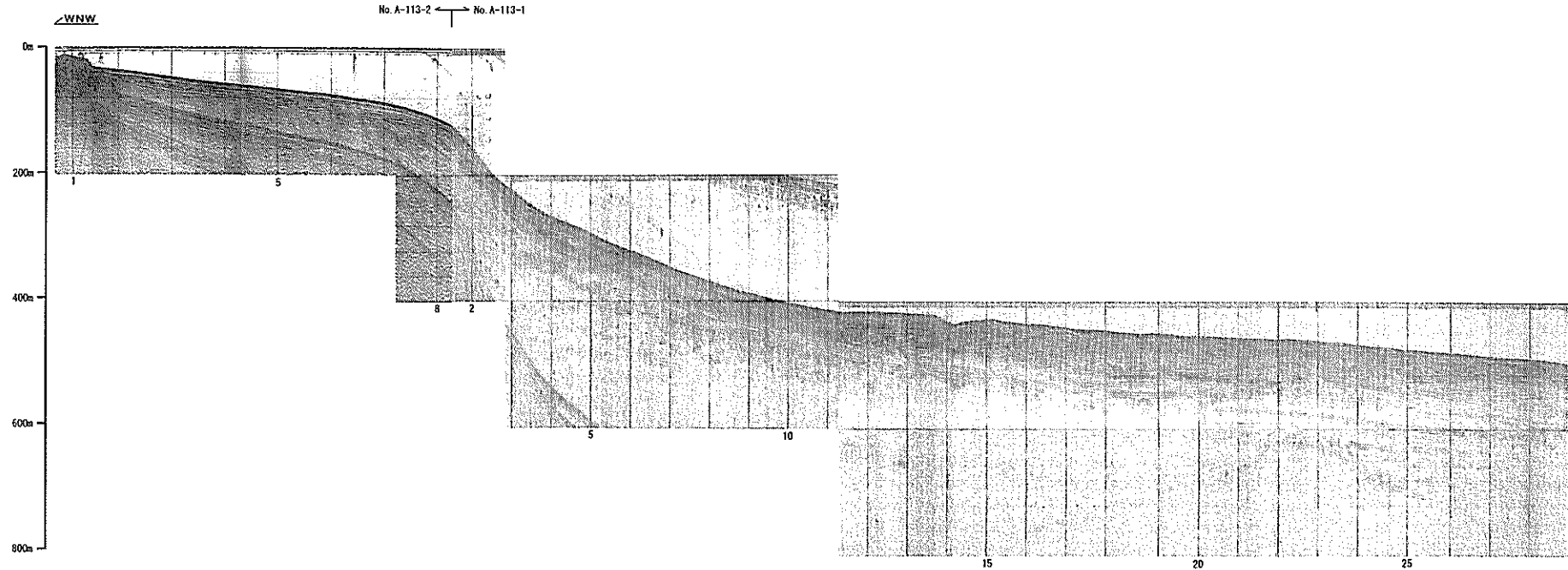
第4. 2-119図(6) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 2



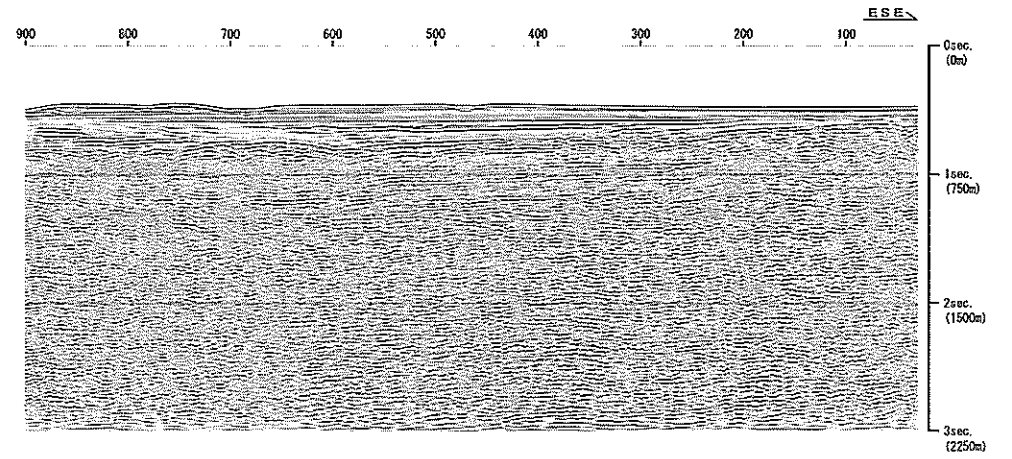
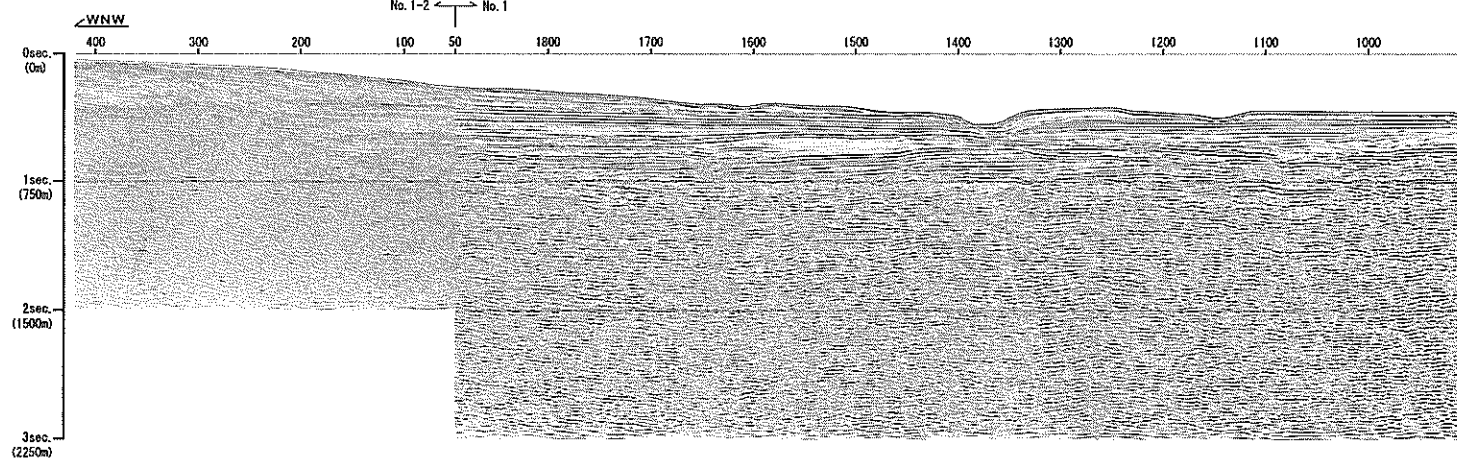
第4. 2-119図(7) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. A-113



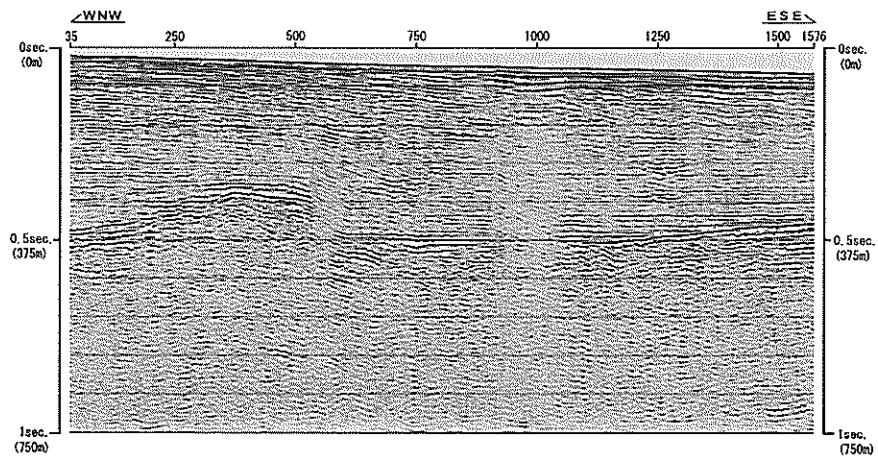
第4.2-119図(8) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 1

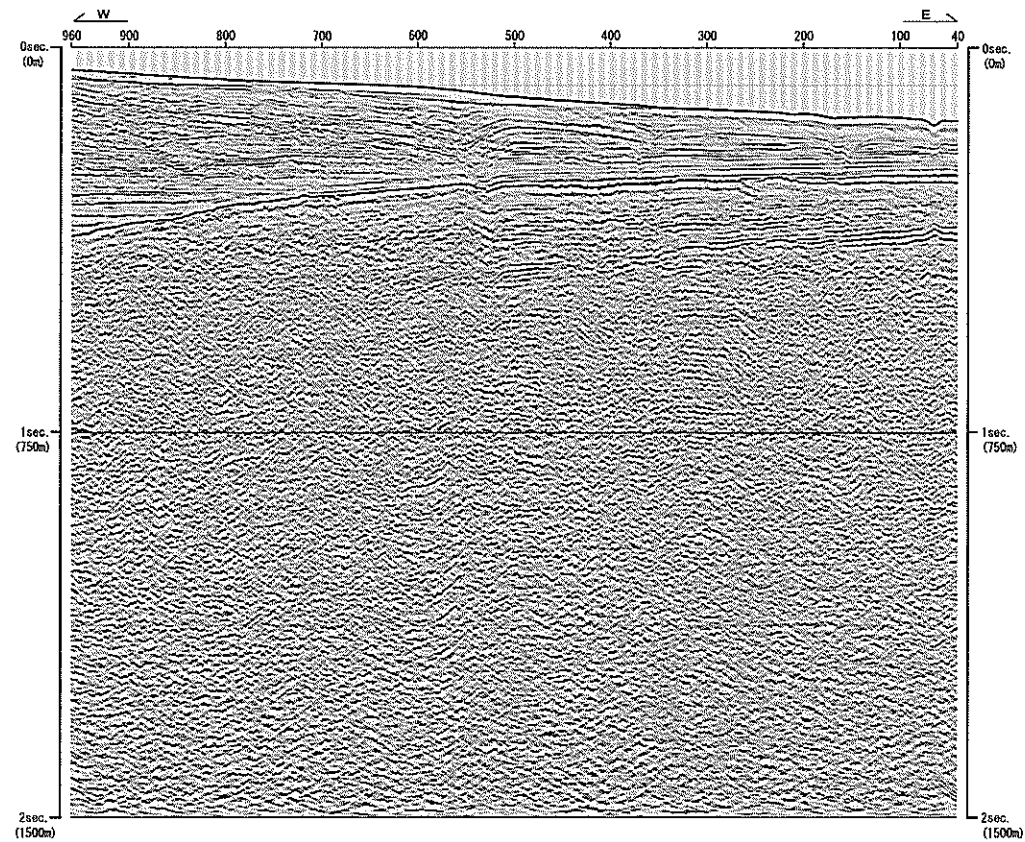


第4. 2-119図(9) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S9.5

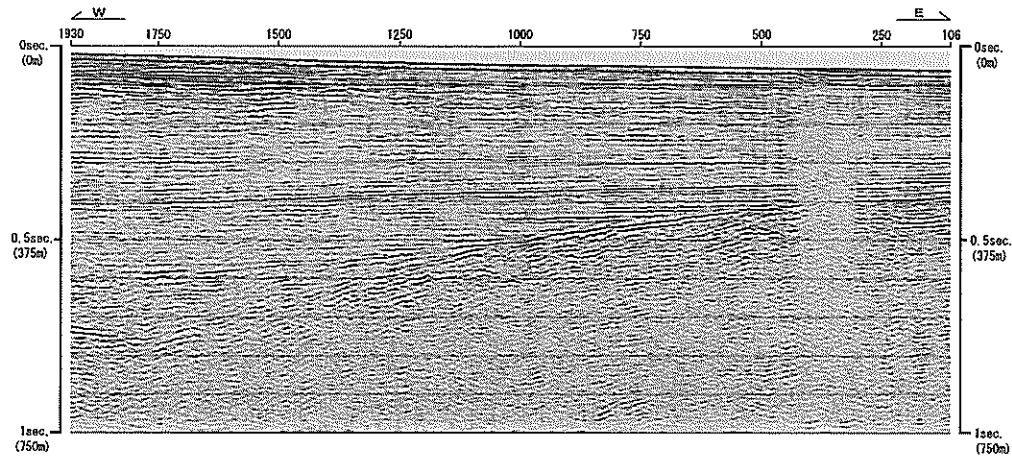


07M3

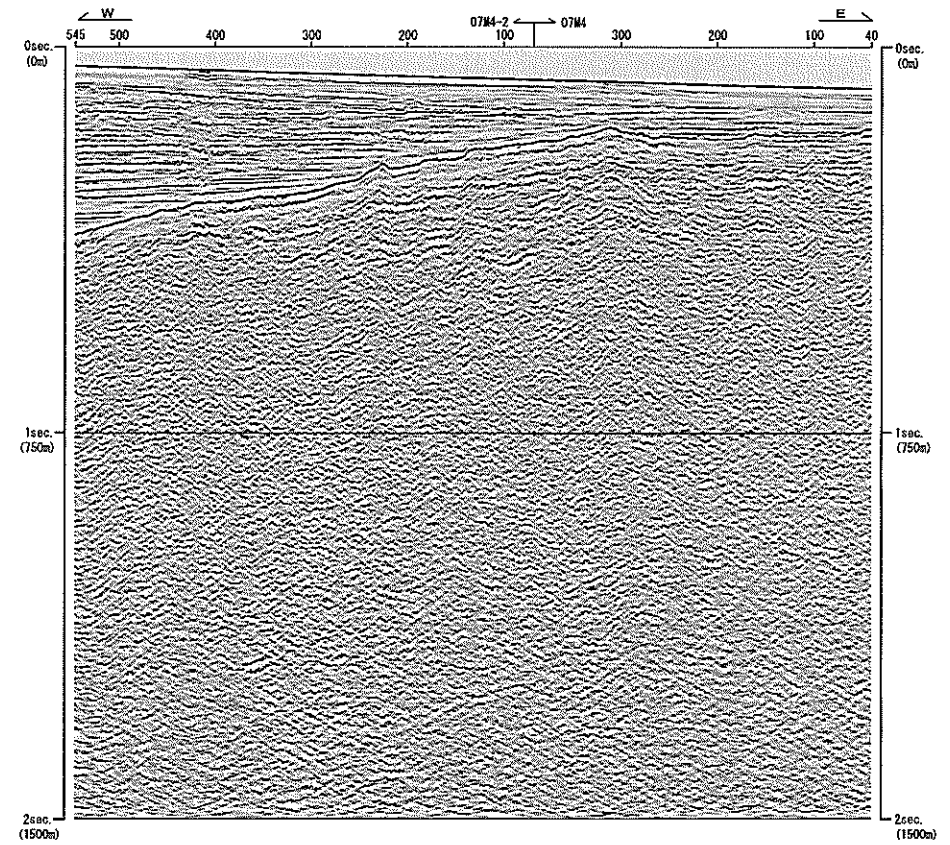


第4.2-119図(10) 敷地周辺海域の音波探査記録

07S13.5

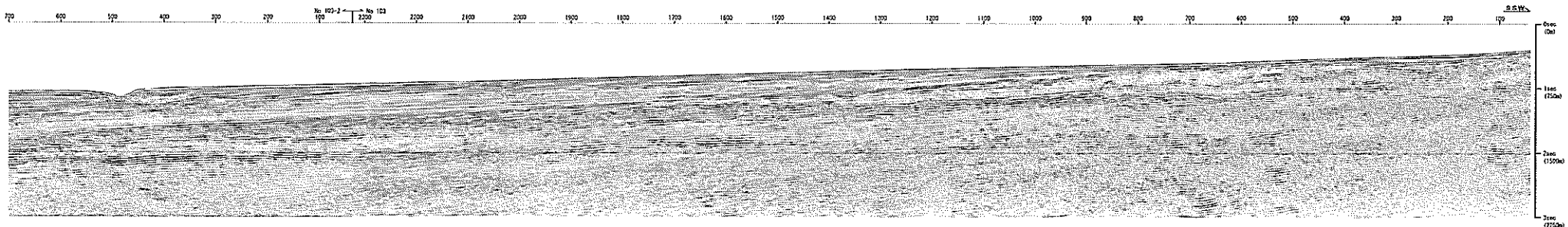
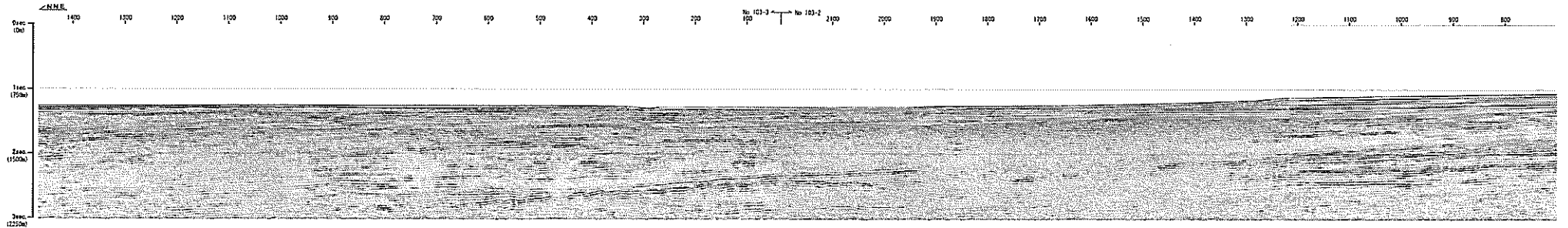


07M4



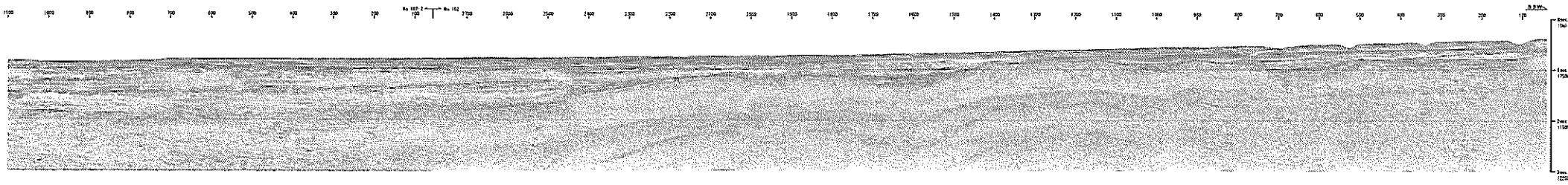
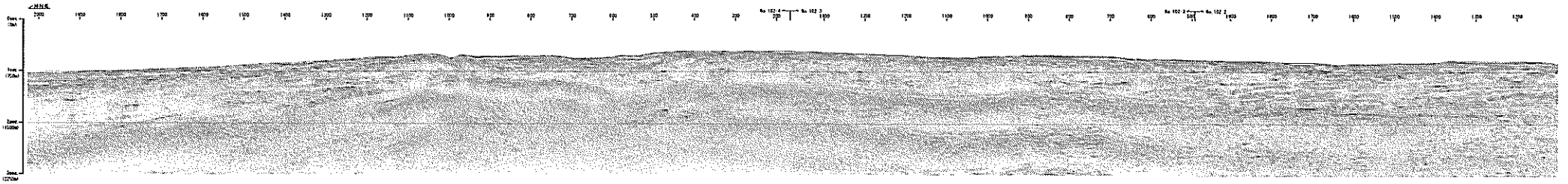
第4.2-119図(11) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 103



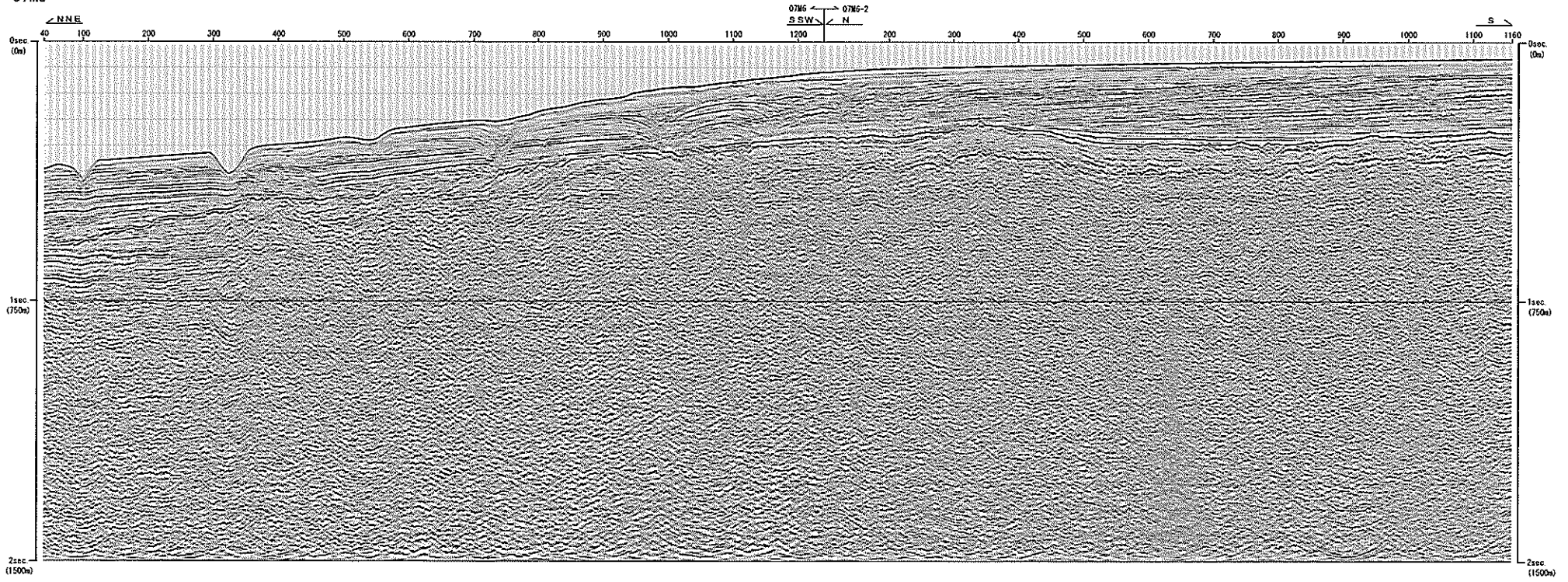
第4.2-119図(12) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 102



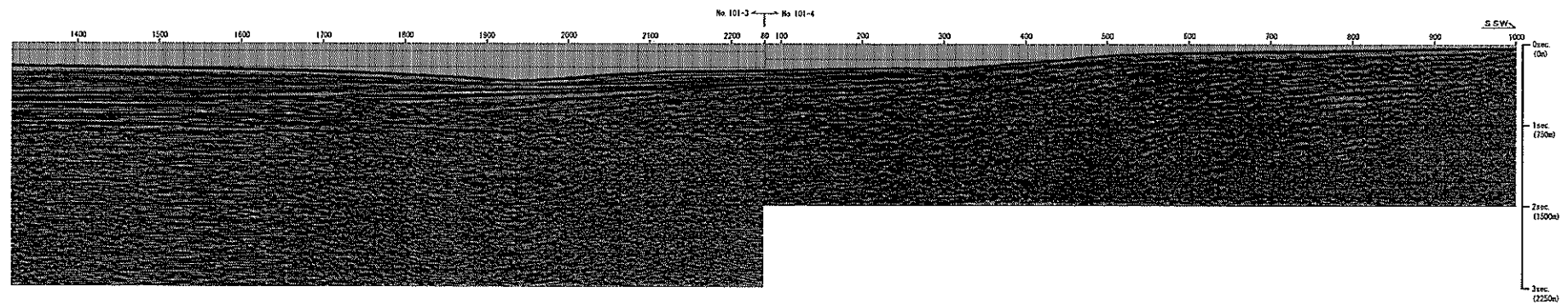
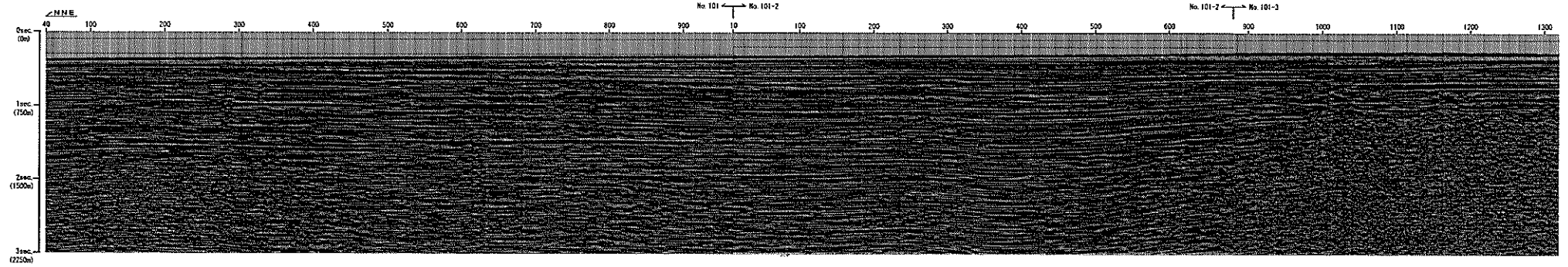
第4.2-110図(13) 兼地周辺海域の音波探査記録

07M6



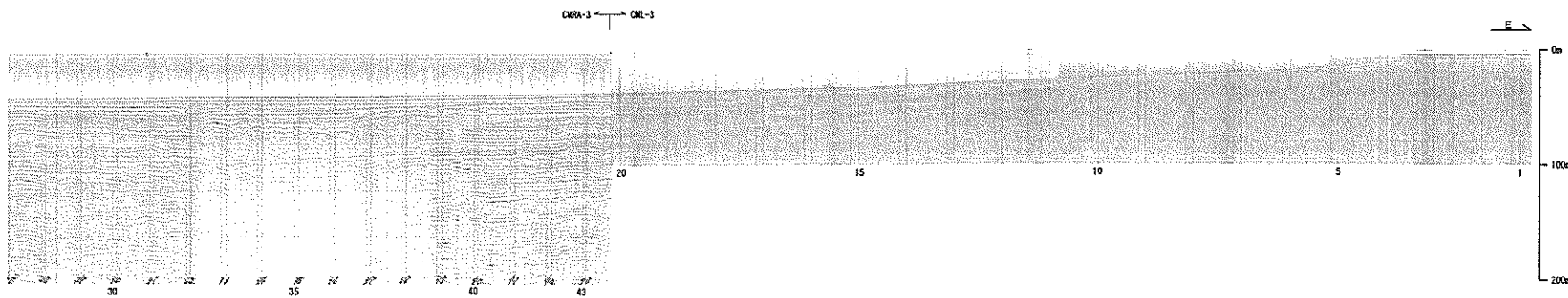
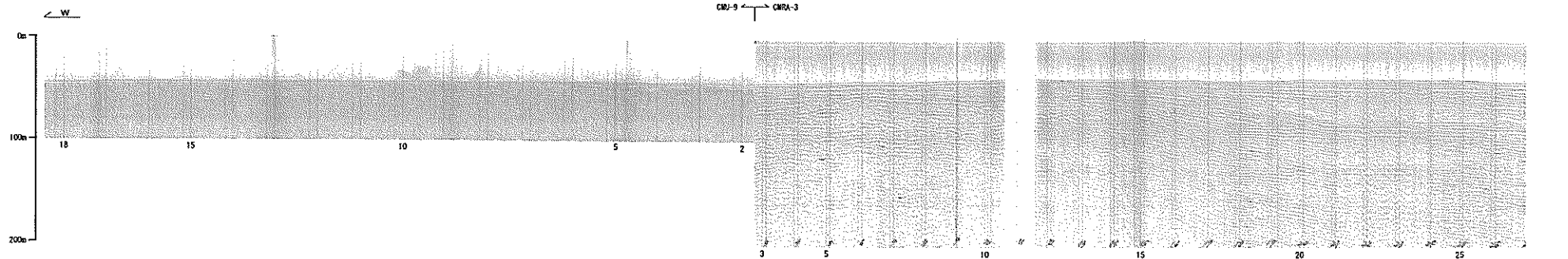
第4.2-119図(14) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 101



第4.2-119図(15) 敷地周辺海域の音波探査記録

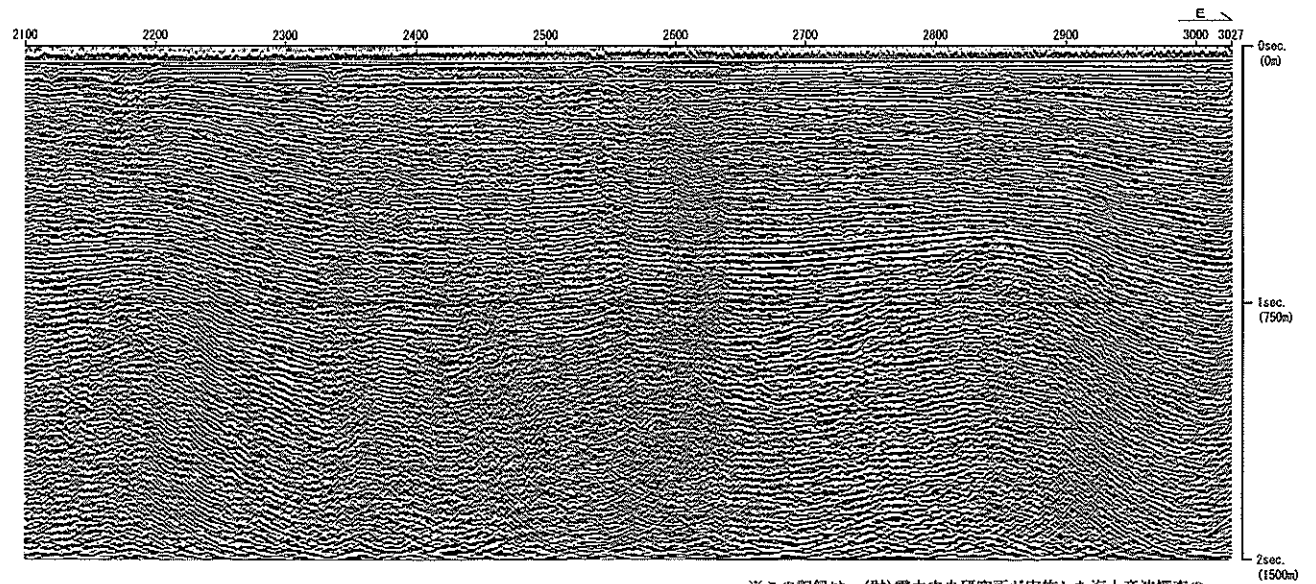
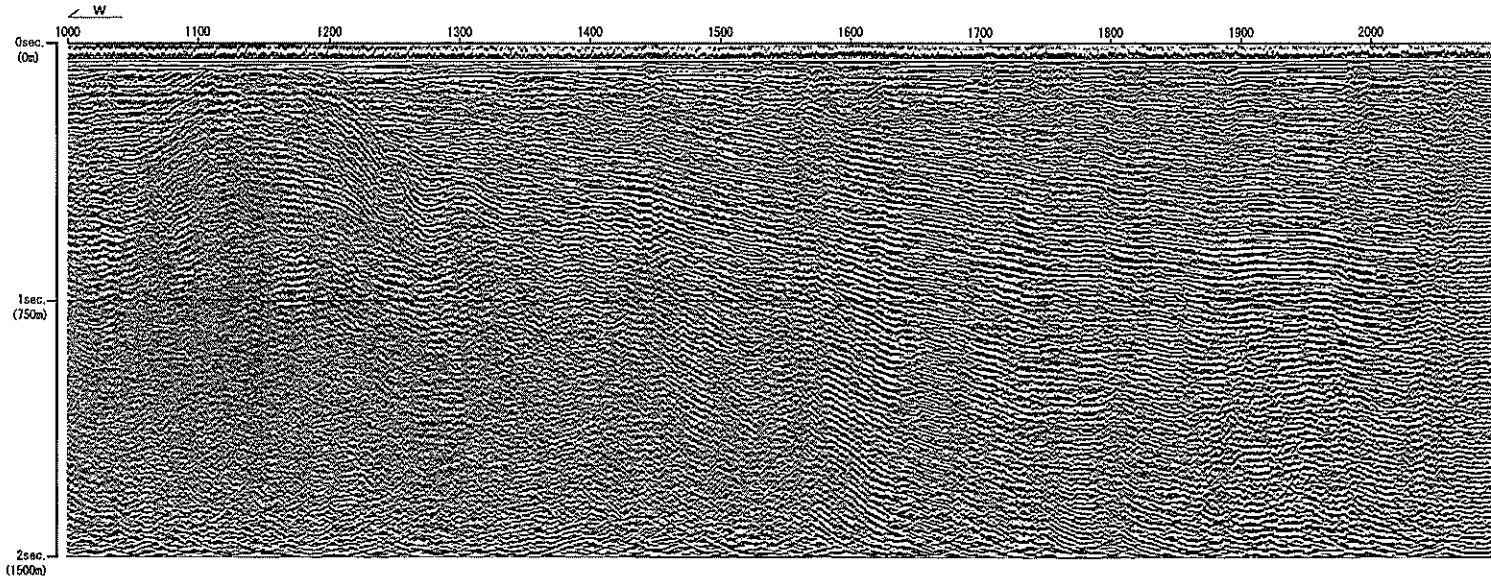
陸奥湾1



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃研が独自に編集したものである。

第4.2-119図(16) 敷地周辺海域の音波探査記録

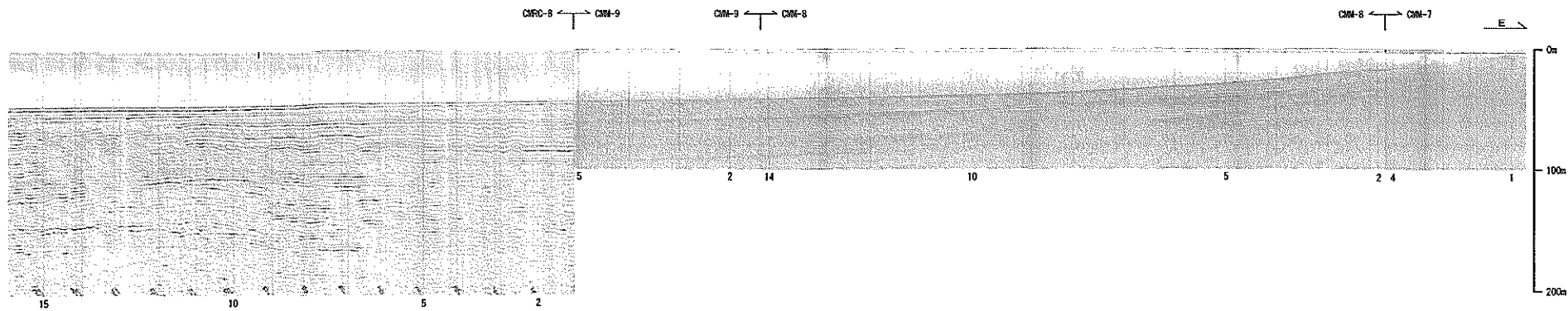
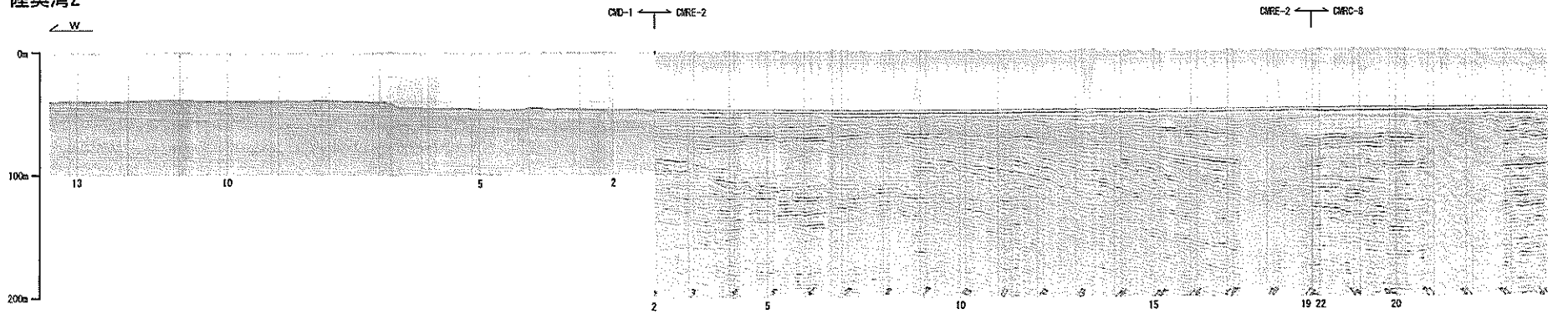
陸奥湾M



※この記録は、(財)電力中央研究所が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃網が独自に編集したものである。

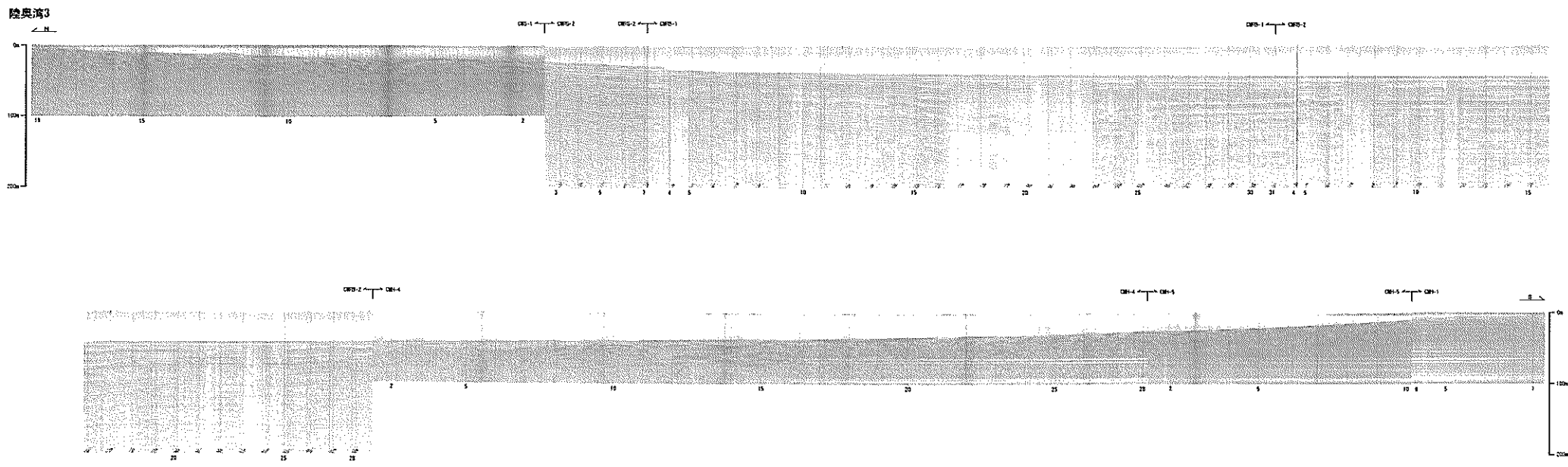
第4. 2-119図(17) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾2



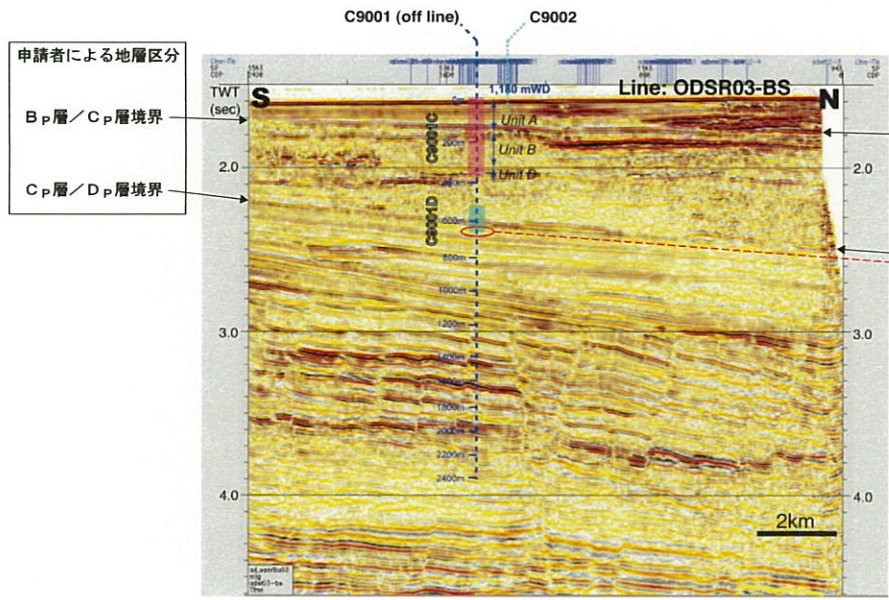
※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃㈱が独自に編集したものである。

第4.2-119図(18) 敷地周辺海域の音波探査記録



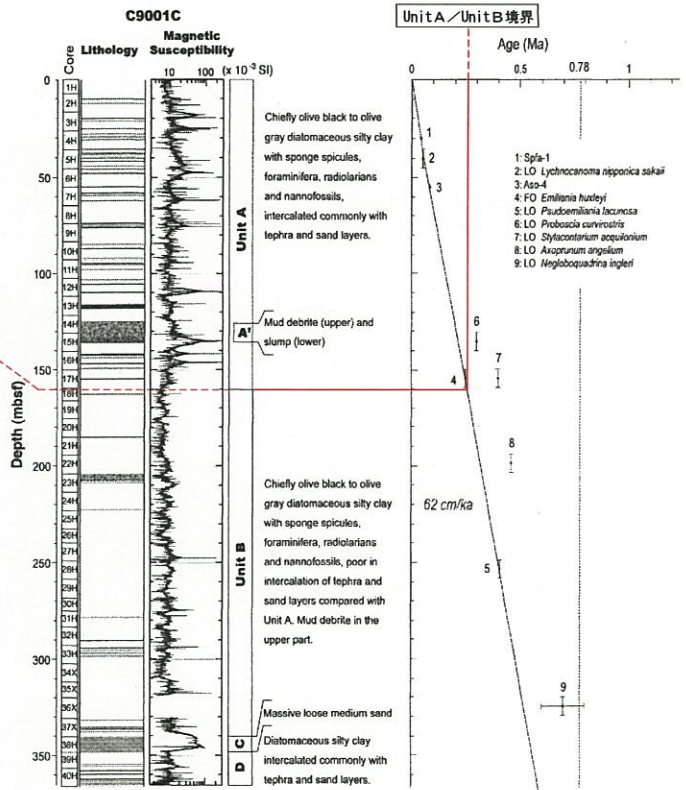
※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本郵政省が後日に編集したものである。

第4.2-119図(19) 敷地周辺海域の音波探査記録



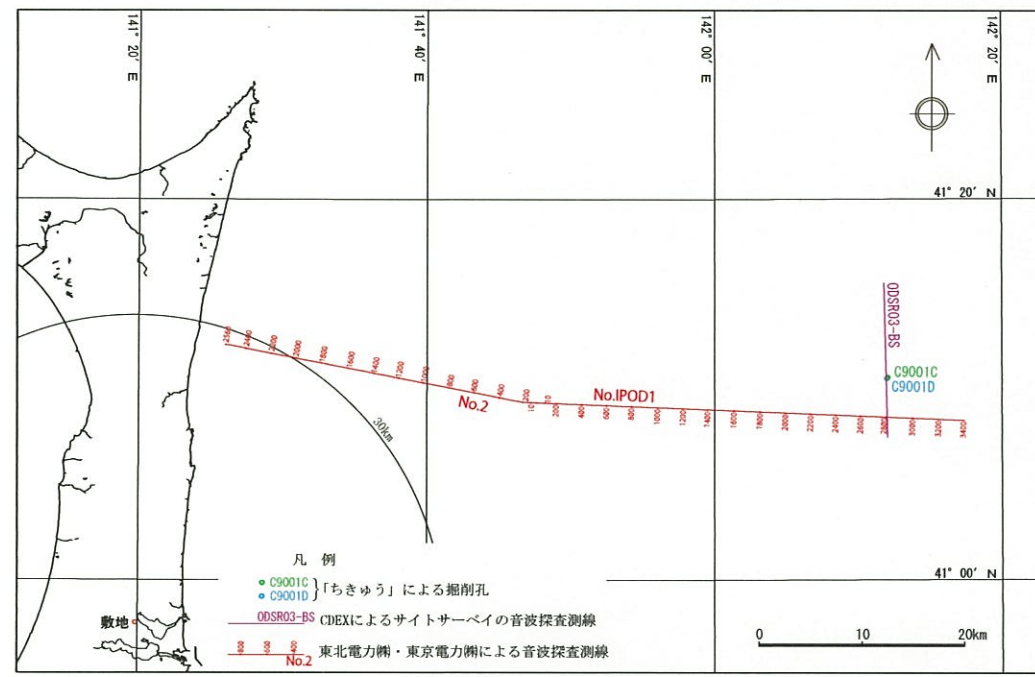
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

C9001C, Dと音波探査記録との対比



青池 (2008)より抜粋・一部加筆

年代モデル



List of Stratigraphic events for C9001C and D, determined onboard.

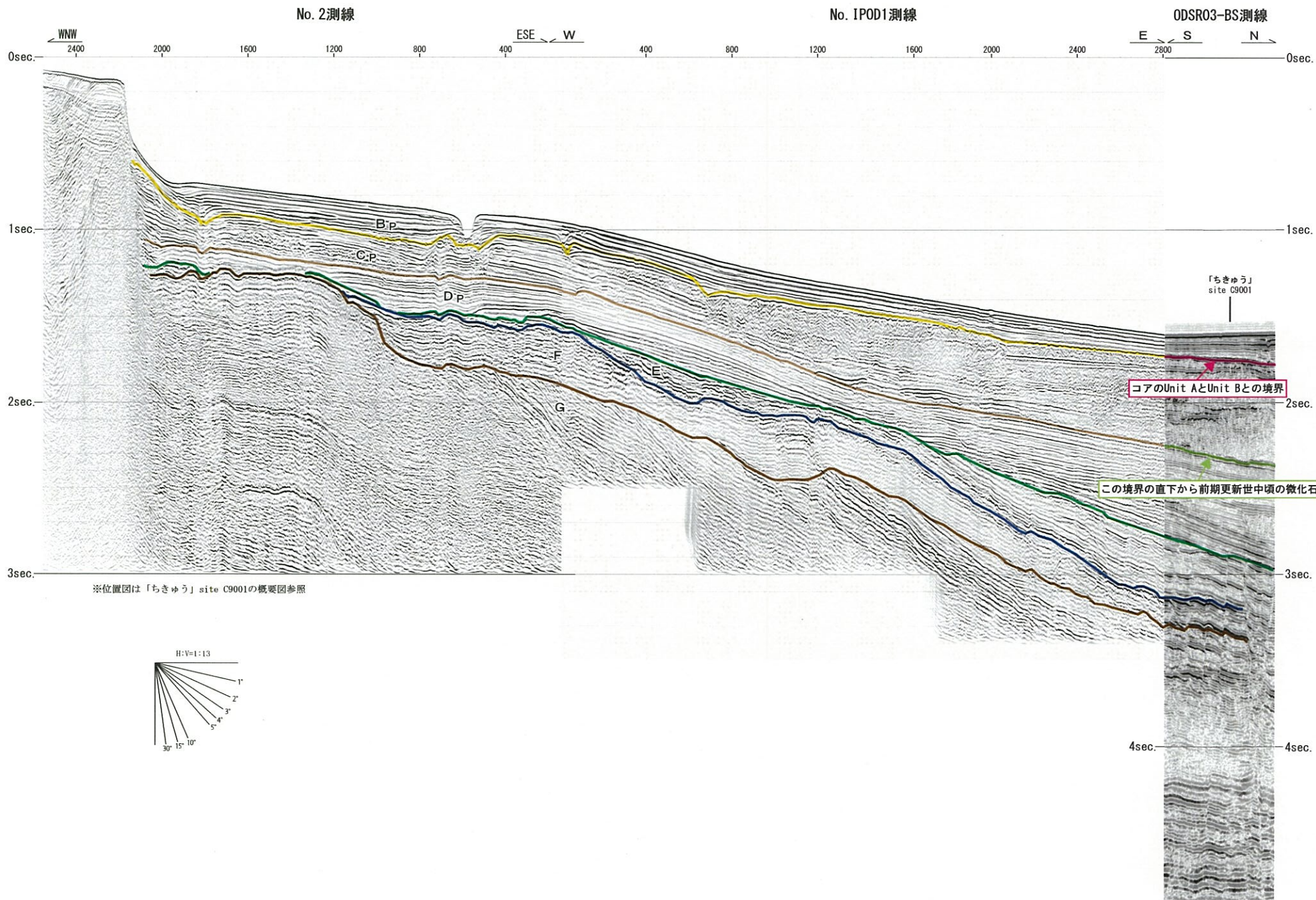
Event	Hole, Core, Section, Interval (cm)		Depth (mbsf)	Age (ka)	Remarks
	Upper limit	Lower limit			
Spfa-1	C9001C-4H-4 57-68cm		34.3	43 ± 1	Tephra
T <i>Lychnocanoma nipponica sakaii</i>	C9001C-4H-CC 34cm	C9001C-5H-CC 36cm	35.3 - 44.9	50	
Aso-4	C9001C-7H-4 40-42.5cm		58.7	87.5 ± 2.5	Tephra
T <i>Stylocenarium acquilonium</i>	C9001C-16-CC 30cm	C9001C-17-CC 30cm	149.3 - 158.8	400	Rad
T <i>Axoporum angelinum</i>	C9001C-21H-CC 34cm	C9001C-22H-CC 18cm	193.9 - 203.3	460 ± 40	Rad
T <i>Neogloboquadrina angulata</i>	C9001C-35X-CC 13cm	C9001C-37X-CC	319.2 - 337.8	800 ± 100	Foram
B large <i>Gephyrocapsa</i> spp. - B medium <i>Gephyrocapsa</i> spp.	C9001D-25SMW		642 - 647	(1700 - 1480)	Nanno

Note: T = top, B = bottom, Rad = radiolarians, Foram = planktonic foraminifera, and Nanno = calcareous nannofossils. Analyses for identification of two known tephras were done using samples from C9001A and C9002B. Spfa-1 (Shikotsu-daiichi Tephra) is based on analyses at the Kyoto Fission Track Co. Ltd. (CDEX, unpublished) and by Masago (unpublished data). Aso-4 (Aso-daiyon Tephra) was also identified by Masago (unpublished data). Brunhes-Matuyama boundary horizon (780 ka) was not found within Hole C9001C.

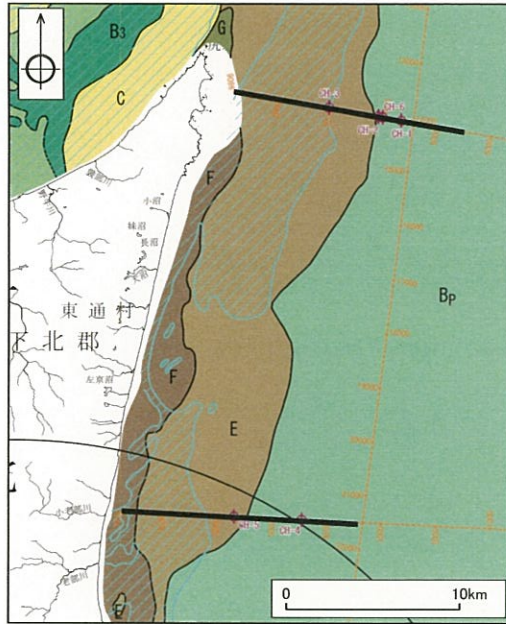
Kobayashi et al. (2009)より抜粋・一部加筆

年代指標

第4.2-120図(1) 「ちきゅう」 site C9001の概要図

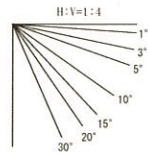
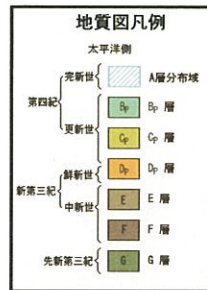


第4.2-120図(2) 敷地周辺海域の地層区分と「ちきゅう」 site C9001との対比図

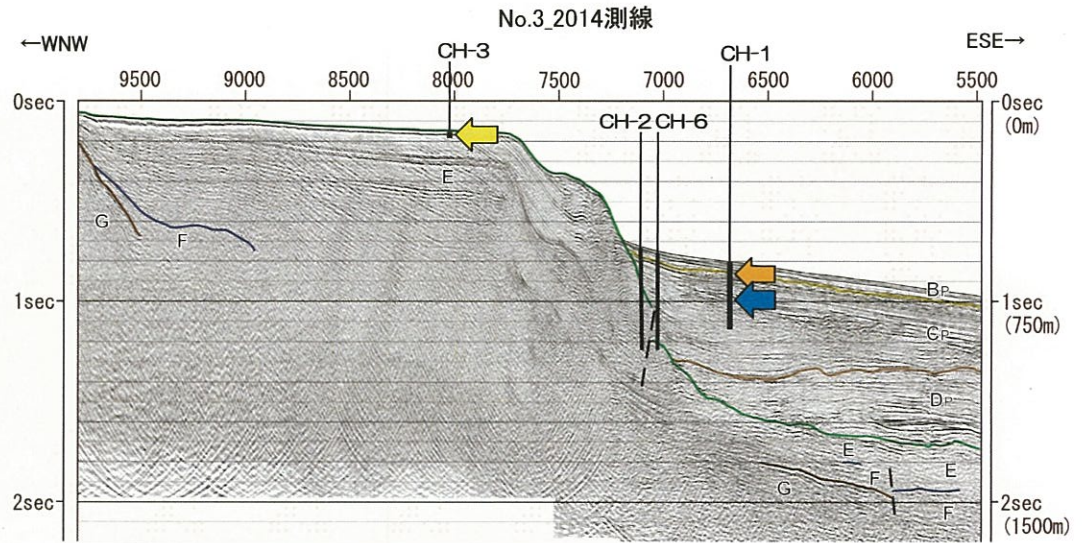


測線位置図

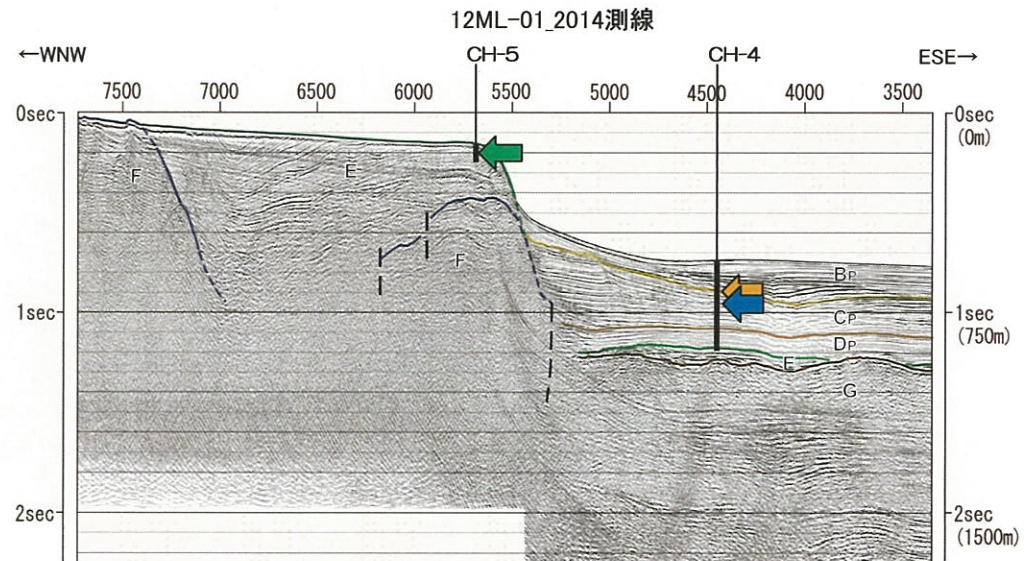
測線位置



断層

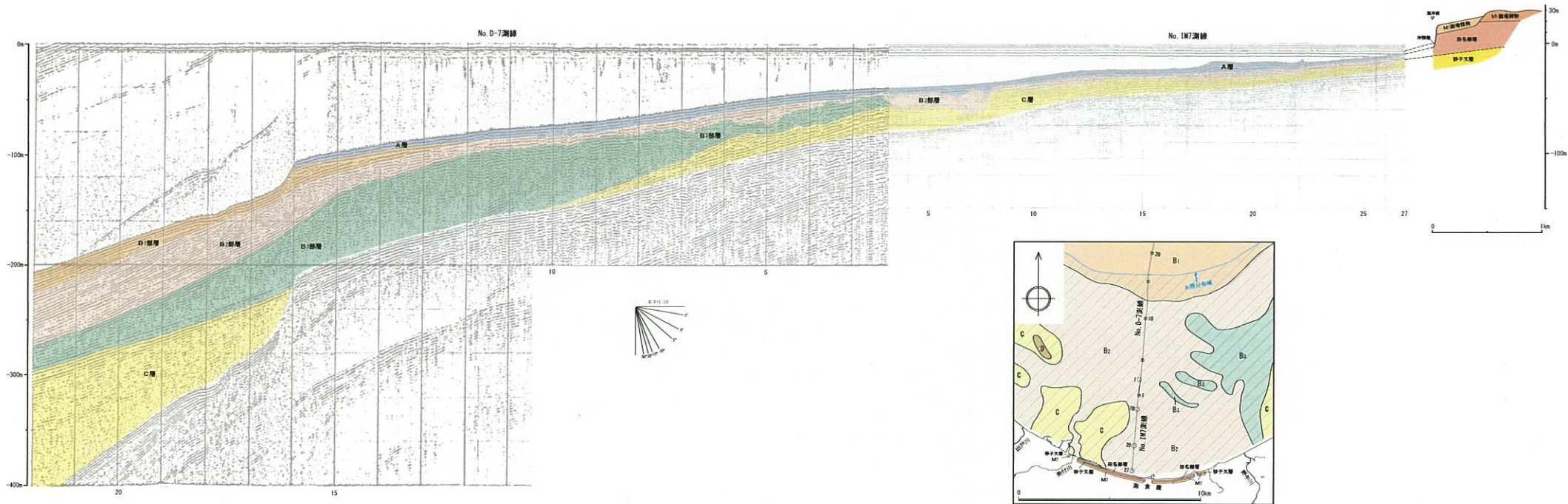


- 有孔虫化石 *G.rikuchuensis* (約12.6~11.5Ma) を確認
- 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

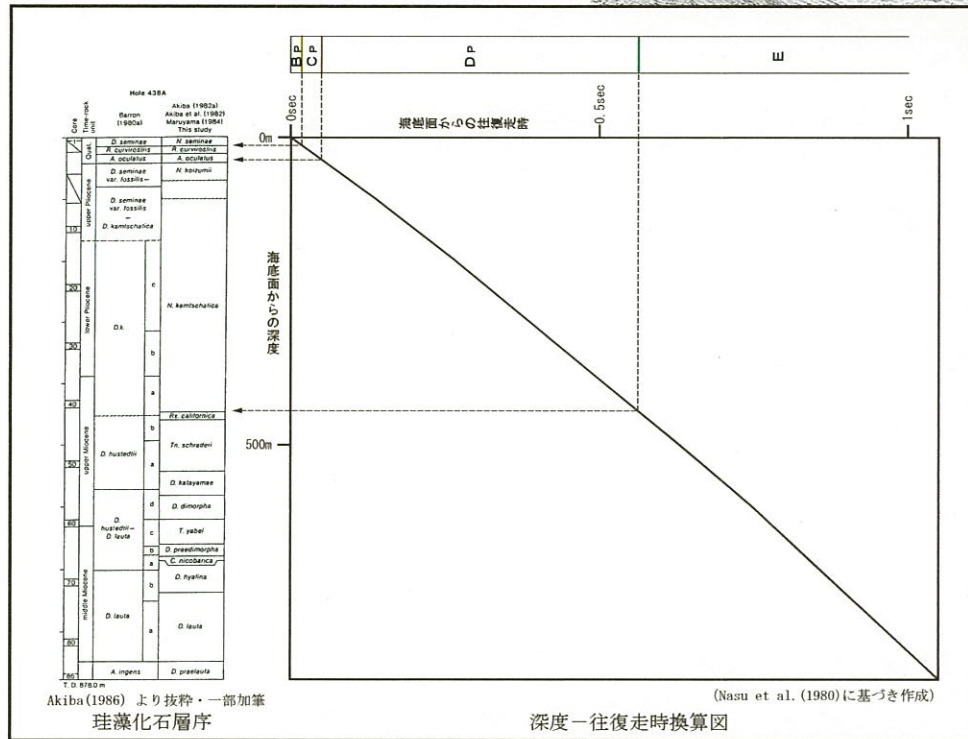
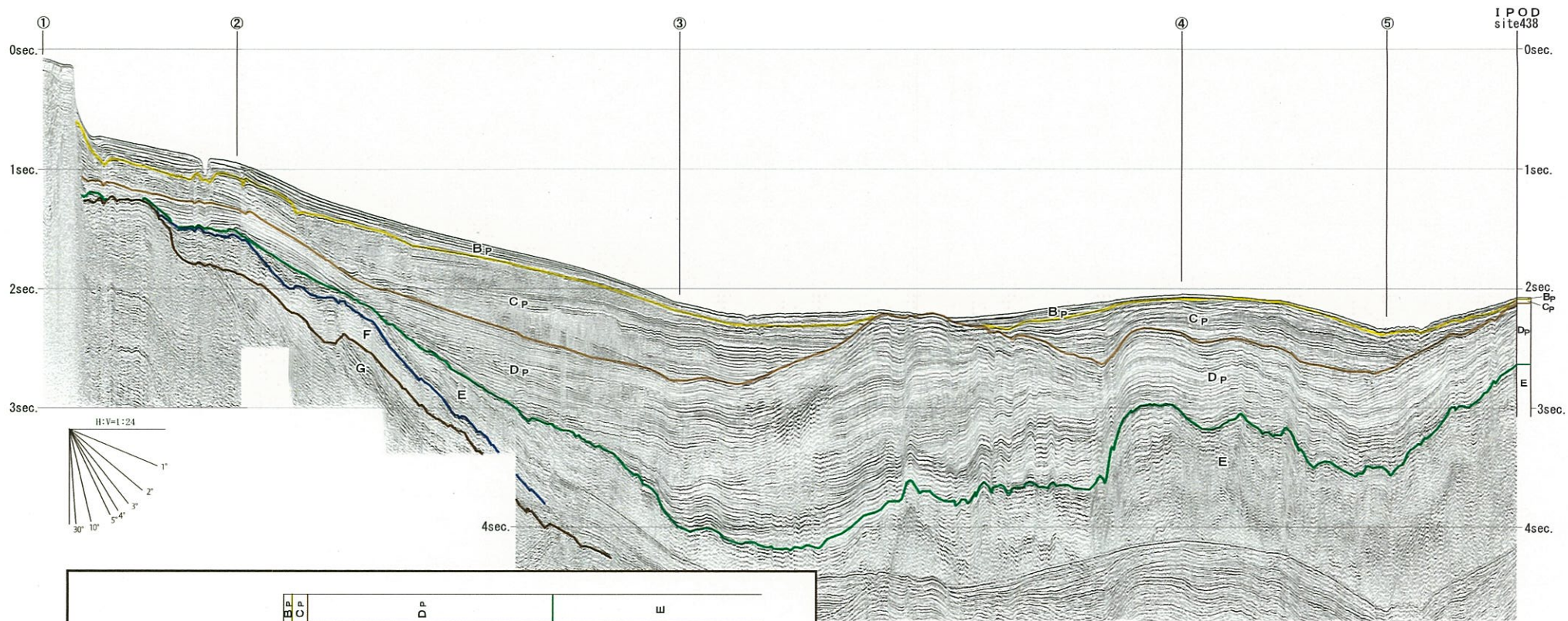


- D.lauta* 帯 (約16.0~14.6Ma) に対比される珪藻化石群集を確認
- 恐山火山起源の降下火砕物 Os-2 (約0.27Ma) を確認
- 放散虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、放散虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

第4.2-121図 尻屋崎沖及び東通村老部川沖の海上ボーリング調査結果図

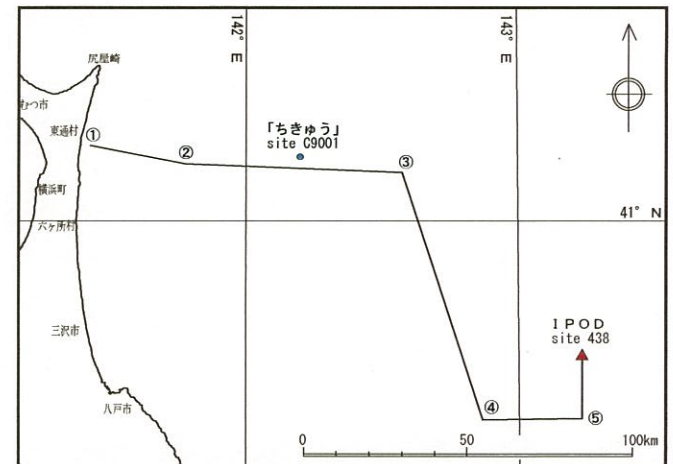


第4.2-122図 津軽海峡沿岸部におけるB層の状況図



Akiba (1986) より抜粋・一部加筆
珪藻化石層序

(Nasu et al. (1980) に基づき作成)
深度-往復走時換算図



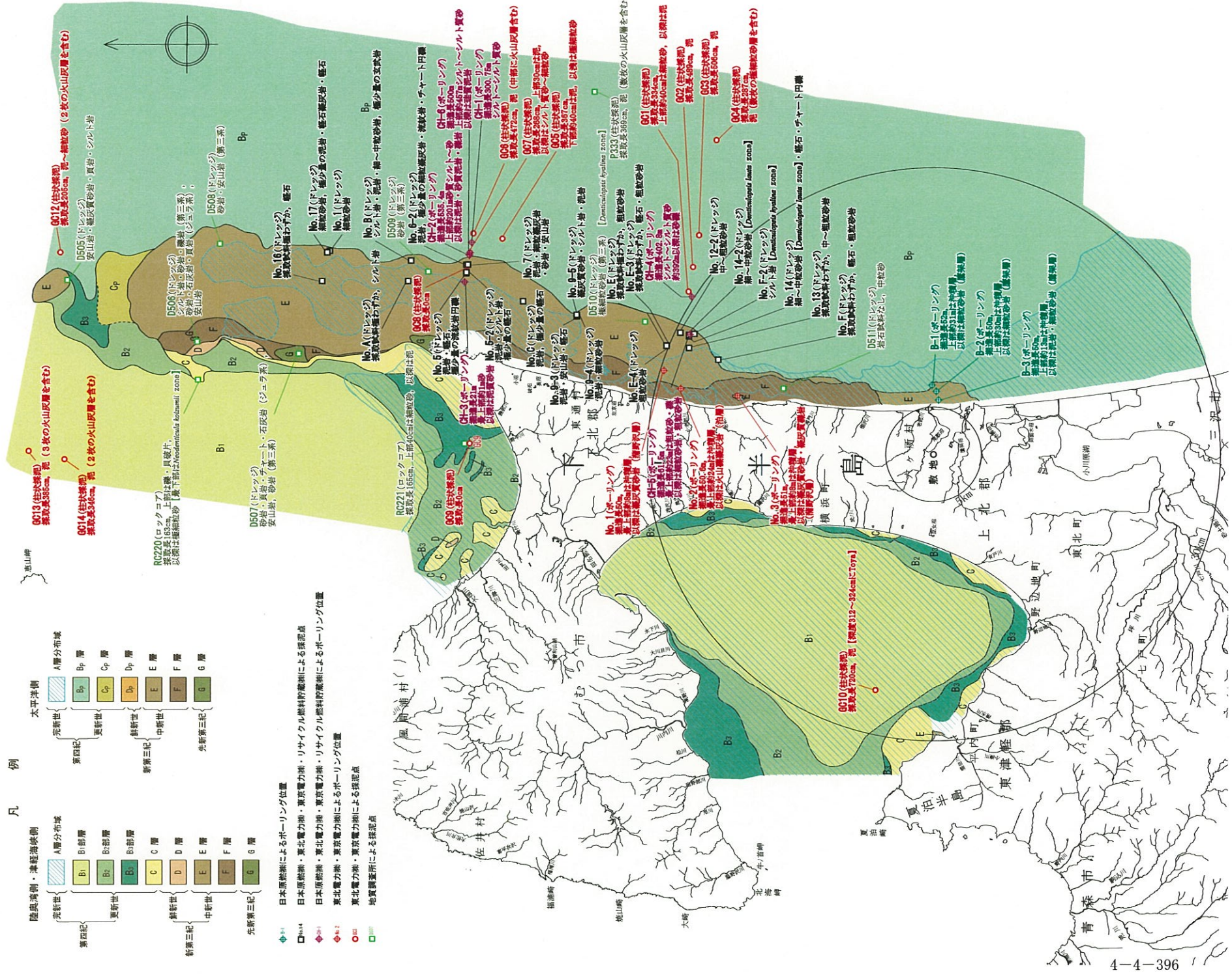
第4.2-123図 敷地周辺海域の地層区分と I POD site 438 との対比図

凡例

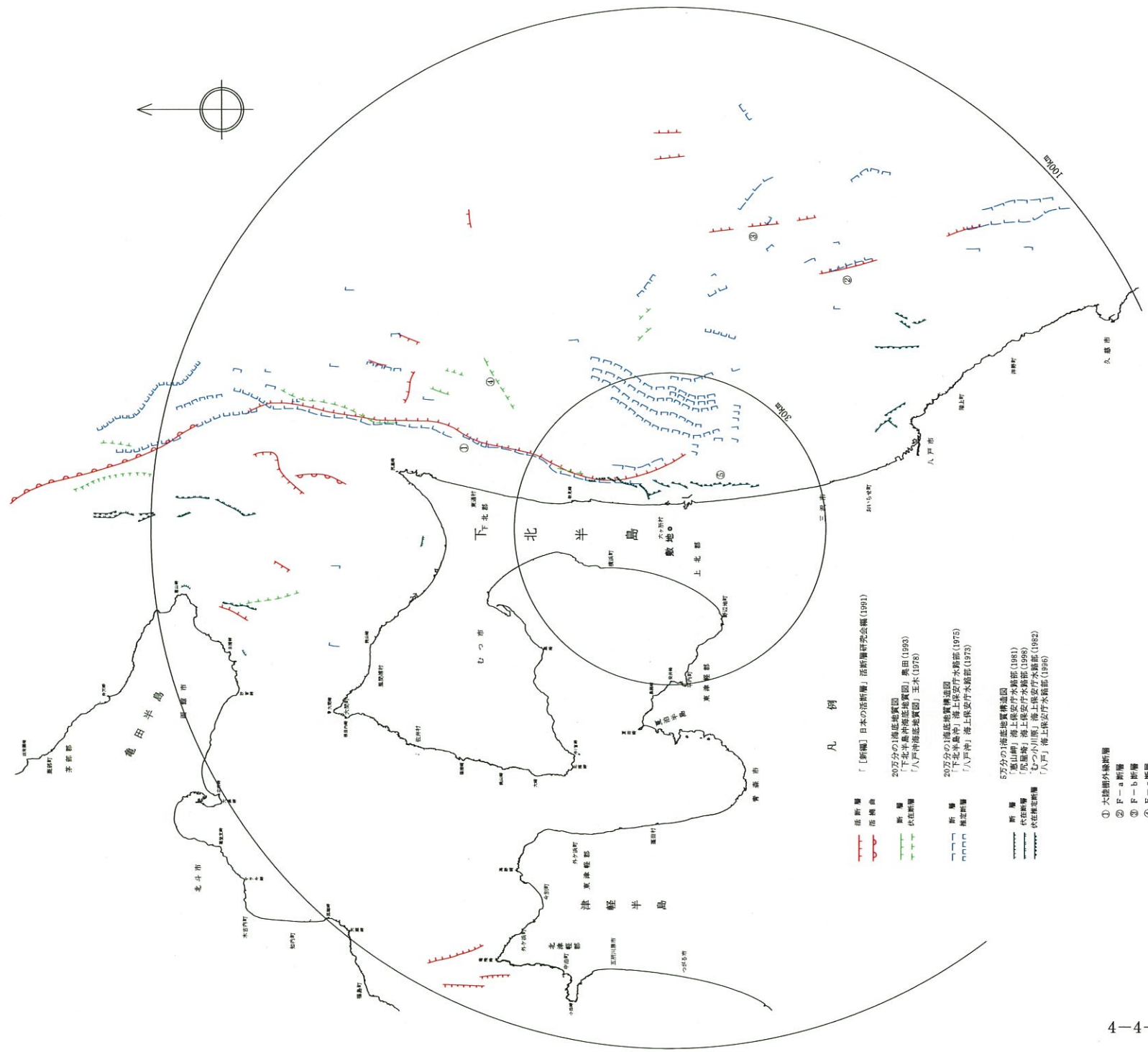
陸奥湾側・津軽海峡側		太平洋側	
第四紀	更新世	第四紀	更新世
新第三紀	中新世	新第三紀	中新世
先新第三紀	中新世	先新第三紀	中新世
	先新第三紀		先新第三紀

■ A層分布域	■ A層分布域
■ B ₁ 層	■ B _p 層
■ B ₂ 層	■ C _p 層
■ B ₃ 層	■ D _p 層
■ C層	■ E層
■ D層	■ F層
■ E層	■ G層
■ F層	
■ G層	

- ◆ 日本原産地によるボーリング位置
- 日本原産地・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵所による採取点
- ◆ 日本原産地・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵所によるボーリング位置
- ◆ 東北電力によるボーリング位置
- 東北電力・東京電力による採取点
- 地質調査所による採取点



第4.2-125図 敷地周辺海域における試料採取結果図



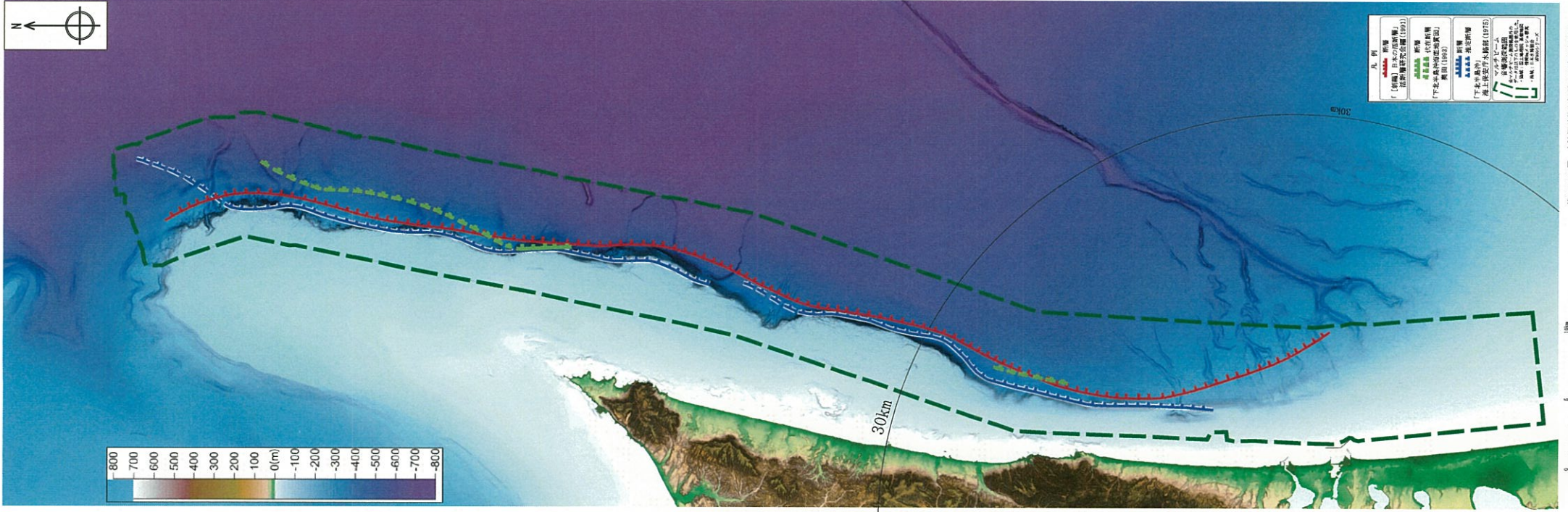
凡例

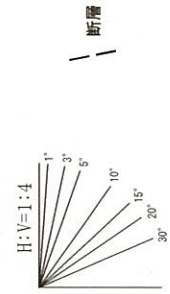
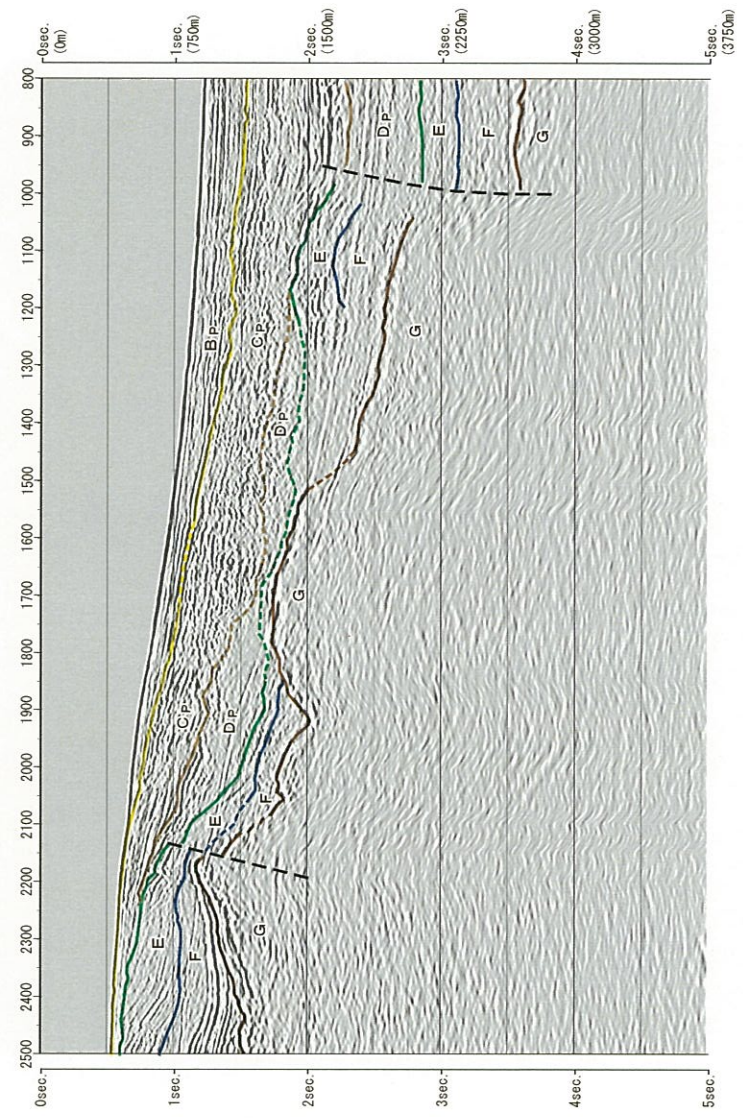
- 活断層 「[新編]日本の活断層」活断層研究会編(1991)
- 活断層 20万分の1地形地質構造図
- 断層 「下北半島沖海盆地地質図」奥田(1993)
- 伏在断層 「八戸沖海盆地地質図」玉木(1978)
- 断層 20万分の1地形地質構造図
- 構造断層 「八戸沖」海上保安庁水路部(1975)
- 断層 「八戸沖」海上保安庁水路部(1975)
- 断層 5万分の1地形地質構造図
- 構造断層 「下北半島沖」海上保安庁水路部(1981)
- 構造断層 「奥田」海上保安庁水路部(1981)
- 構造断層 「むつ川」海上保安庁水路部(1982)
- 構造断層 「八戸」海上保安庁水路部(1986)

- ① 大陸棚外縁断層
- ② F-a断層
- ③ F-b断層
- ④ F-c断層
- ⑤ F-d断層

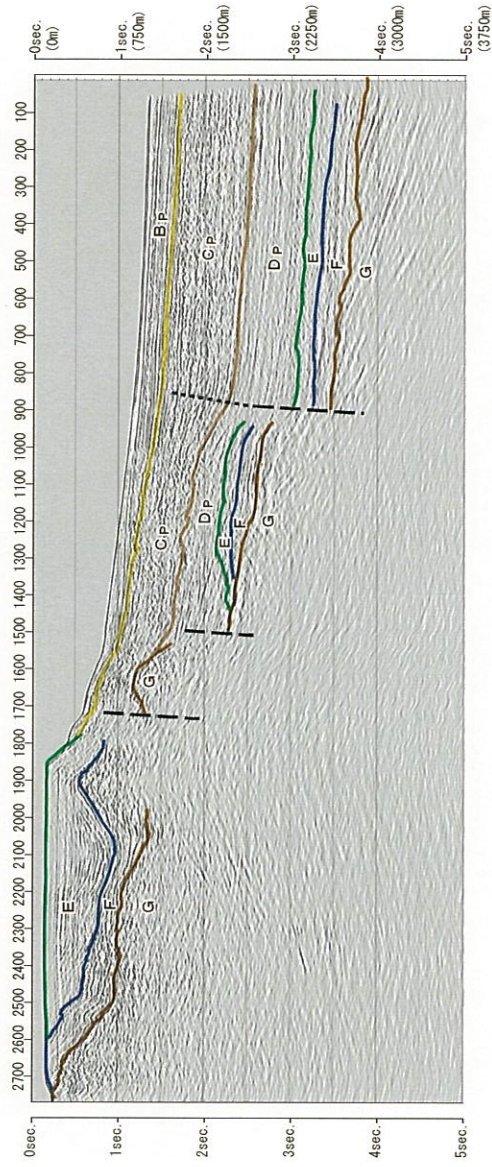
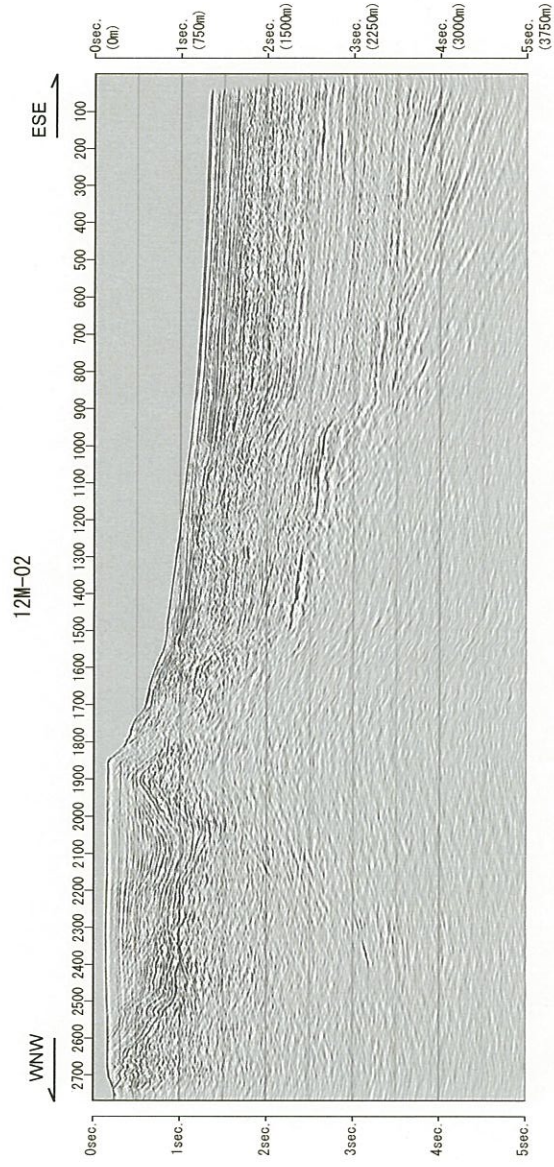


第4.2-126図 文献による敷地周辺海域の断層分布図

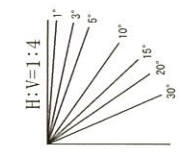
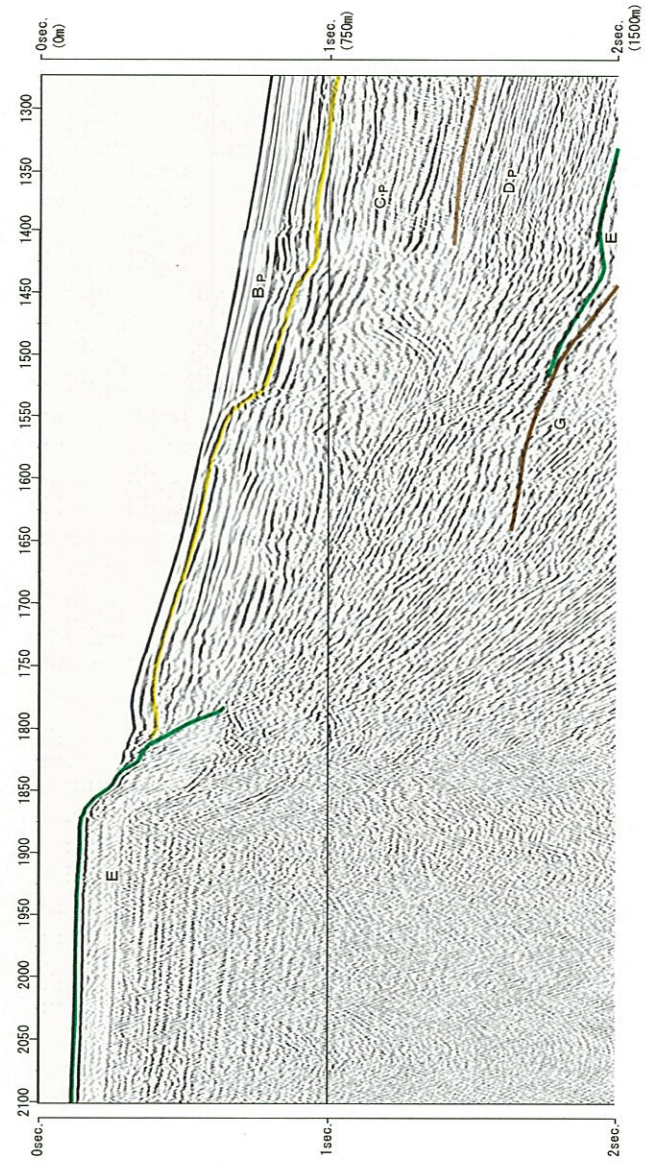
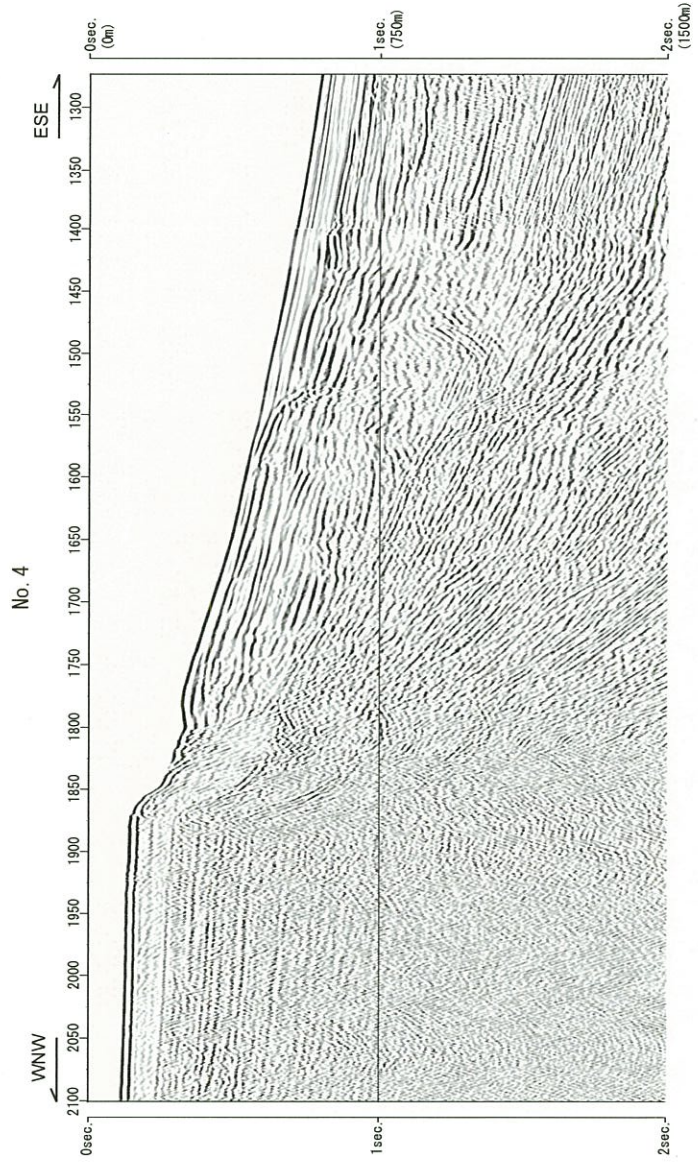




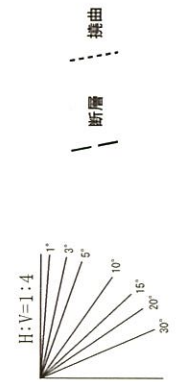
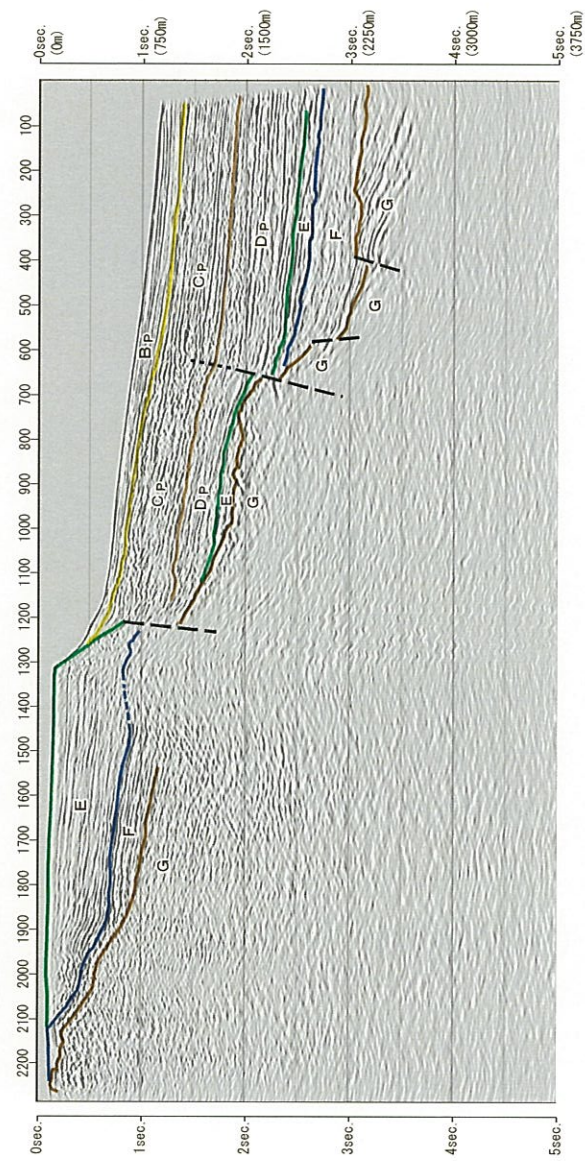
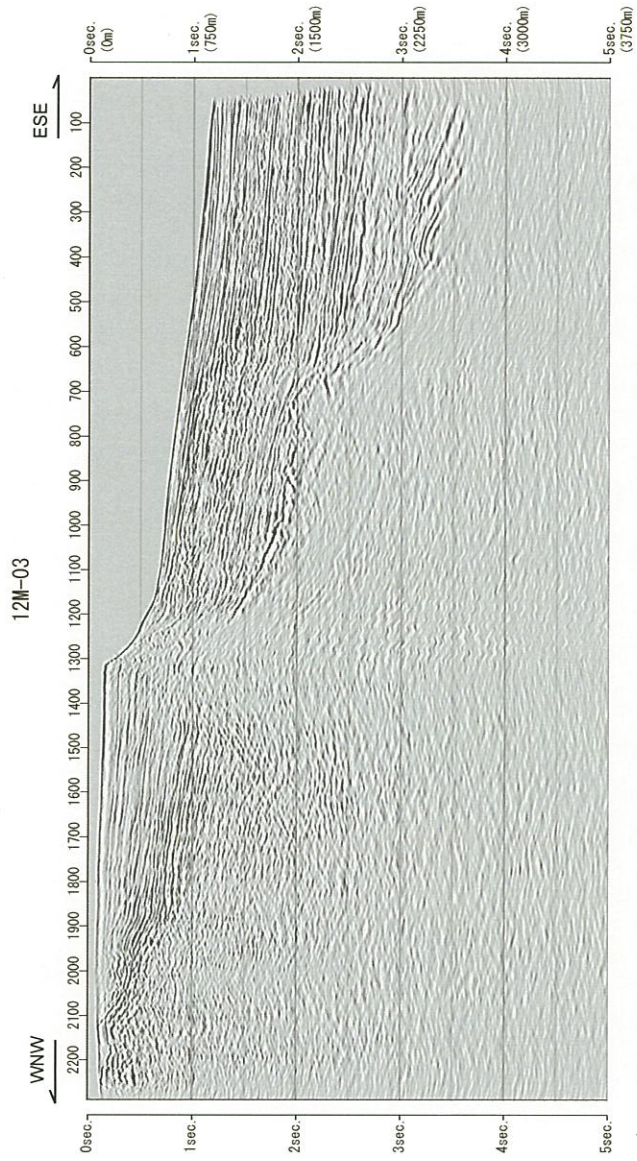
第4.2-129図(1) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-01測線)



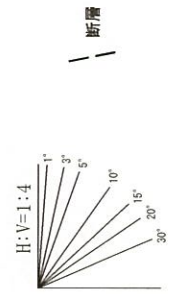
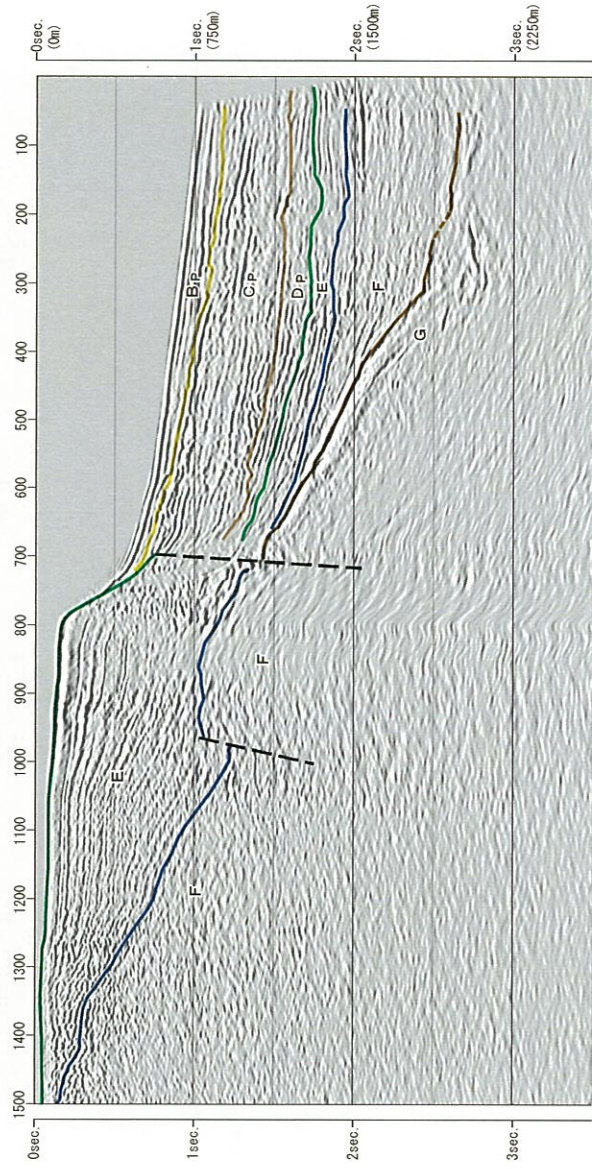
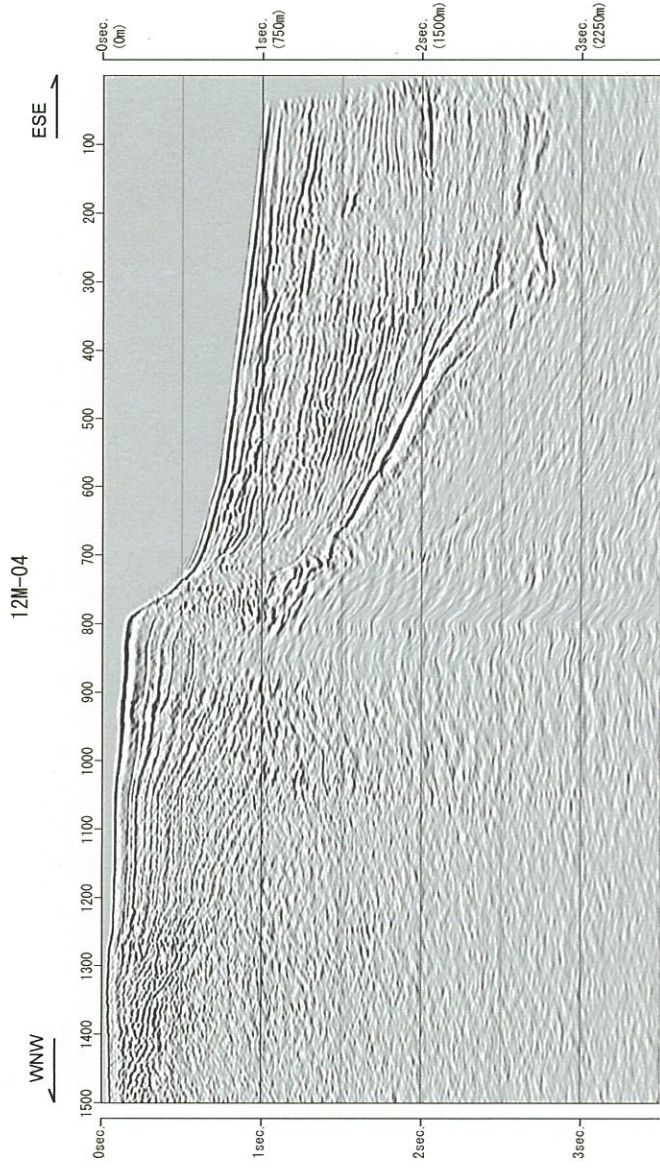
第4.2-129図(2) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-02測線)



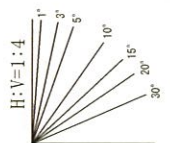
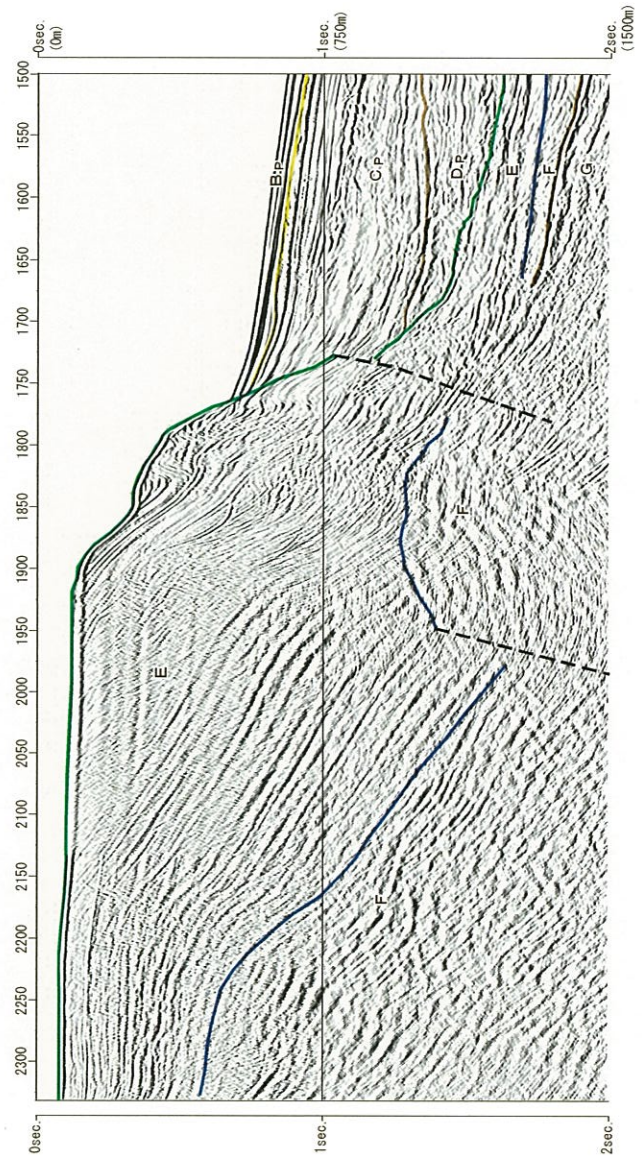
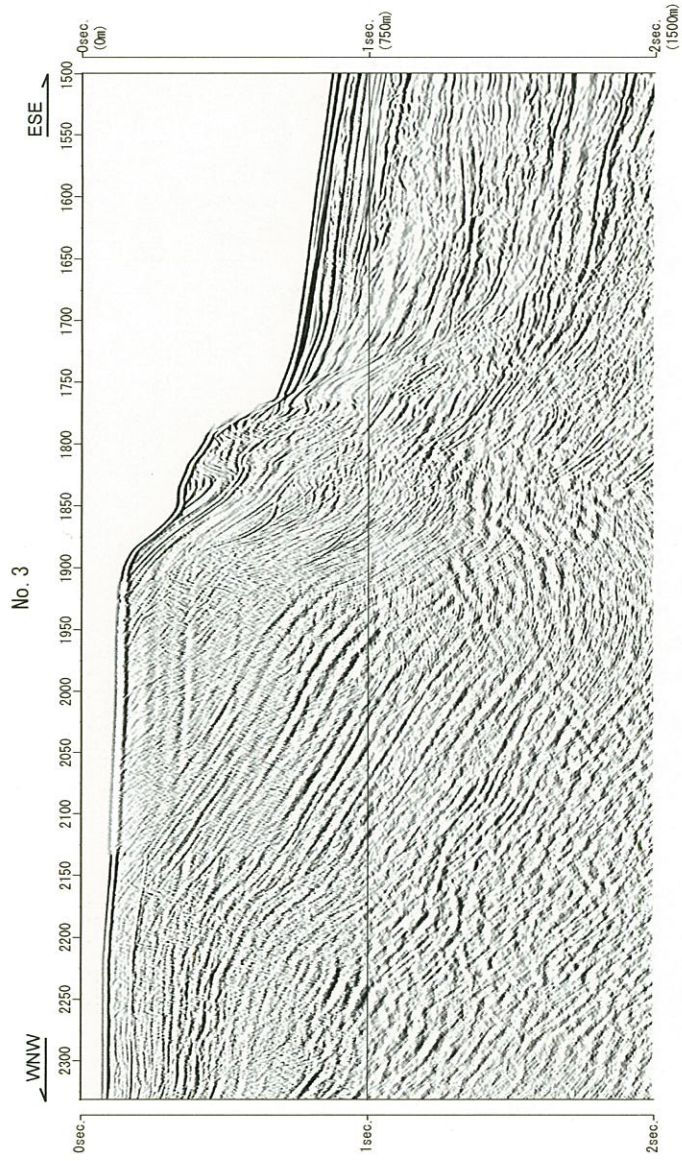
第4.2-129図(3) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 4測線)



第4.2-129図(4) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-03測線)

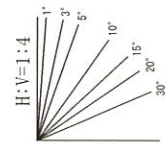
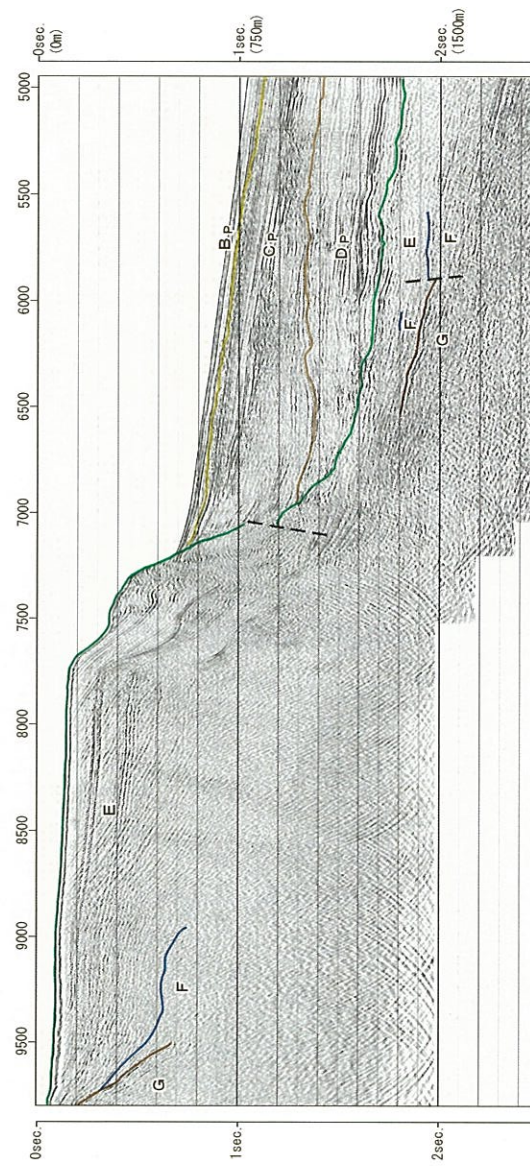
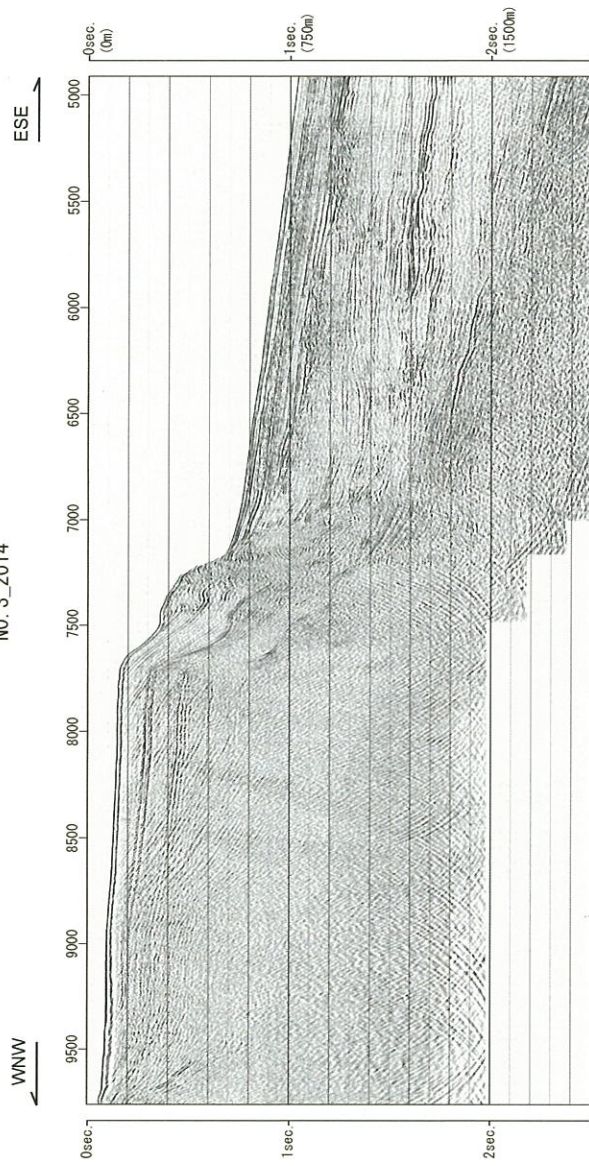


第4.2-129図(5) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-04測線)



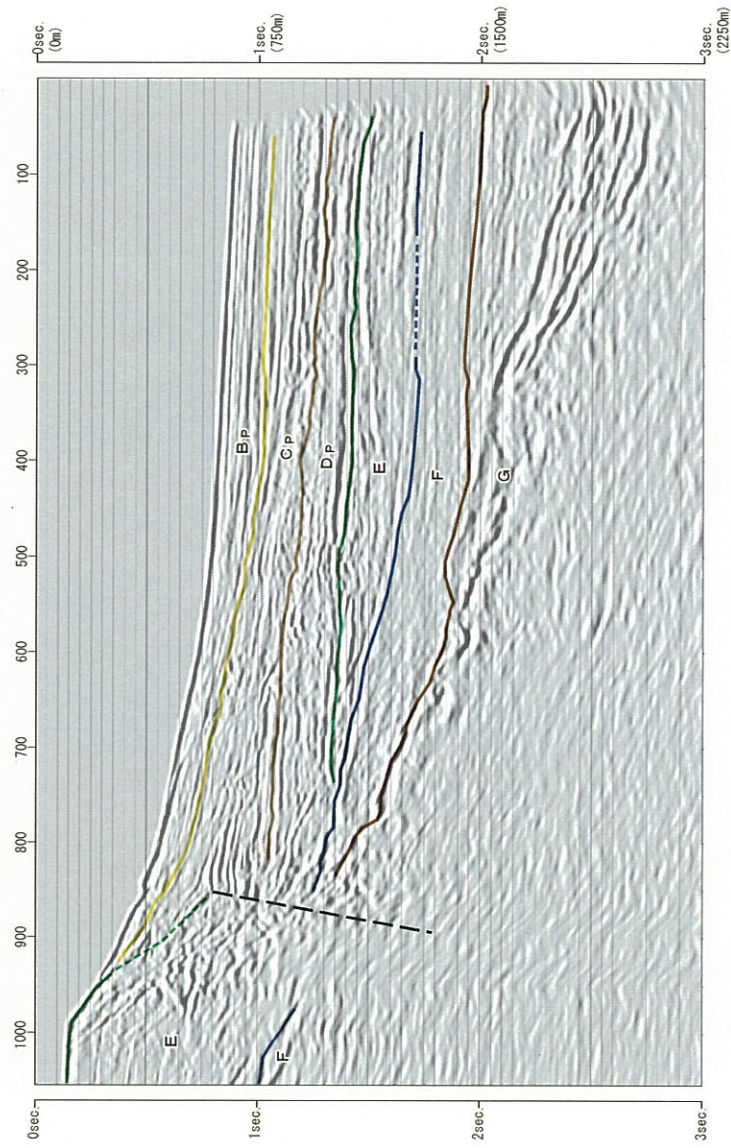
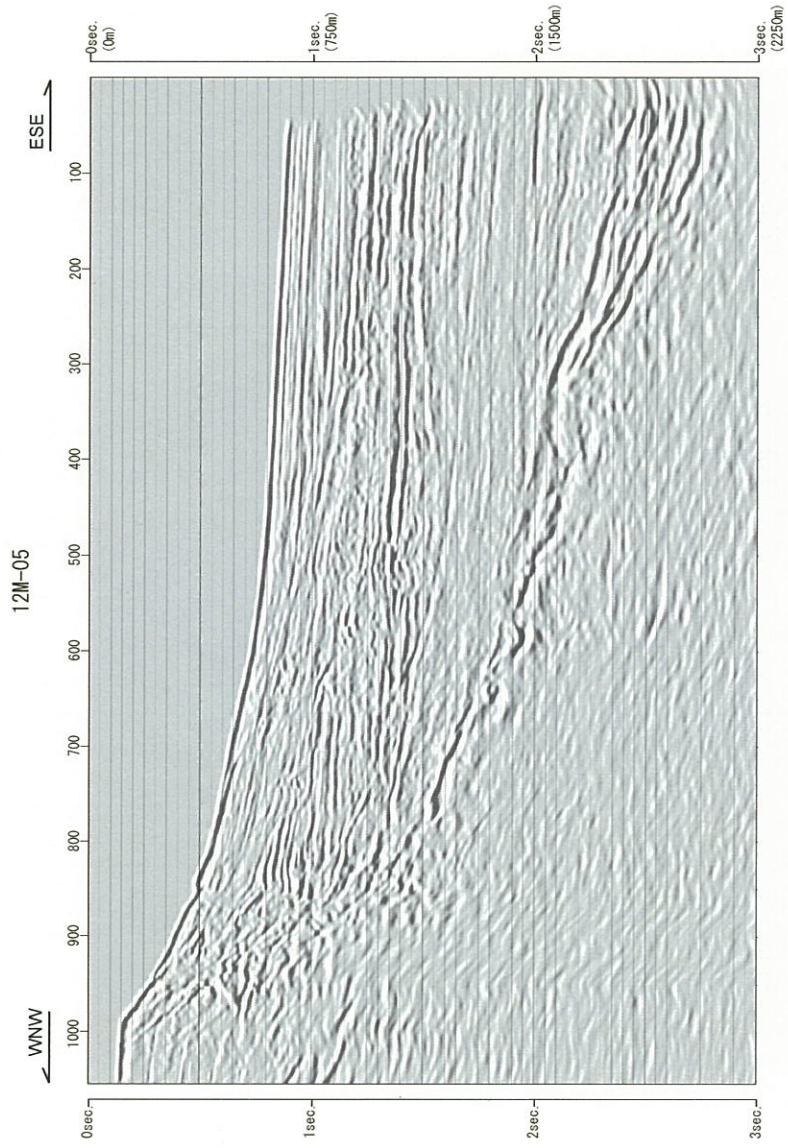
第4.2-129図(6) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3測線)

NO. 3_2014

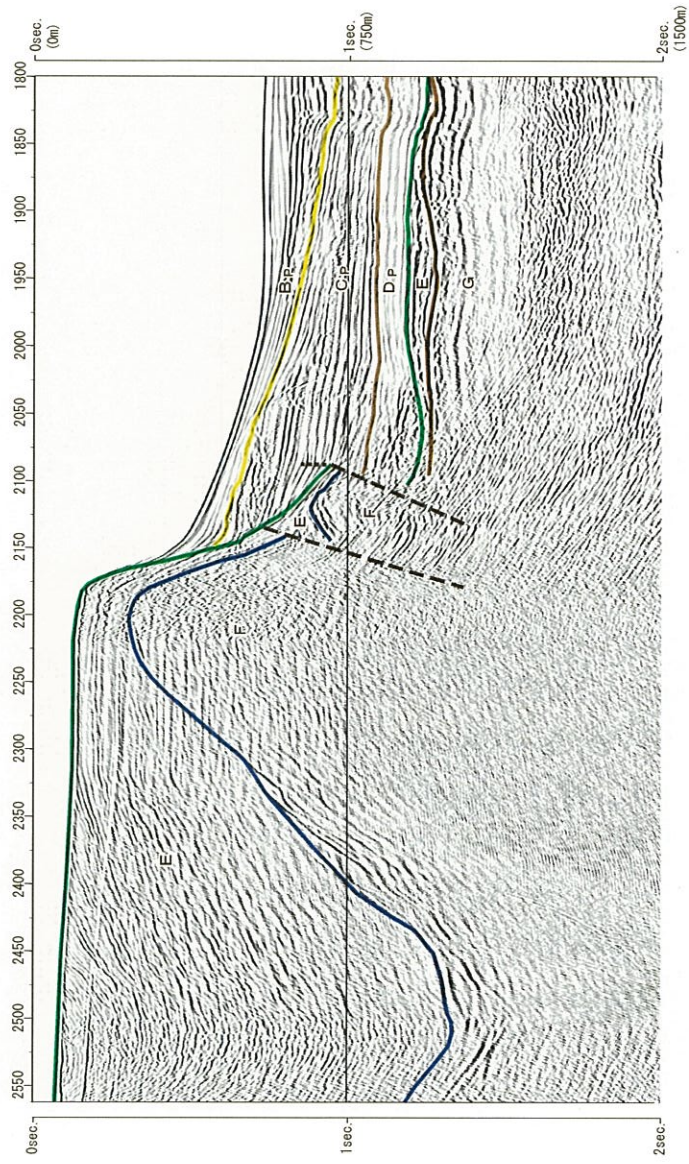
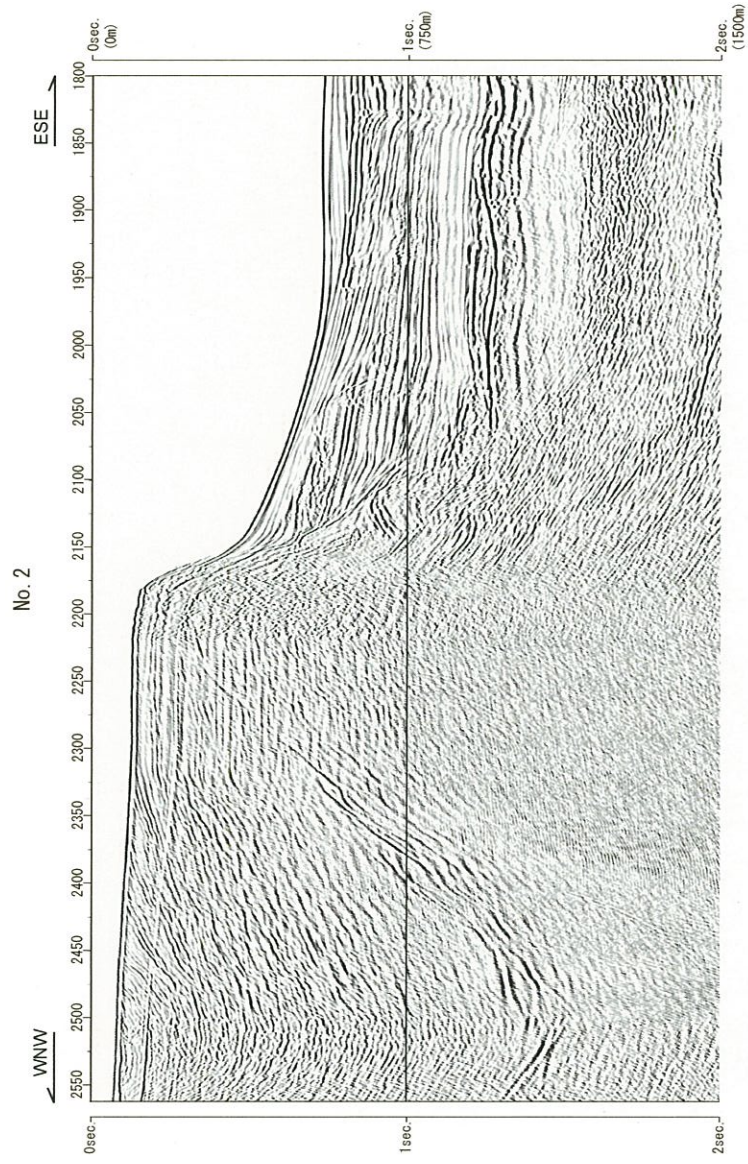


断層

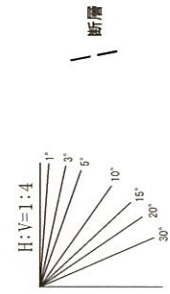
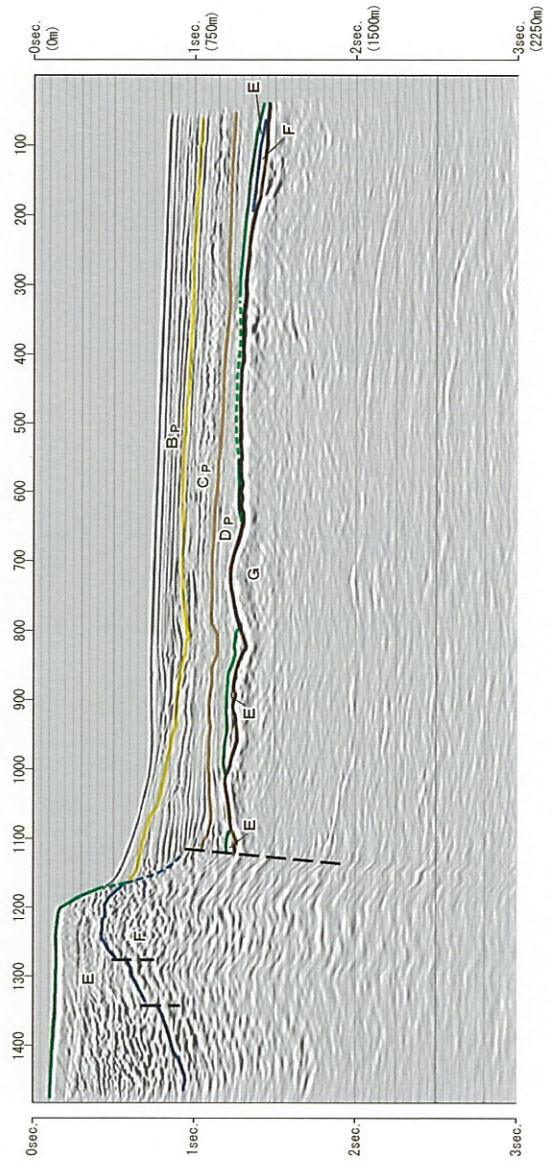
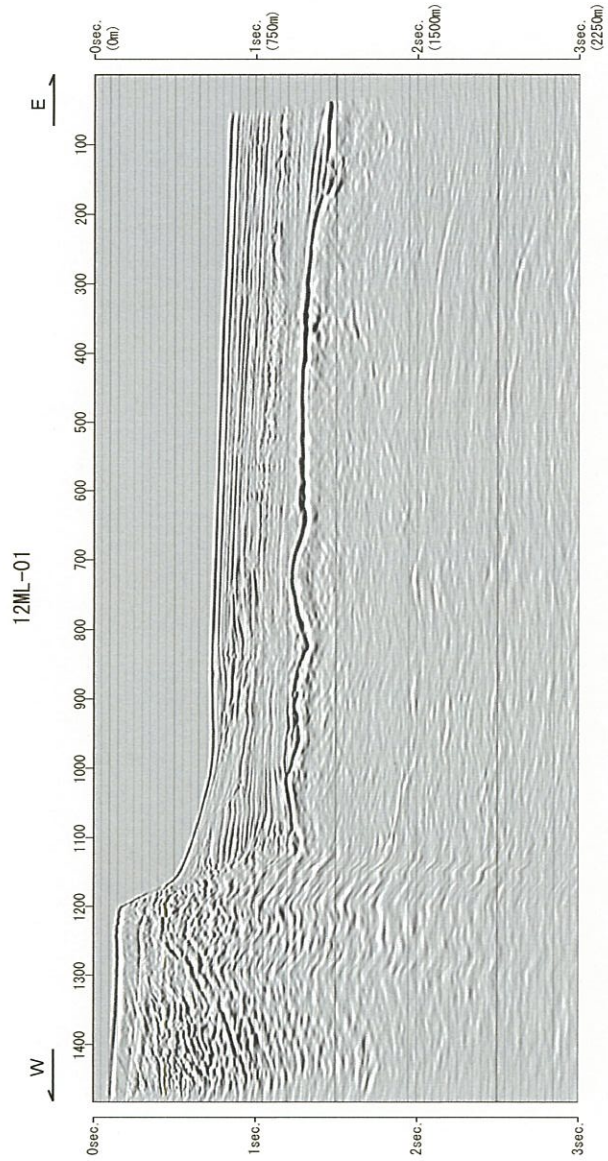
第4.2-129図(7) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3_2014測線)



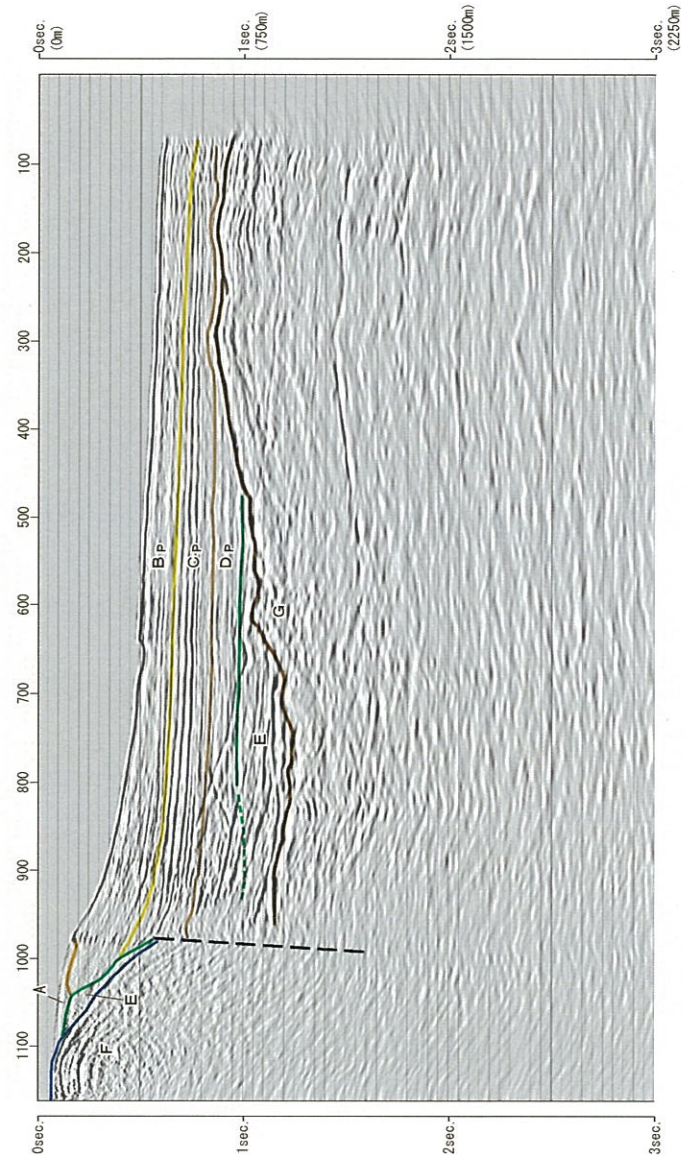
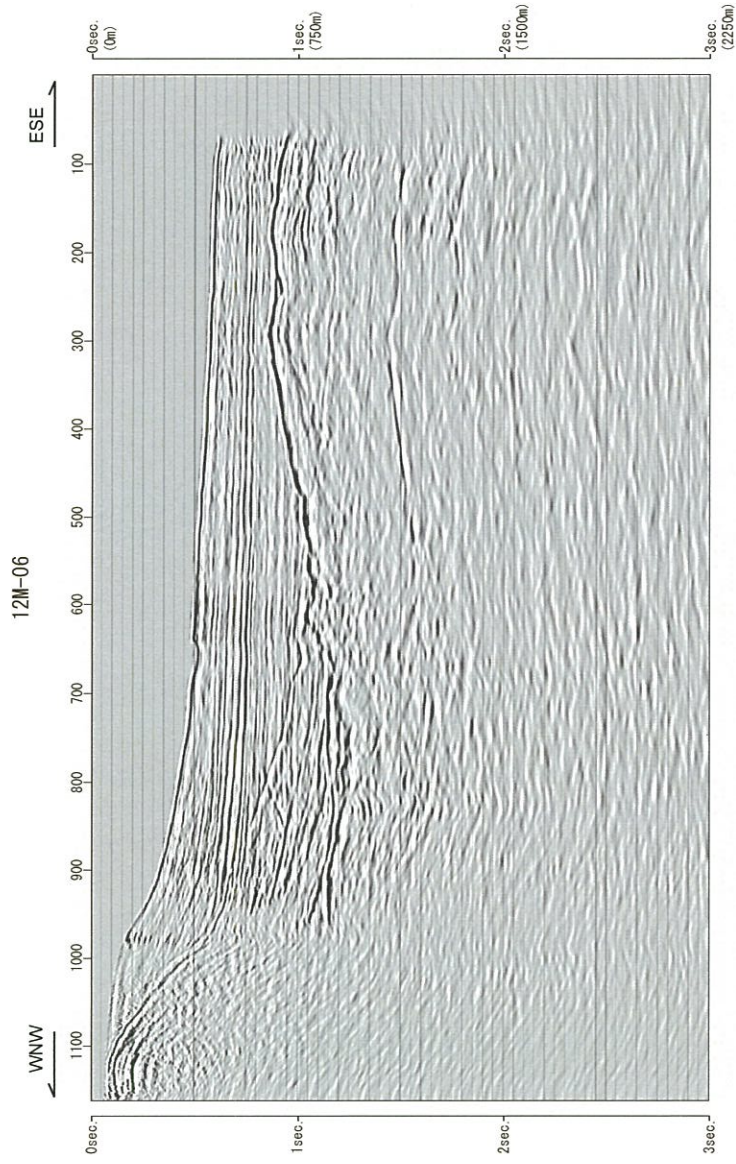
第4.2-129図(8) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-05測線)



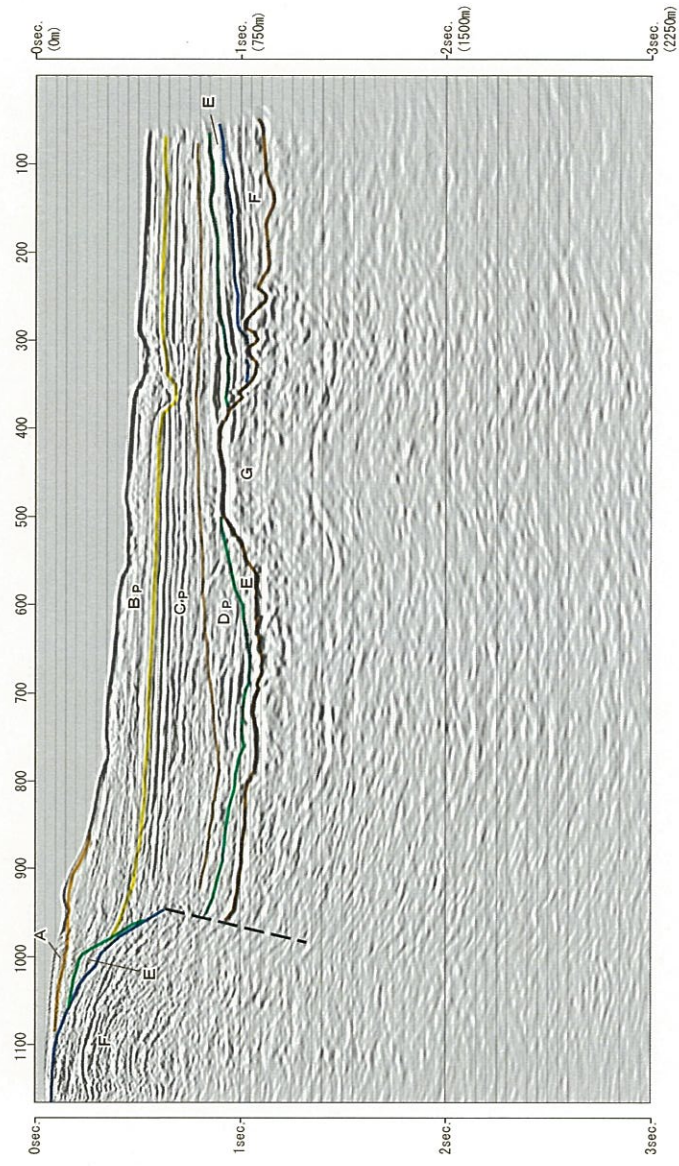
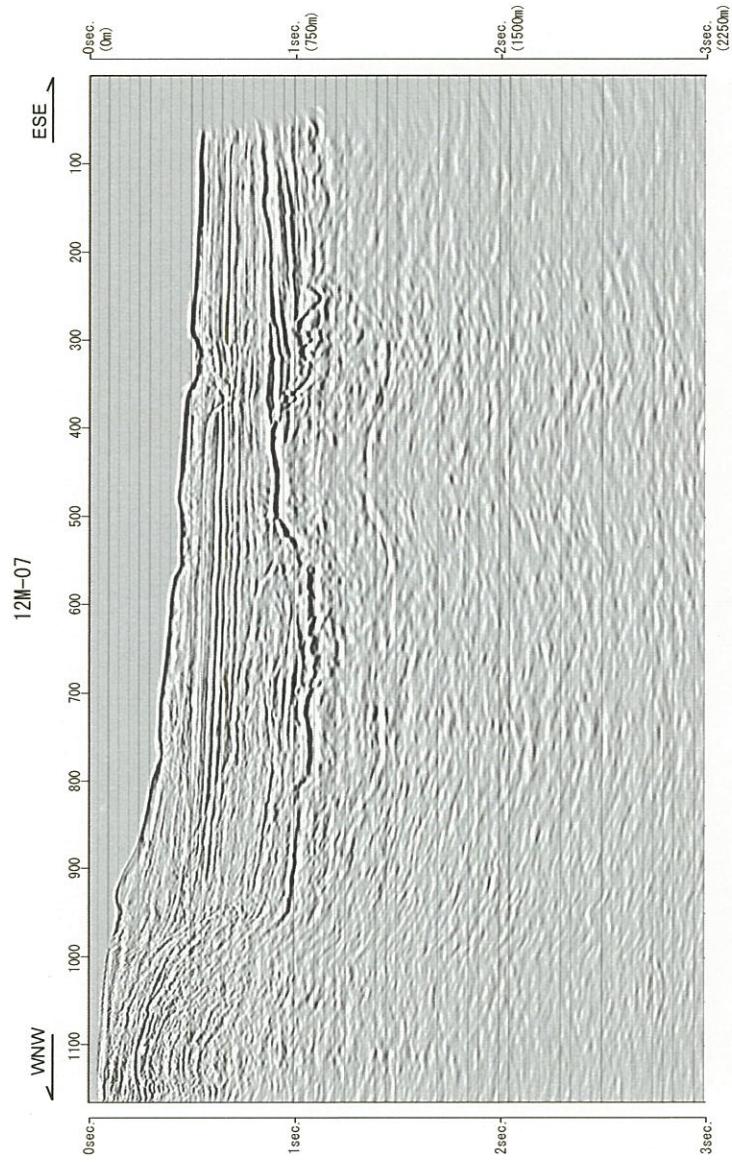
第4.2-129図(9) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 2測線)

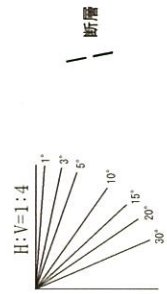
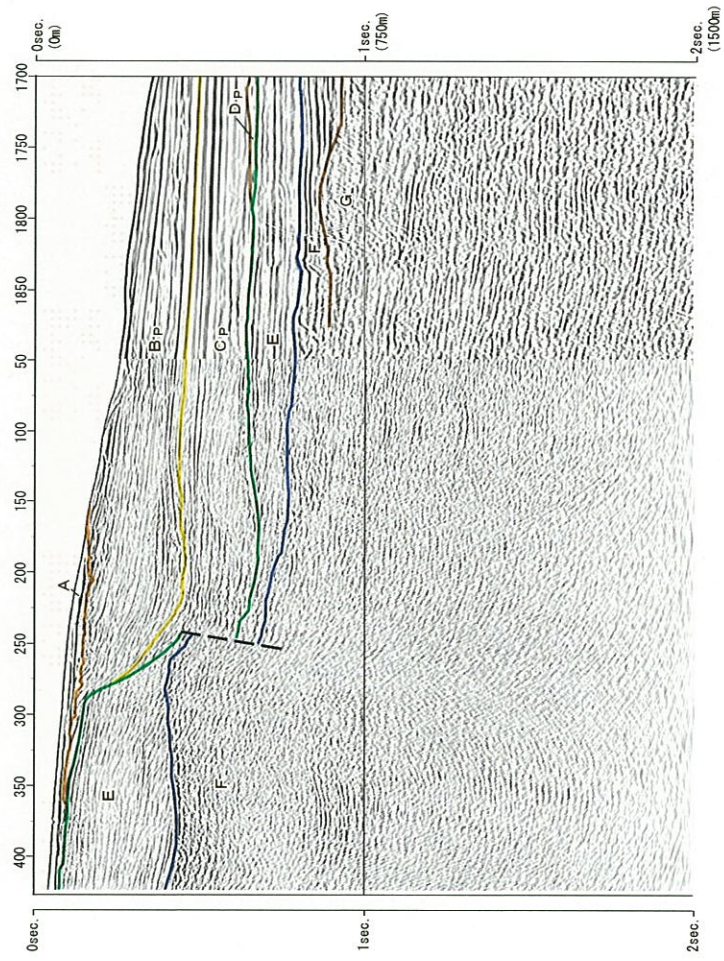
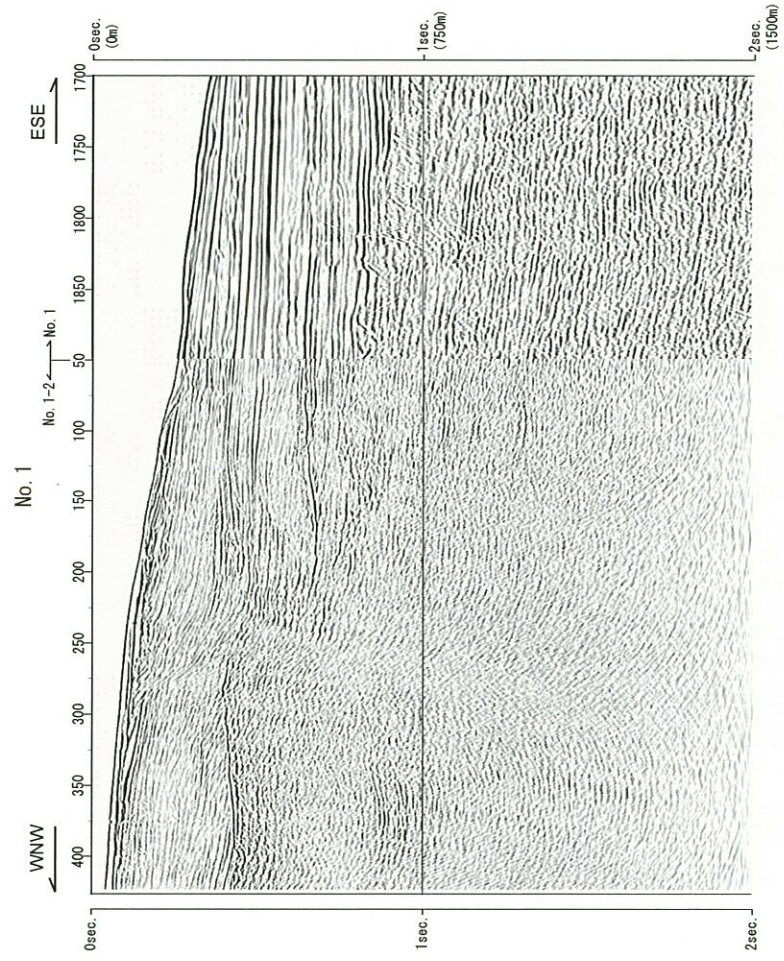


第4.2-129図(10) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01測線)

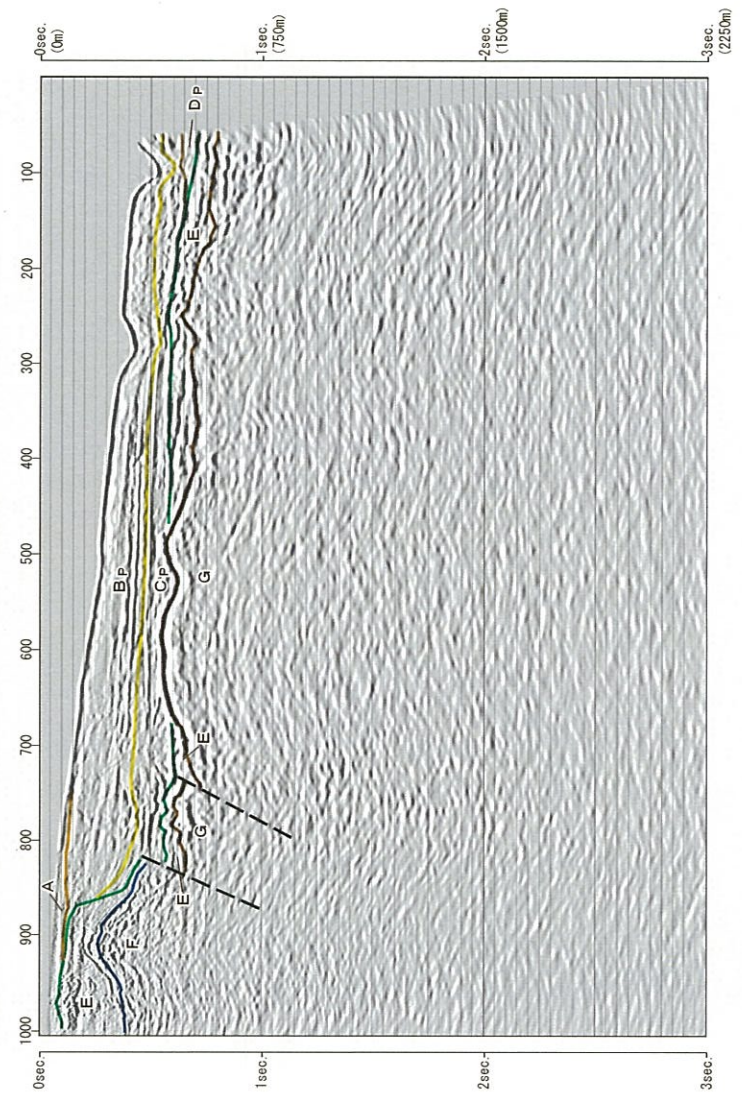
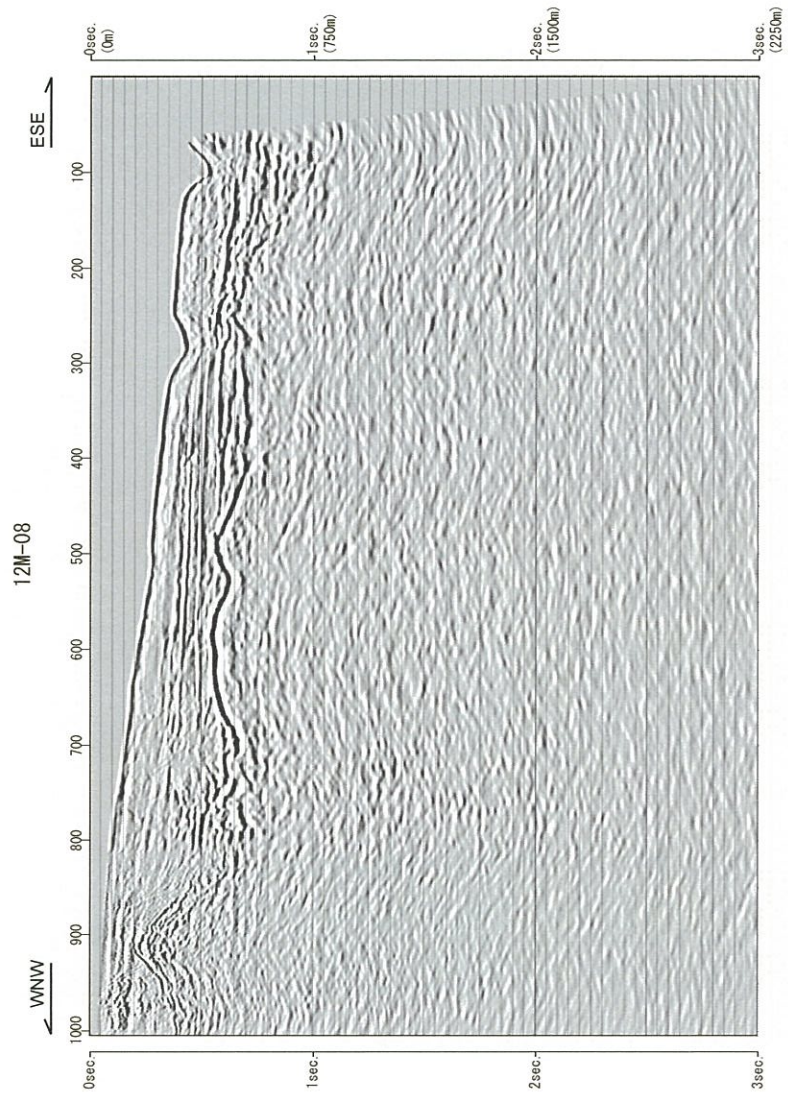


第4.2-129図(12) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-06測線)

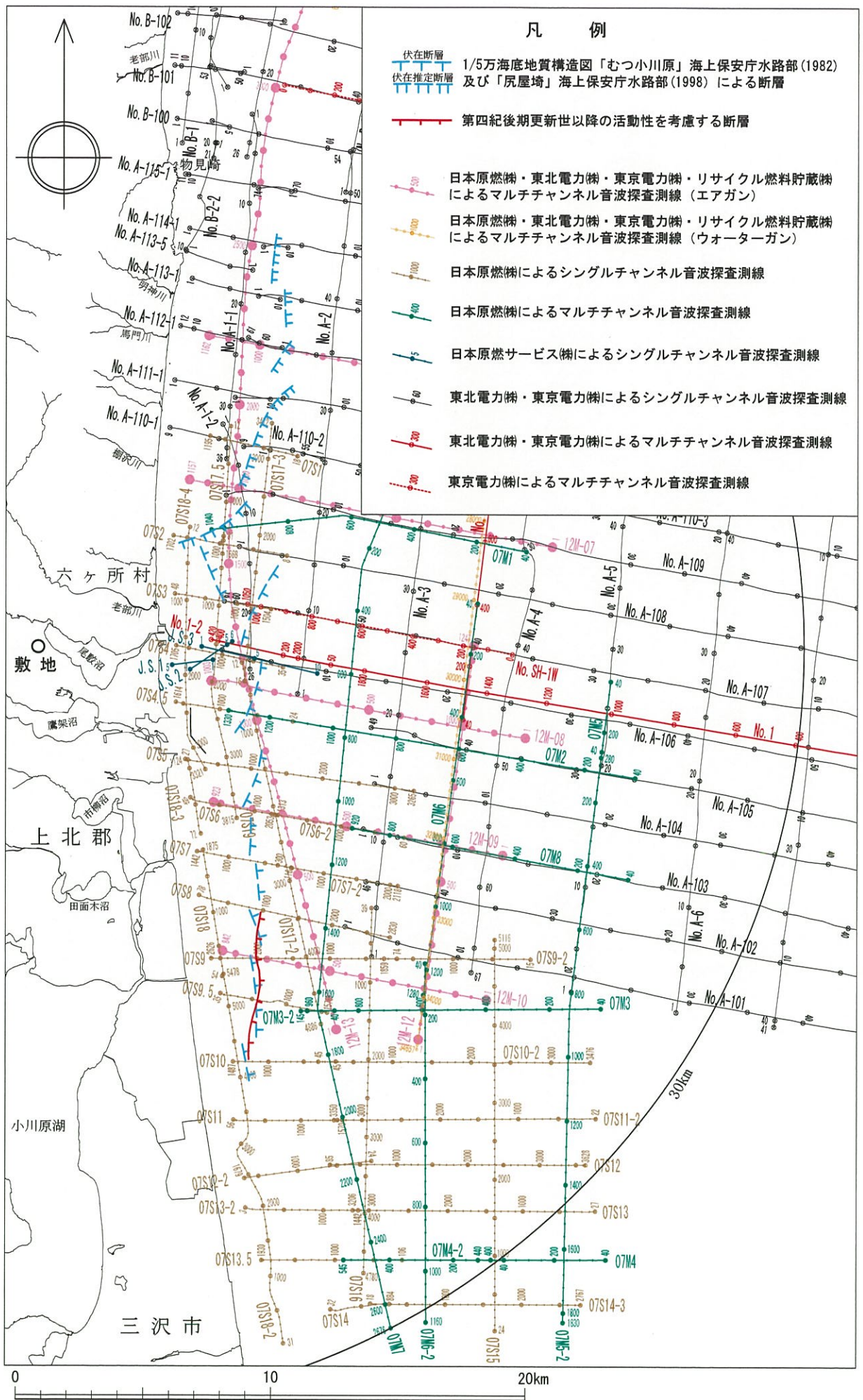




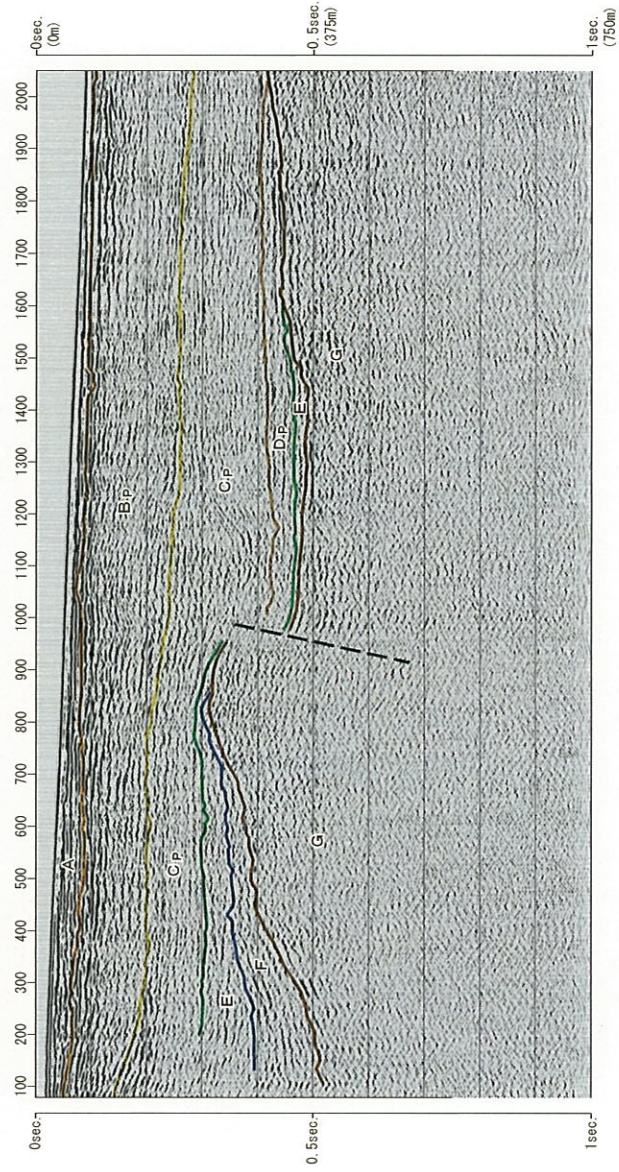
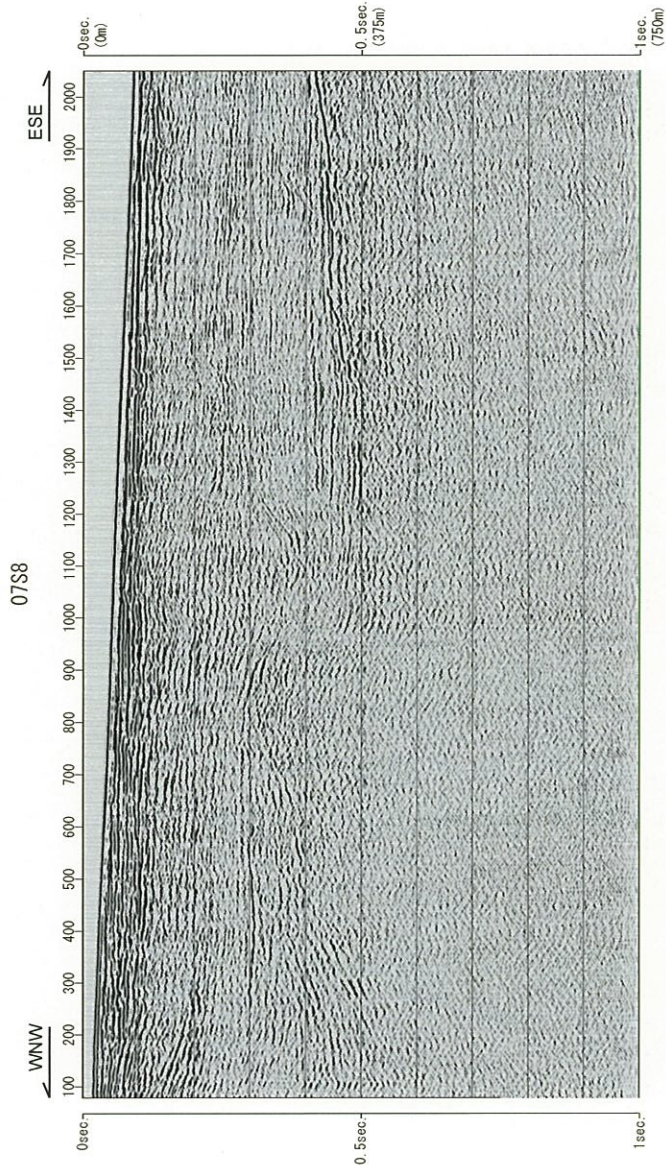
第4.2-129図(14) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 1測線)

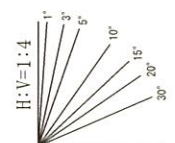
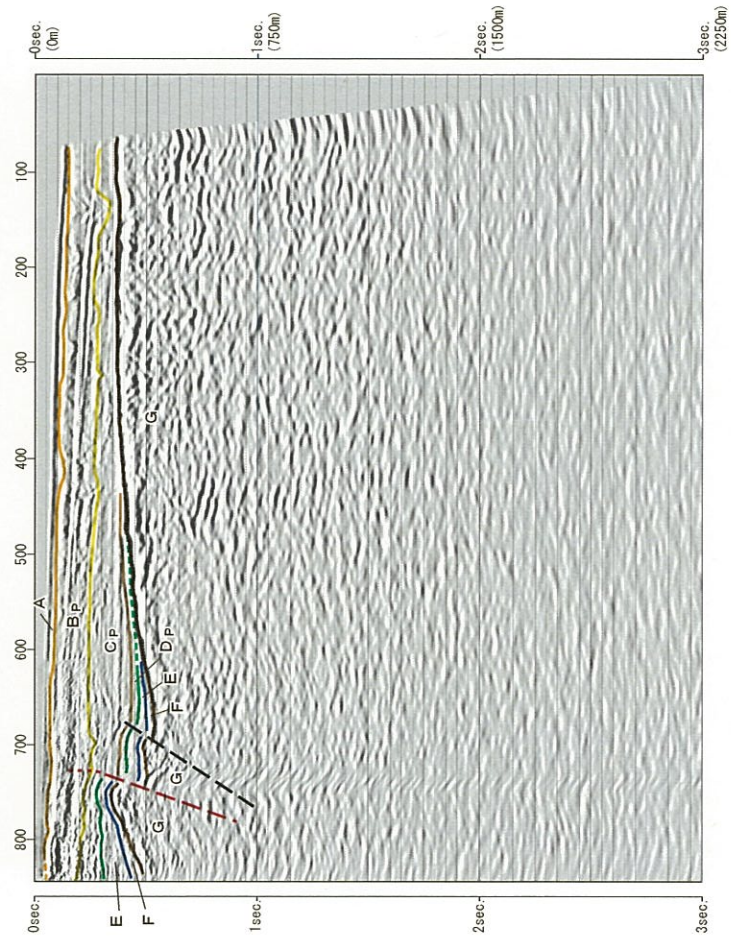
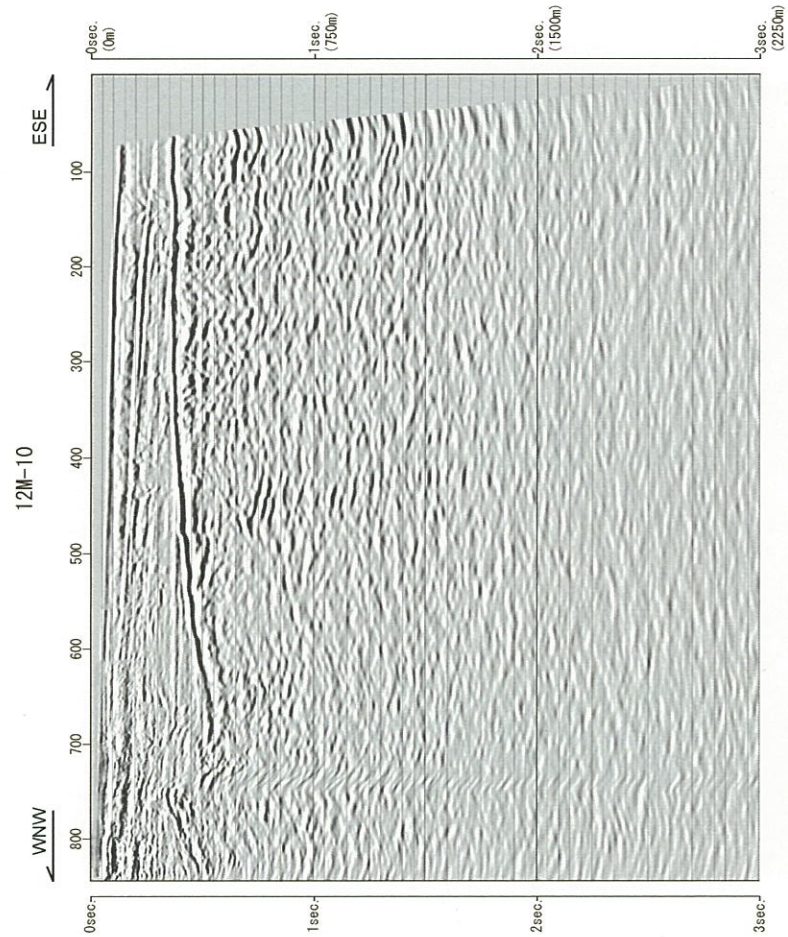


第4.2-129図(15) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-08測線)

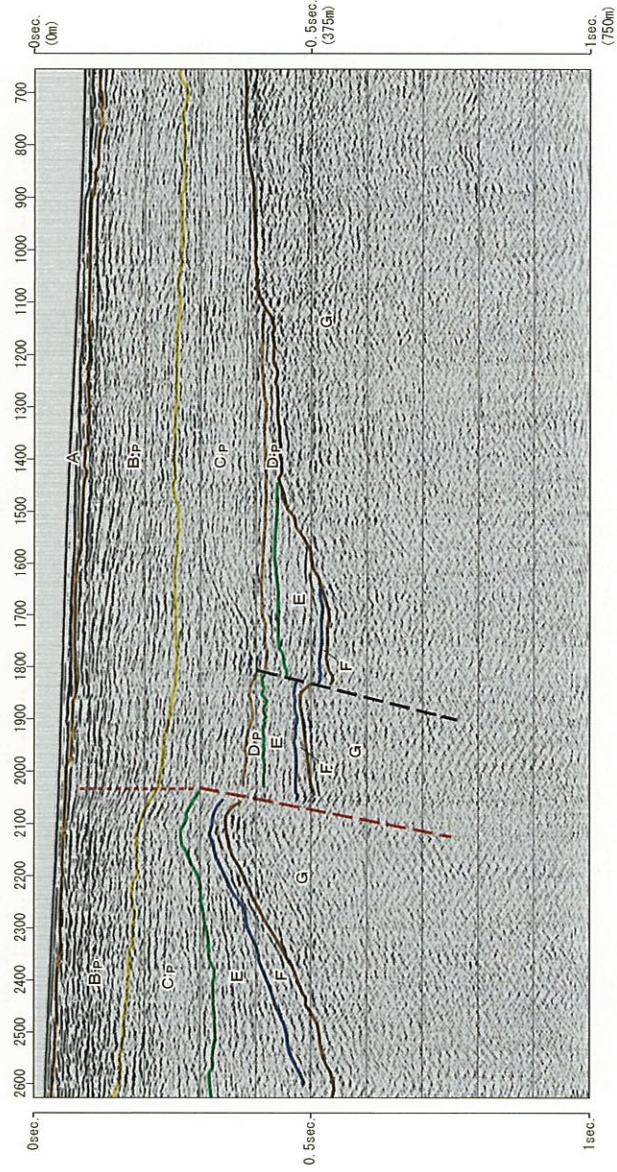
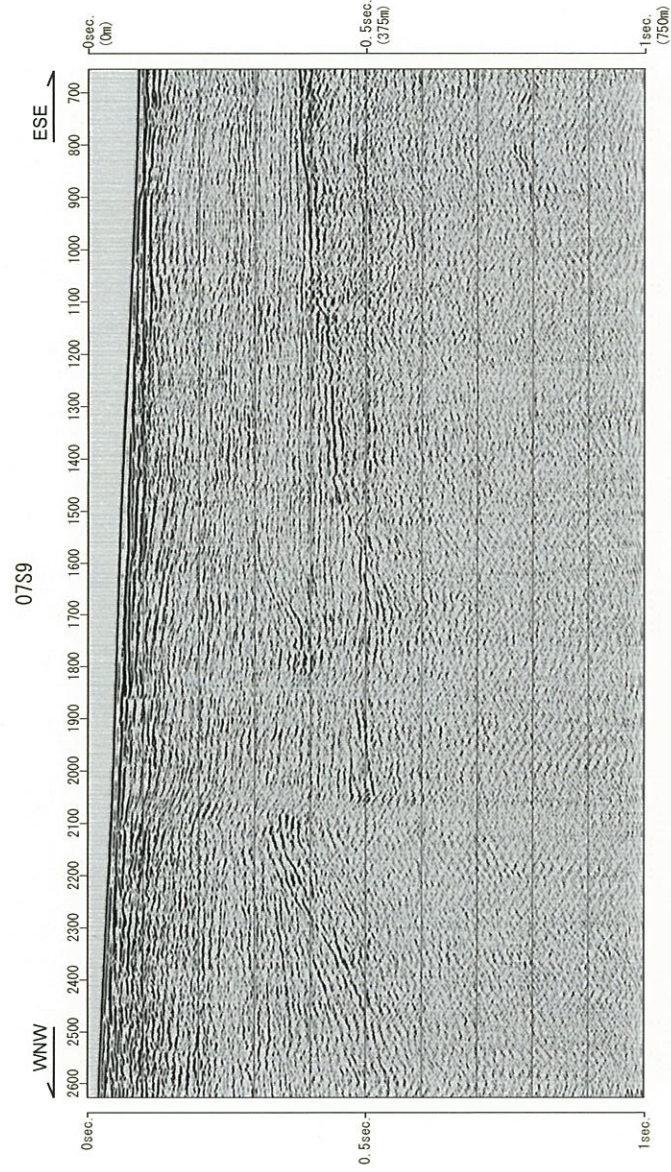


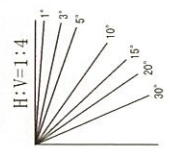
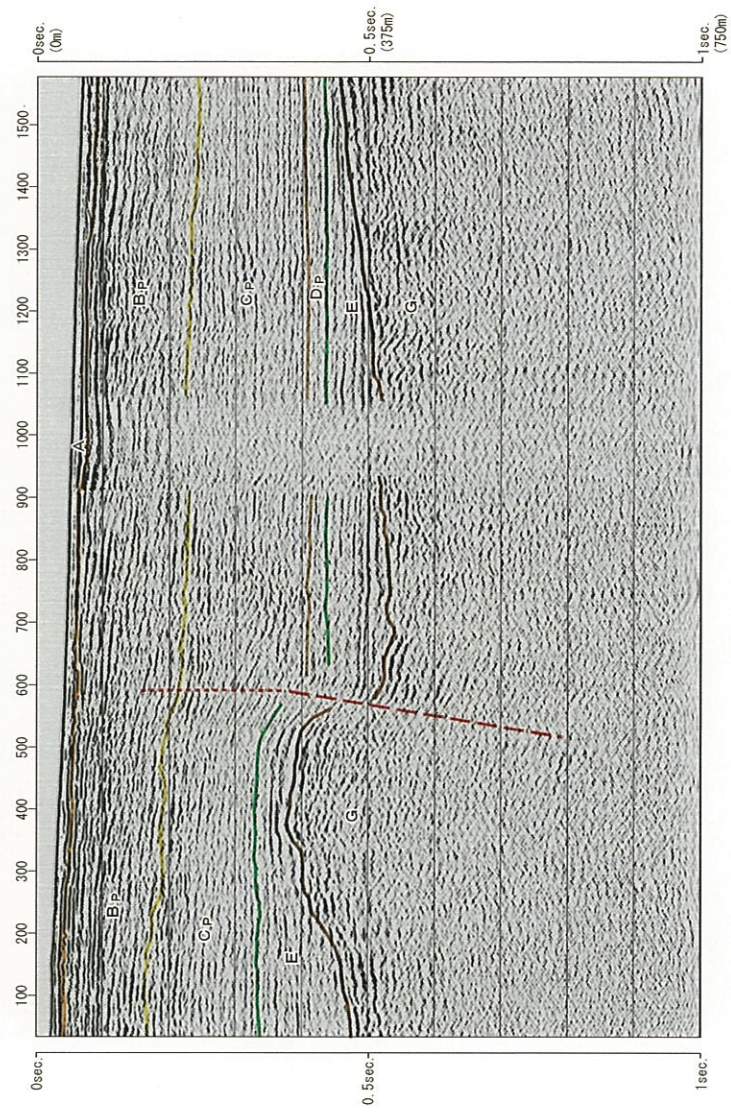
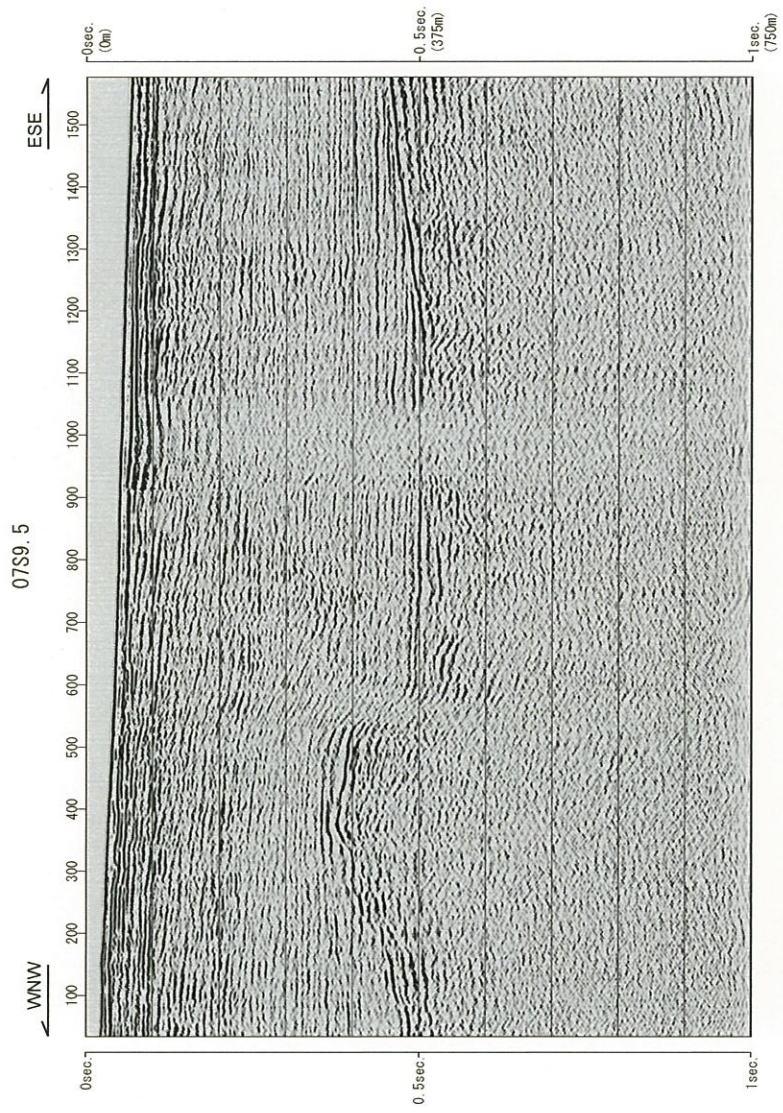
第4.2-130図 F-d断層位置図





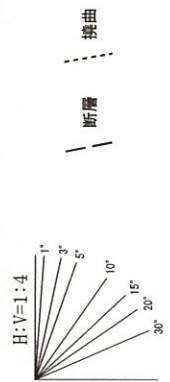
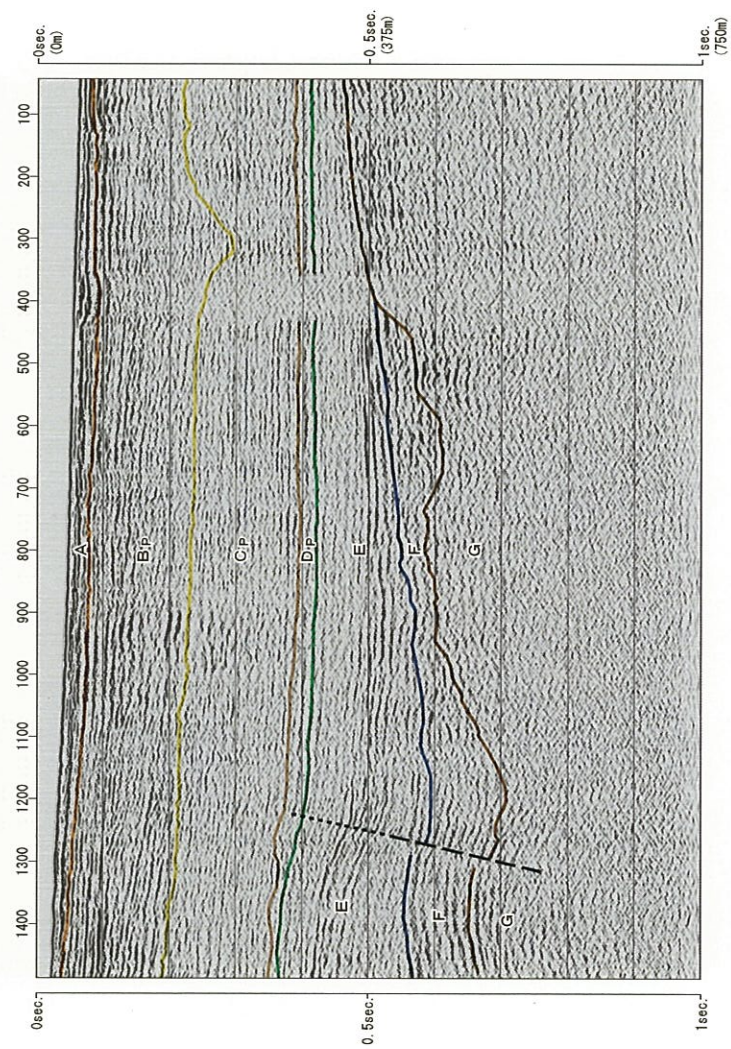
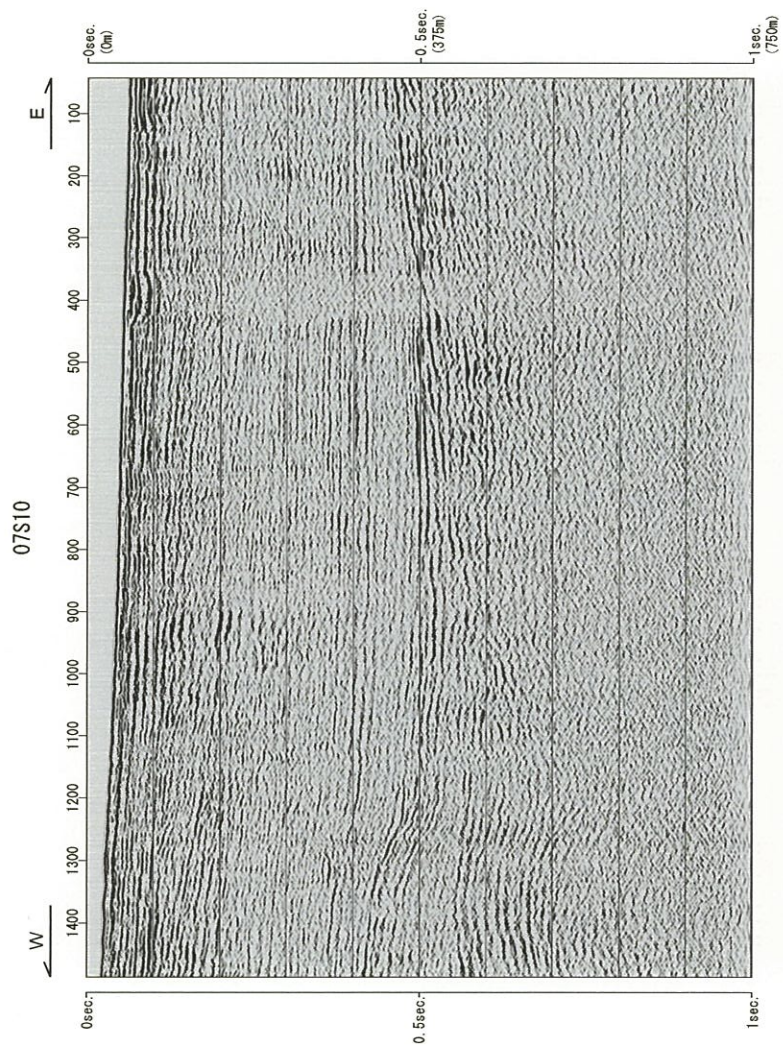
第4.2-131図(2) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-10測線)



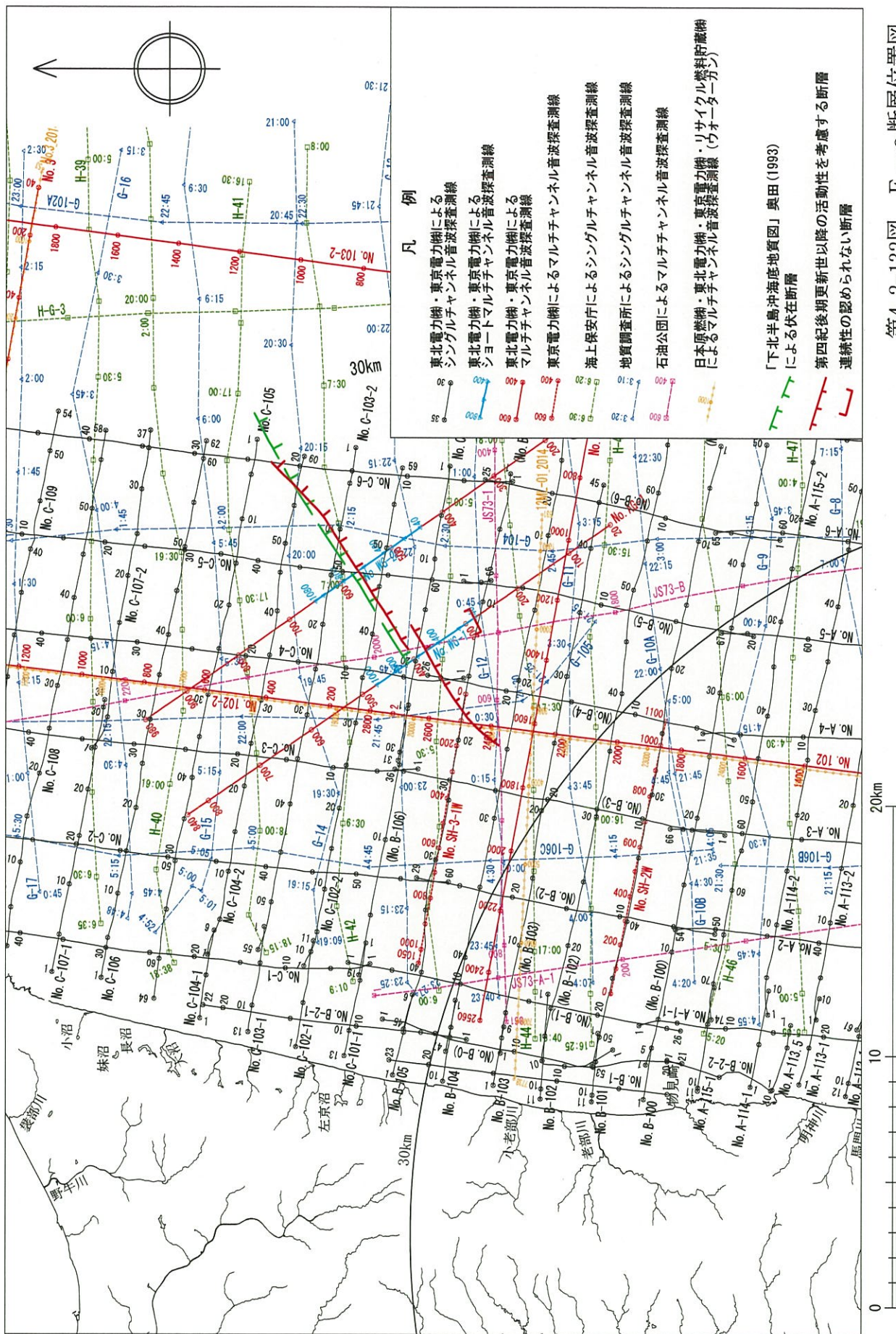


断層 撓曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの



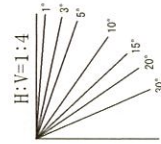
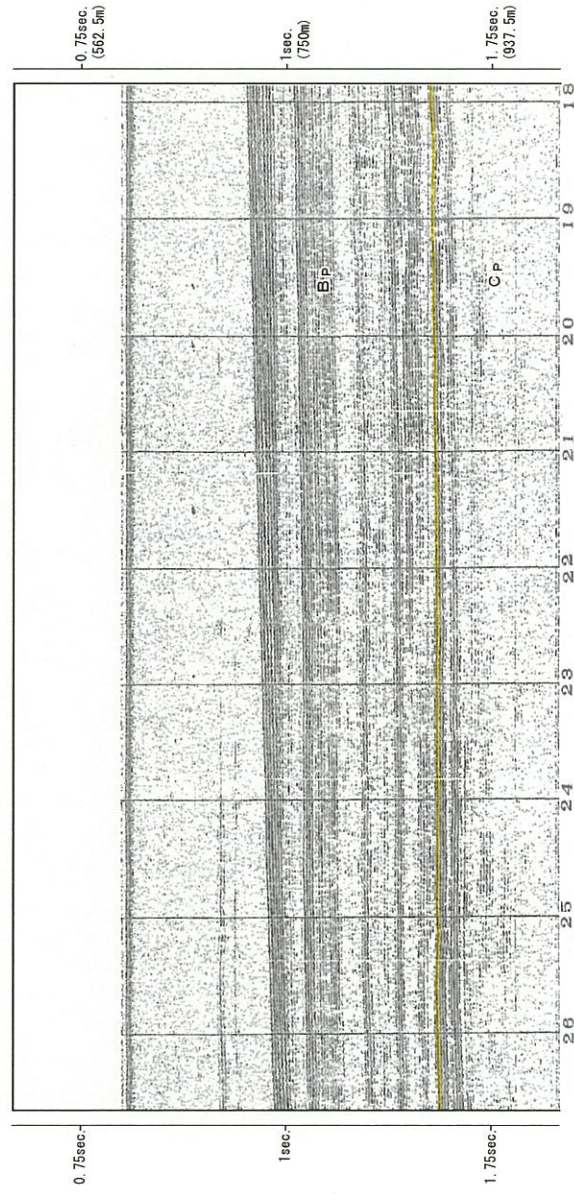
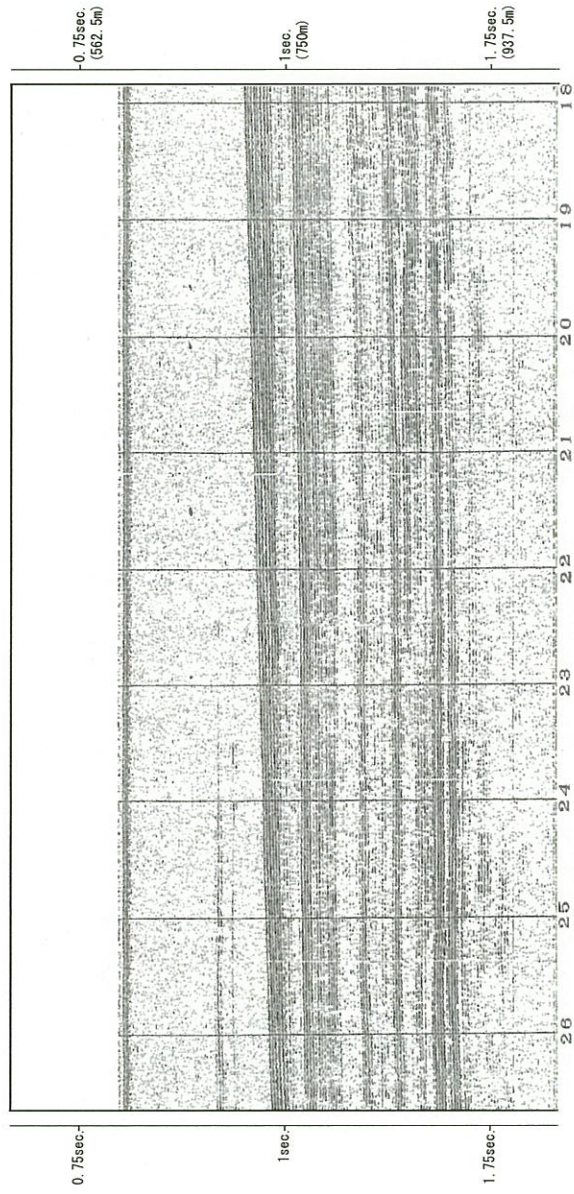
第4.2-131図(5) F-d断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (07S10測線)

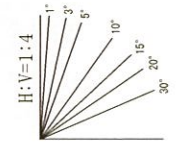
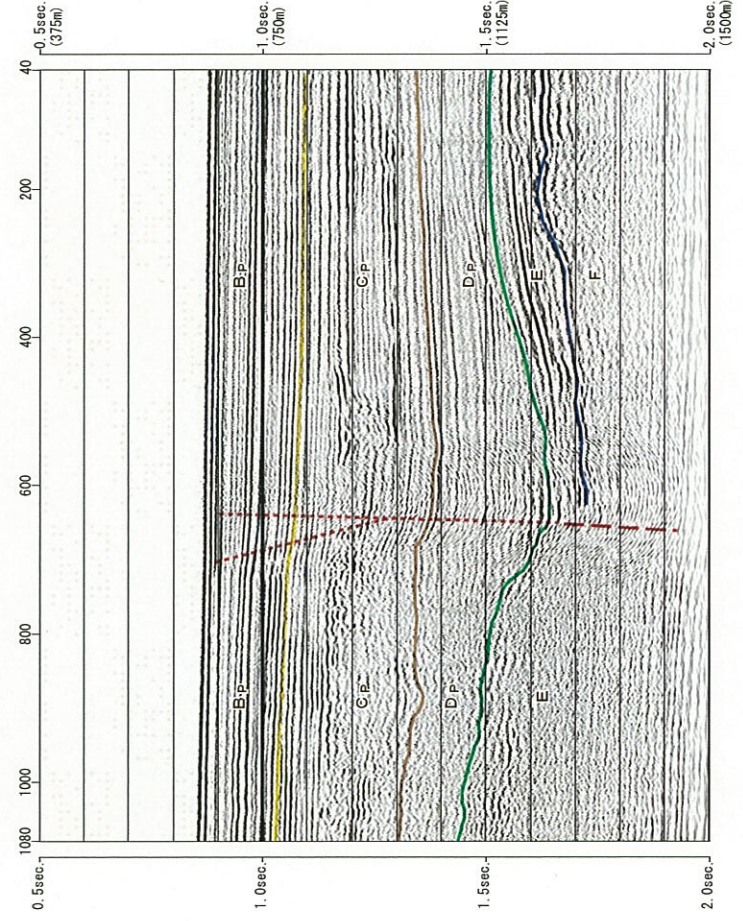
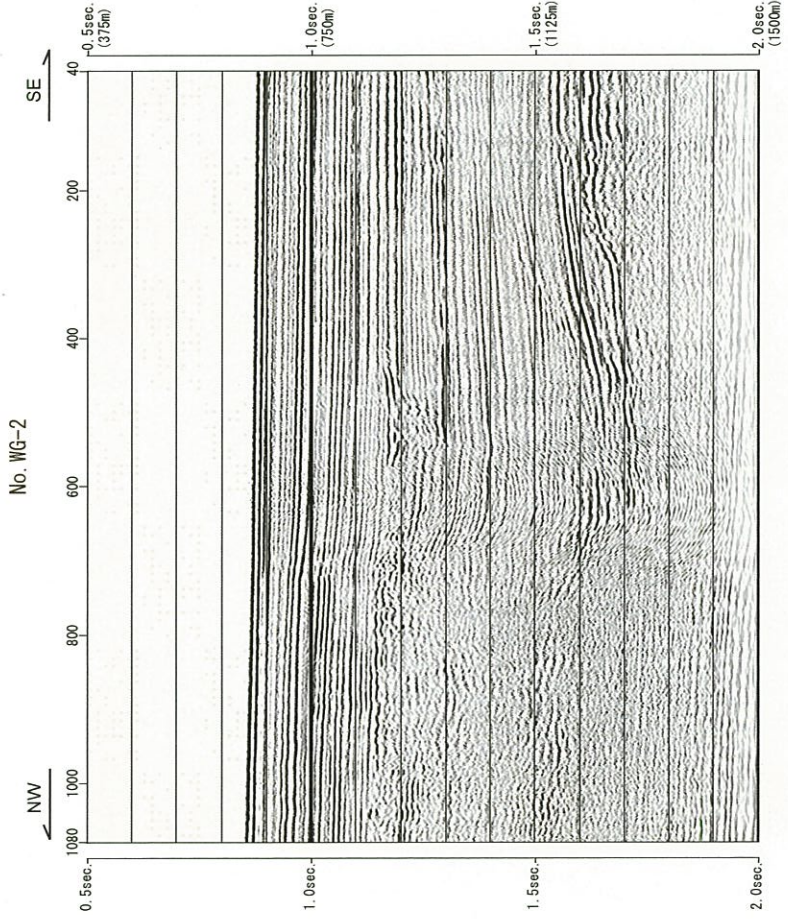


No. C-6

← NNE

SSW →



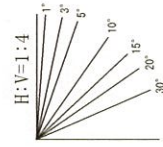
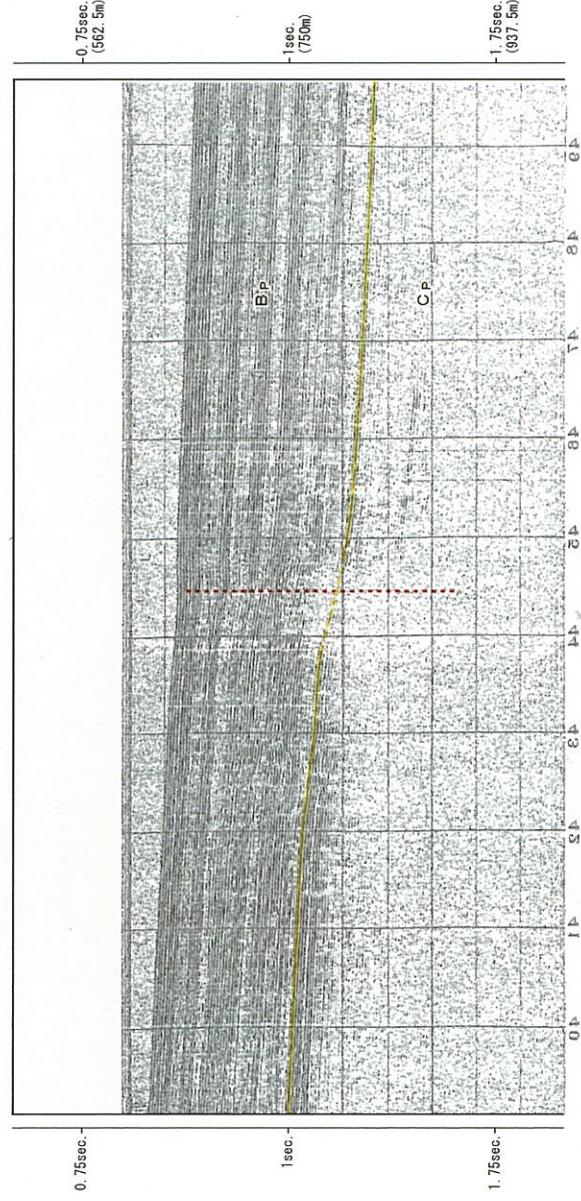
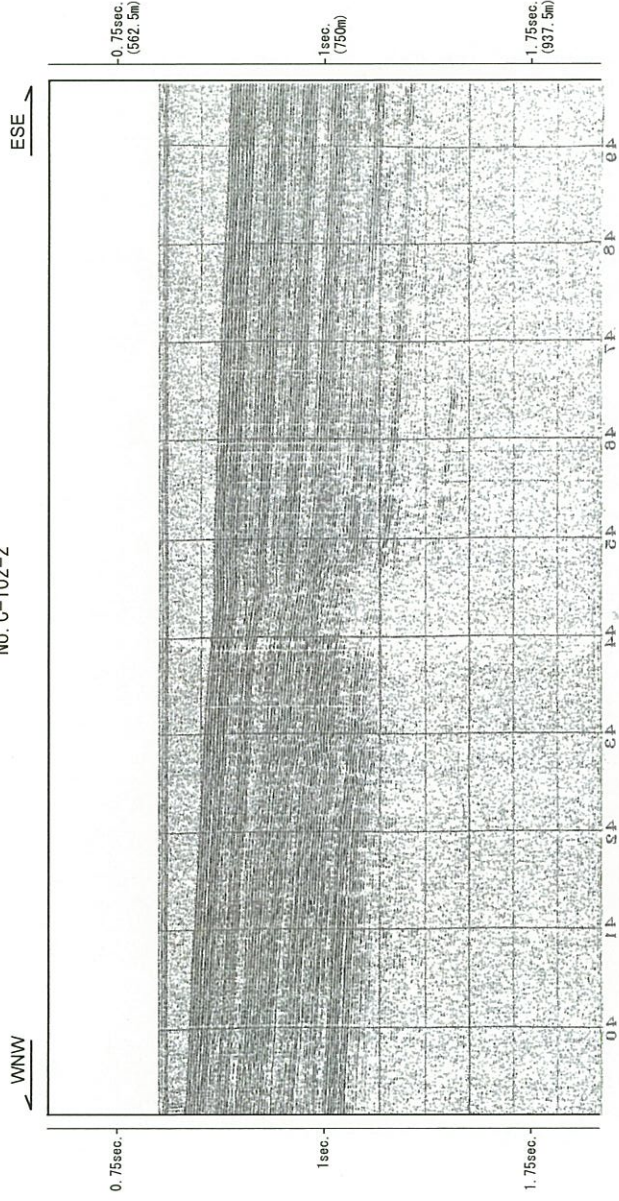


断層 撓曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

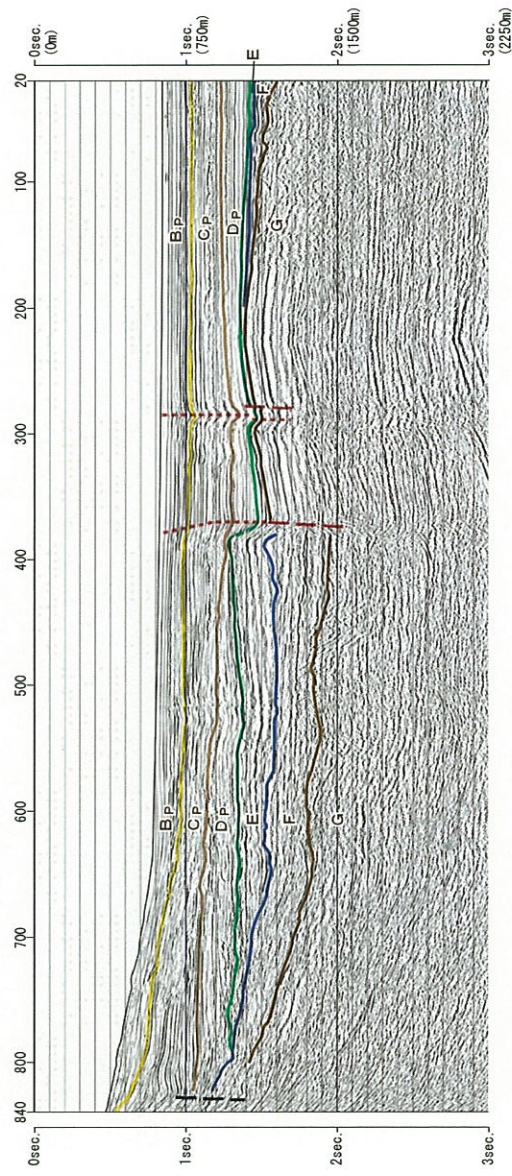
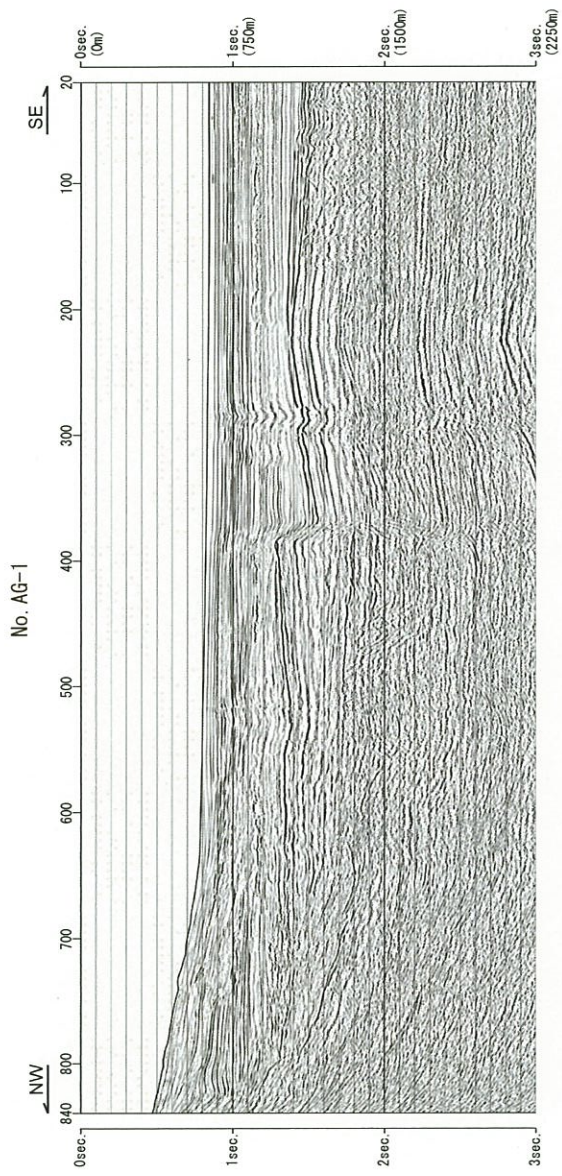
第 4. 2-133 図 (3) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-2 測線)

No. C-102-2

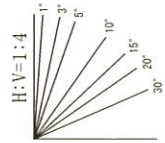
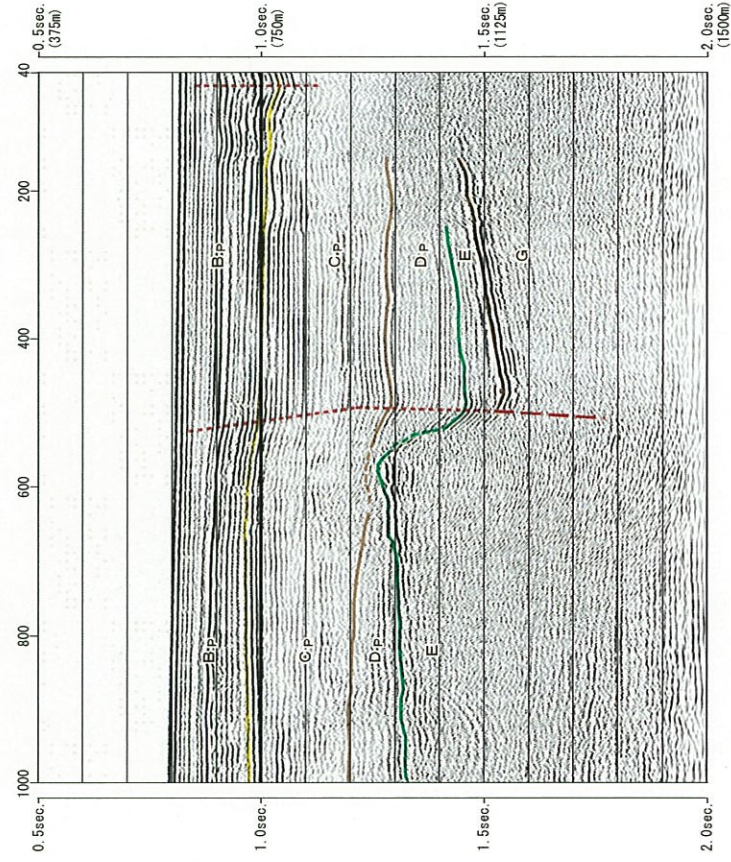


操作

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に支配・変形が認められるもの



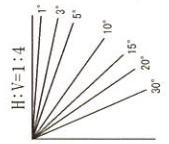
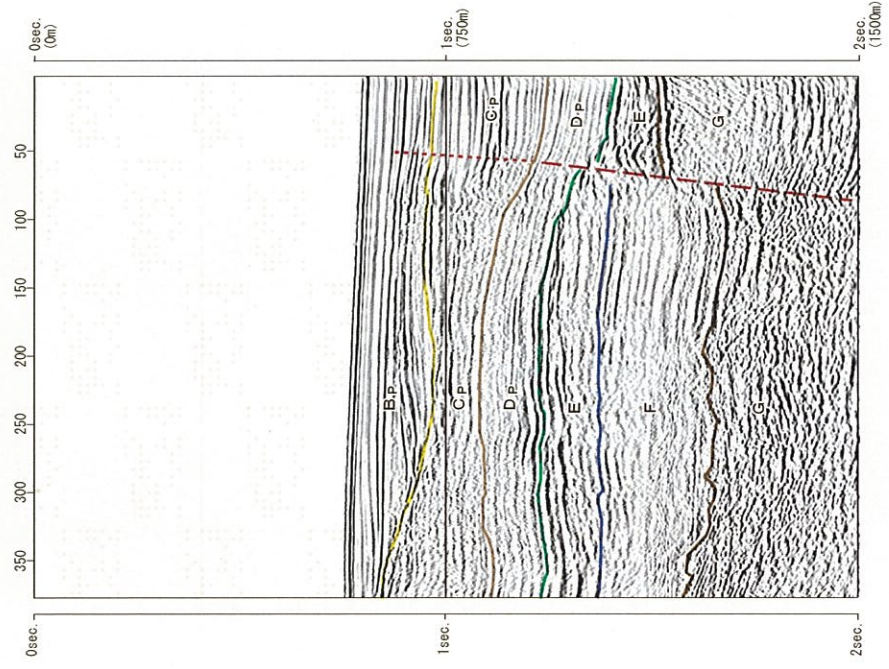
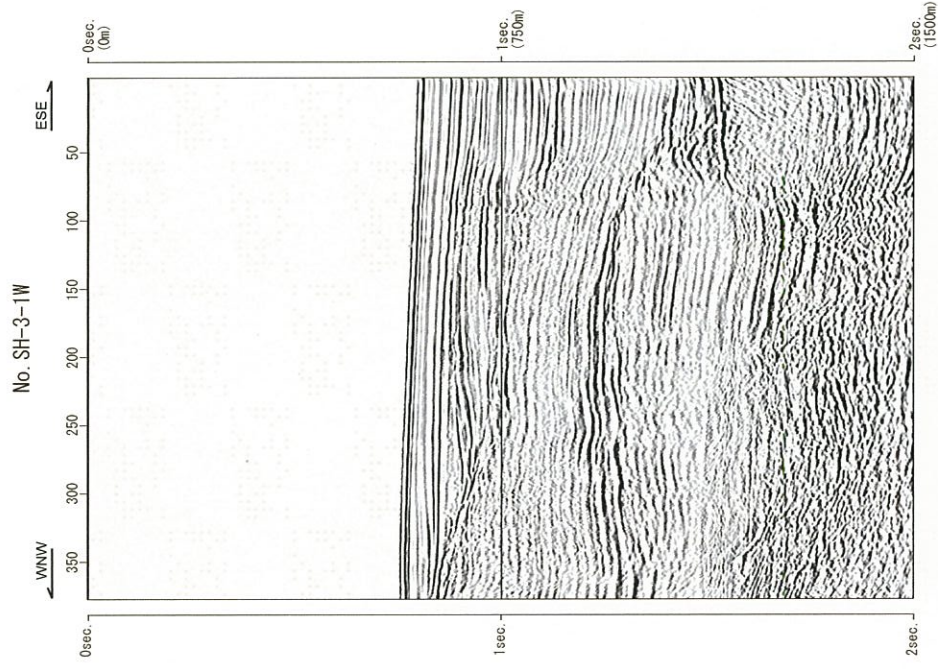
第 4.2-133 図 (5) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. AG-1 測線)



断層 構造

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に歪位・変形が認められるもの

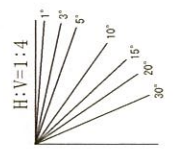
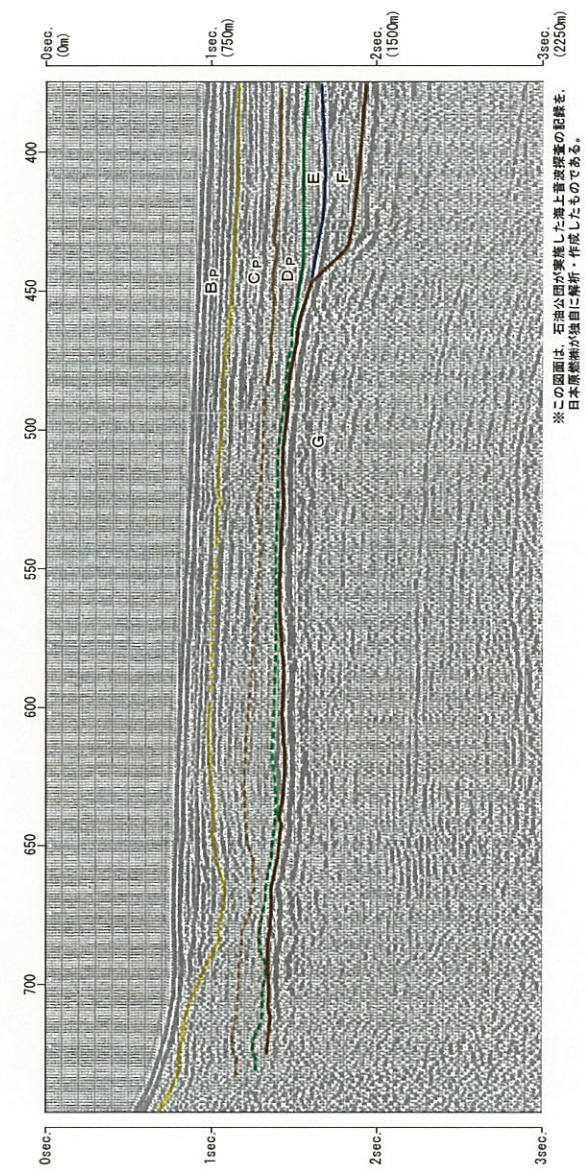
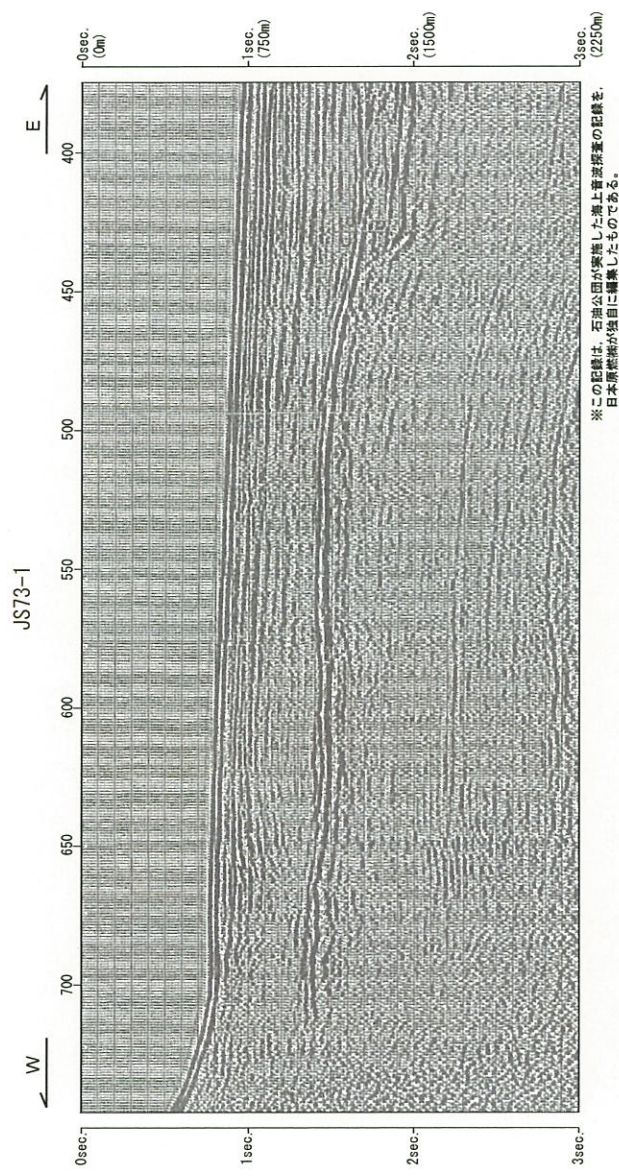
第 4.2-133 図 (6) F - c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. WG-1 測線)



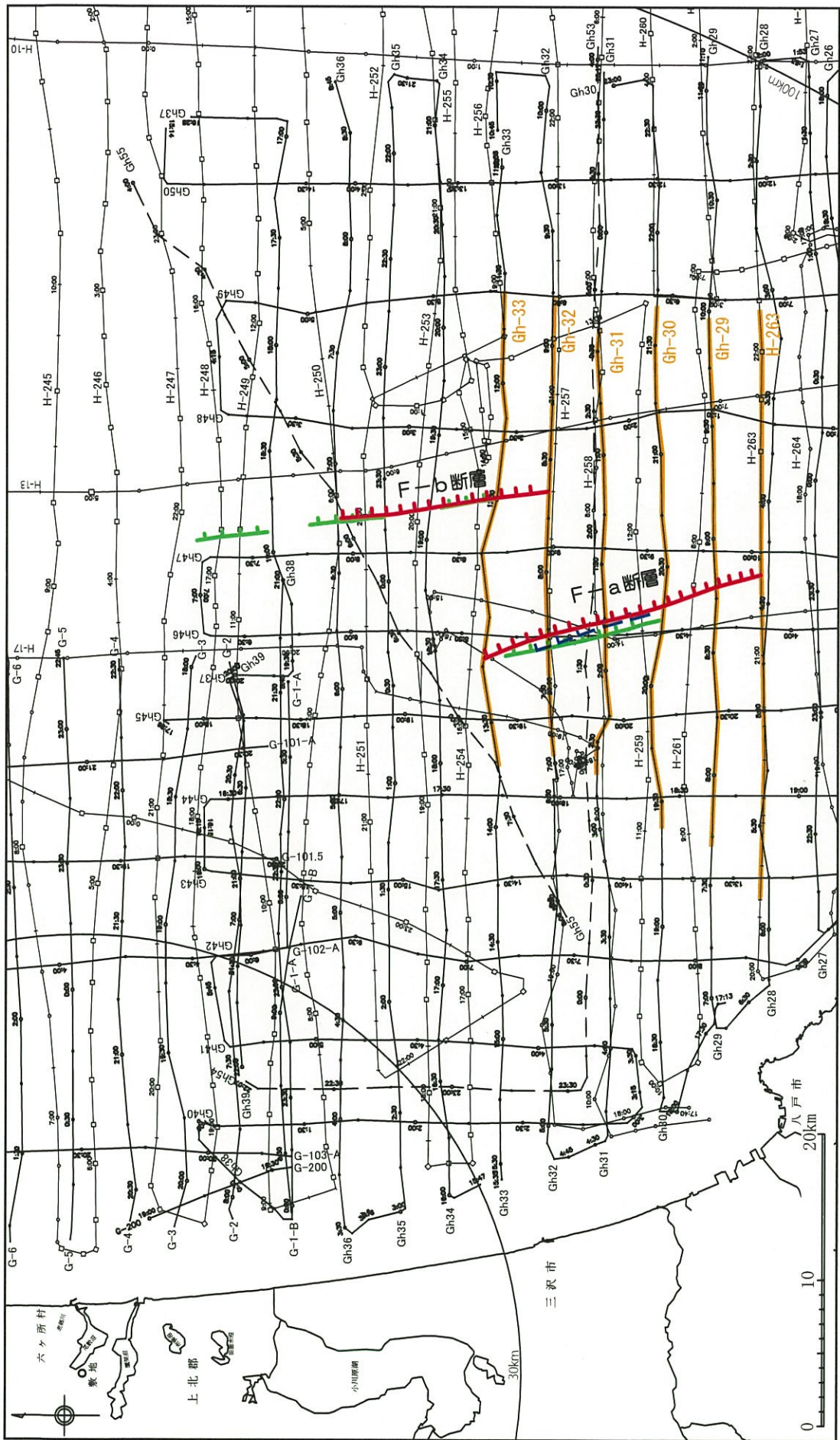
— 断層
- - - 撓曲

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に衰位・歪形が認められるもの

第4.2-133図(7) F-c 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. SH-3-1W測線)



第4.2-133図(8) F-c断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (JS73-1測線)

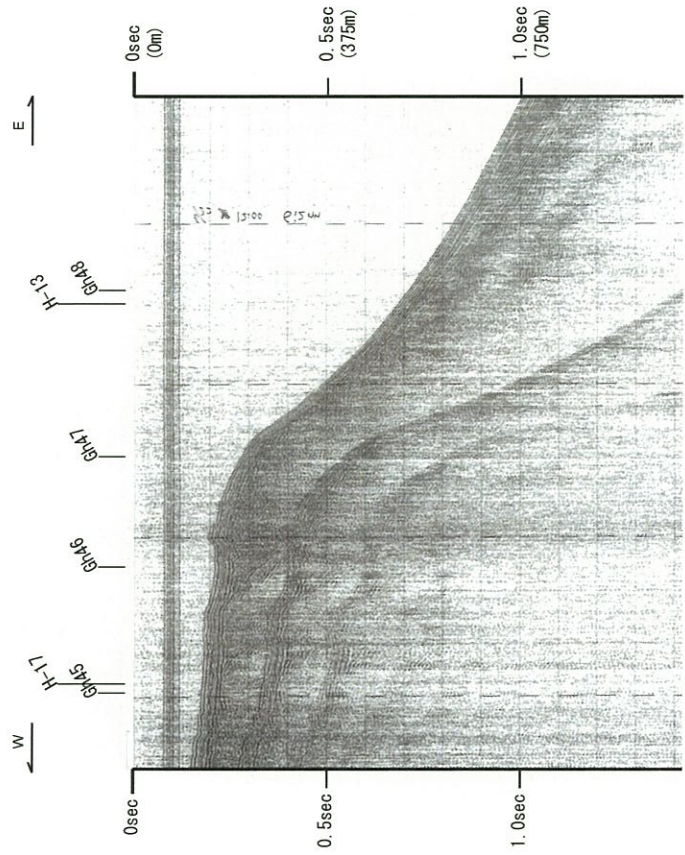


凡 例

- ┆┆┆ [新編]「日本の活断層」活断層研究会編(1991)による断層
- ┆┆┆ 1/20万海底地質構造図「八戸沖」海上保安庁水路部(1973)による断層
- ┆┆┆ 第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層
- ┆┆┆ H-253
- ┆┆┆ G-3
- ┆┆┆ Gh34
- ┆┆┆ 海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)
- ┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)
- ┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)
- ┆┆┆ 音波探査記録解析位置

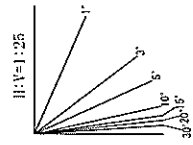
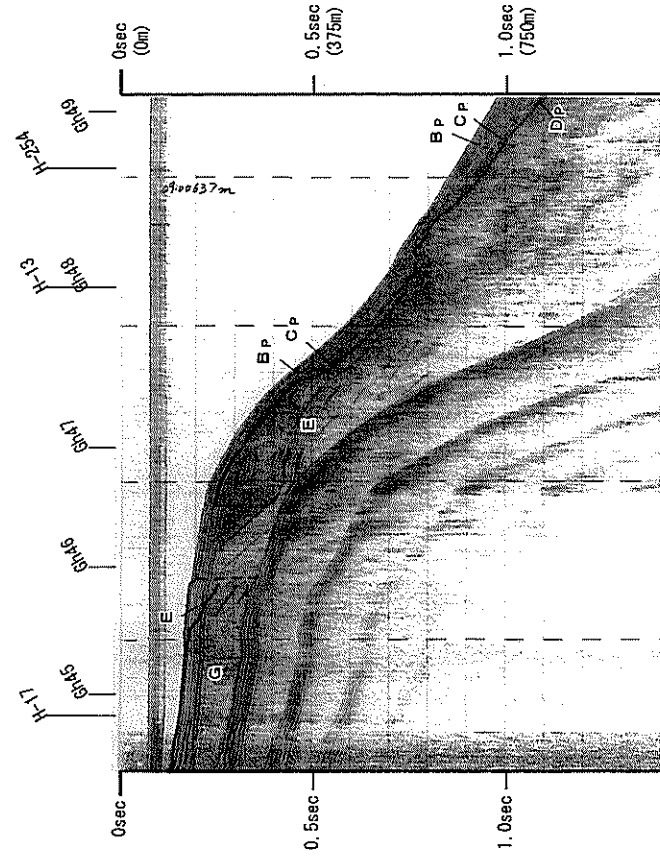
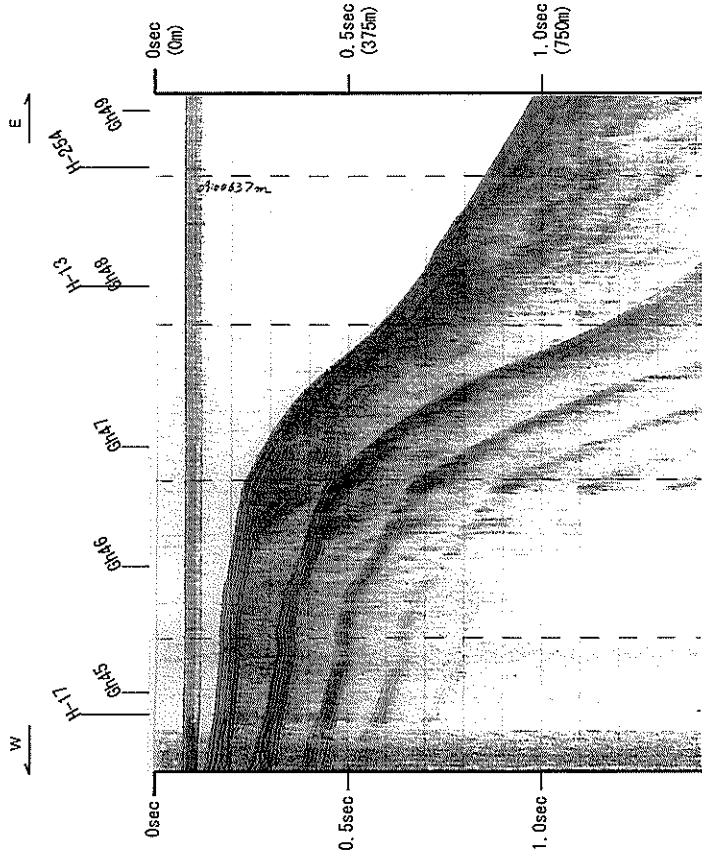
第4.2-134図 F-a 断層位置図

Gh33



第4.2-135図(1) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

Gh32

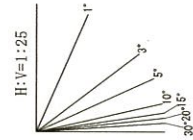
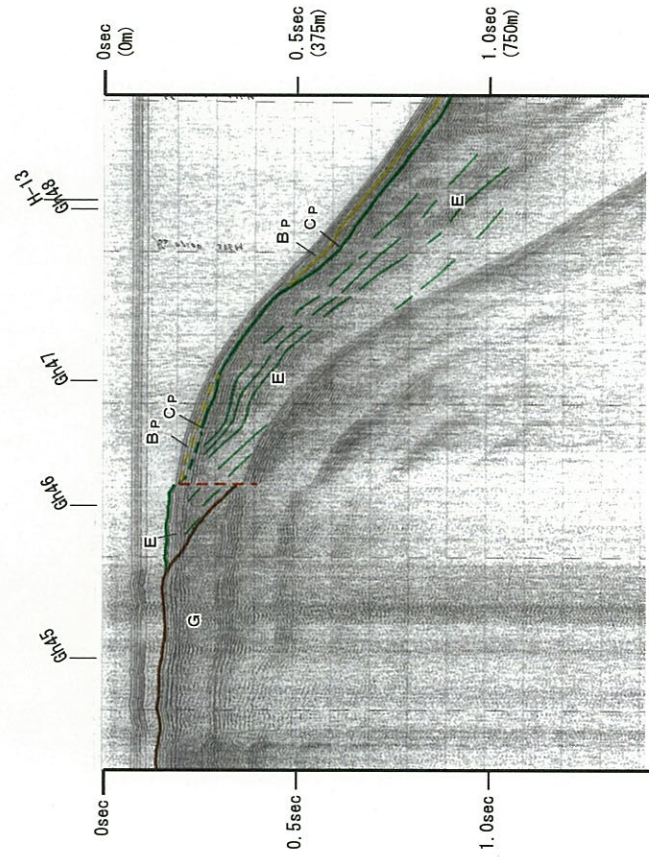
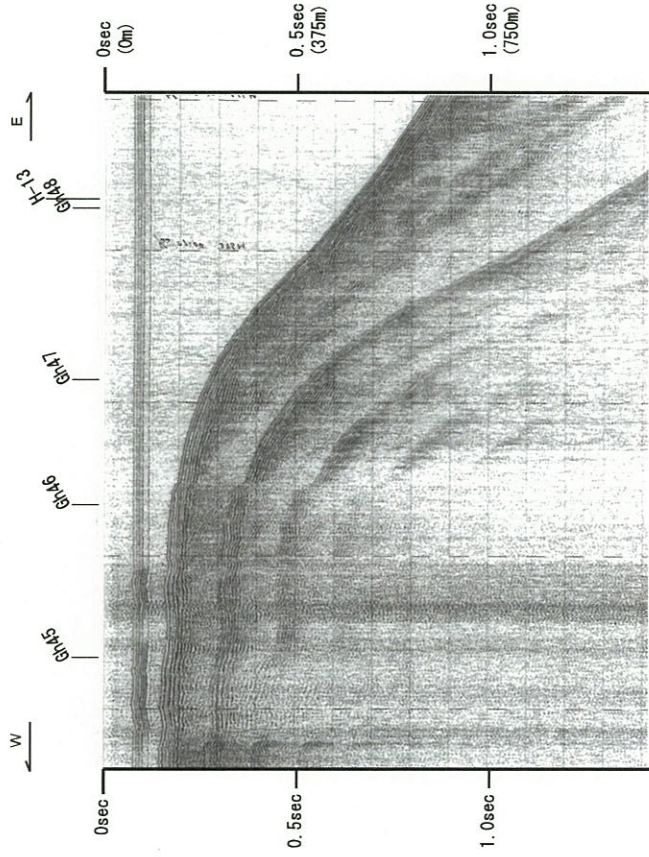


断面

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に或位もしくは
 変形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(2) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)

Gh31

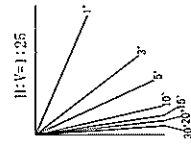
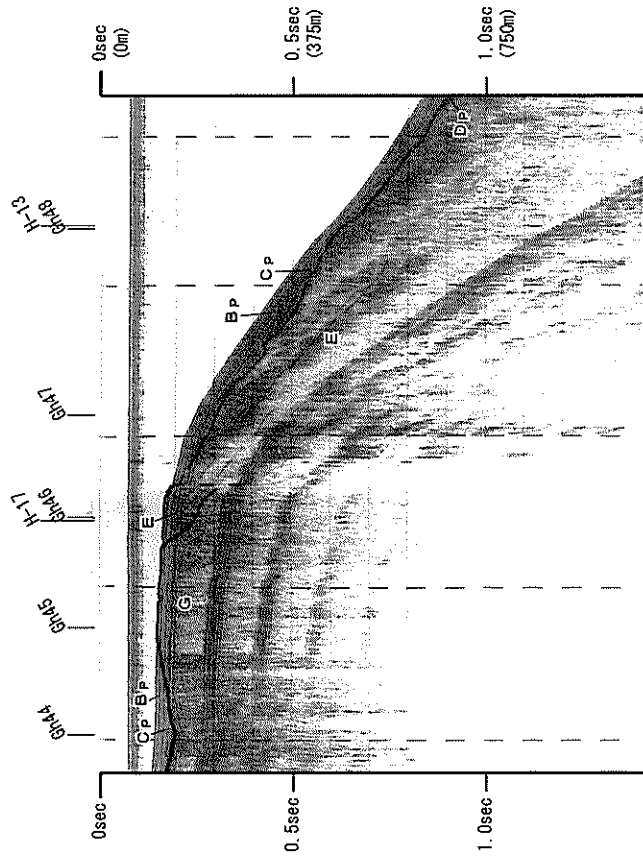
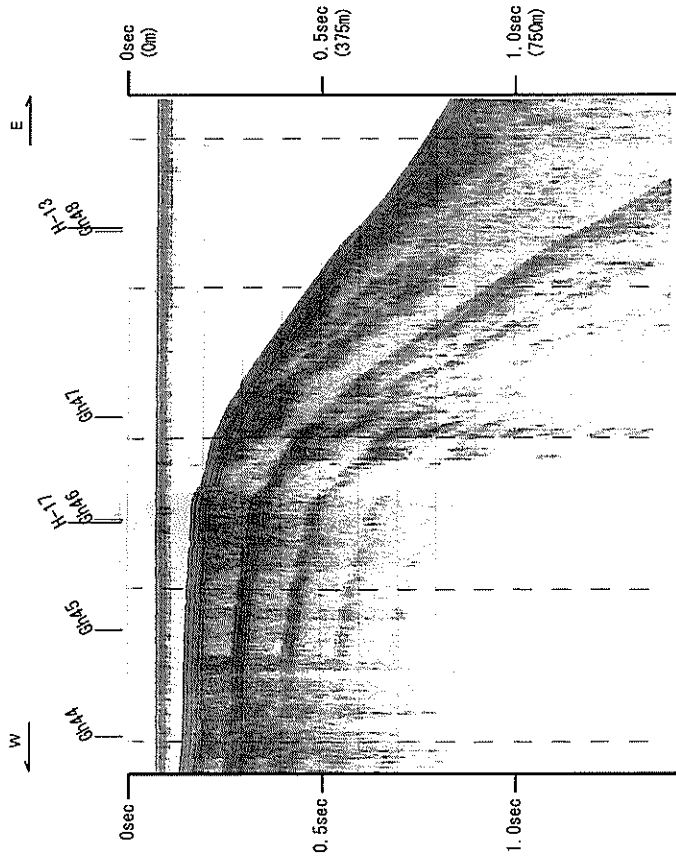


断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に家位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(3) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh31測線)

Gh30

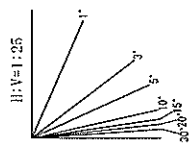
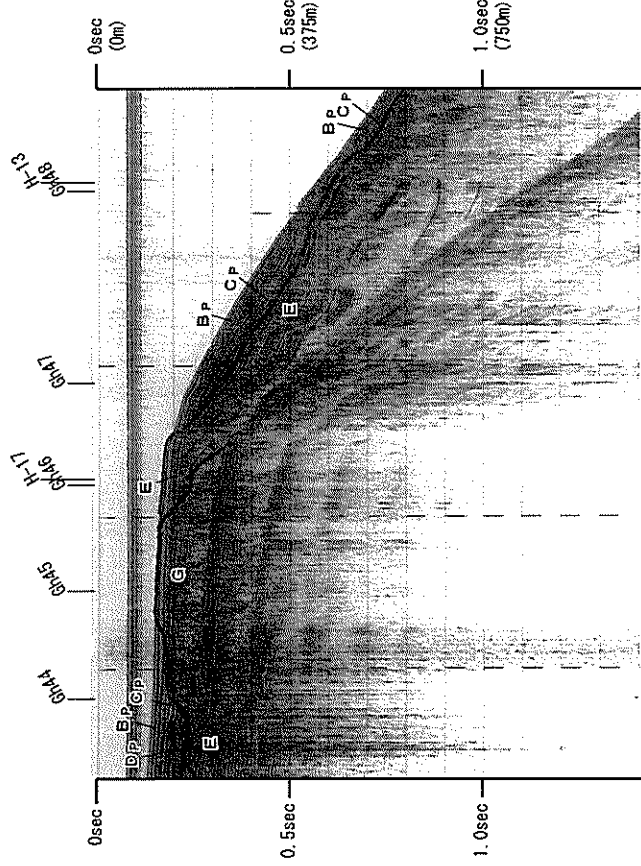
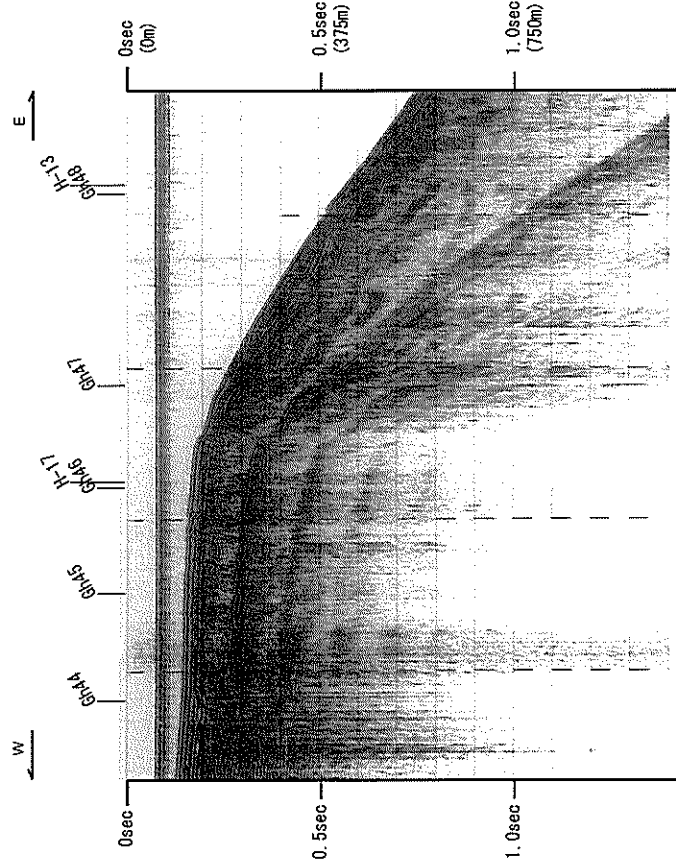


断面

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位もしくは変形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(4) F-a 断面周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh30測線)

Gh29

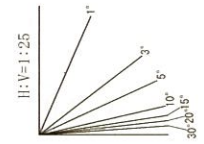
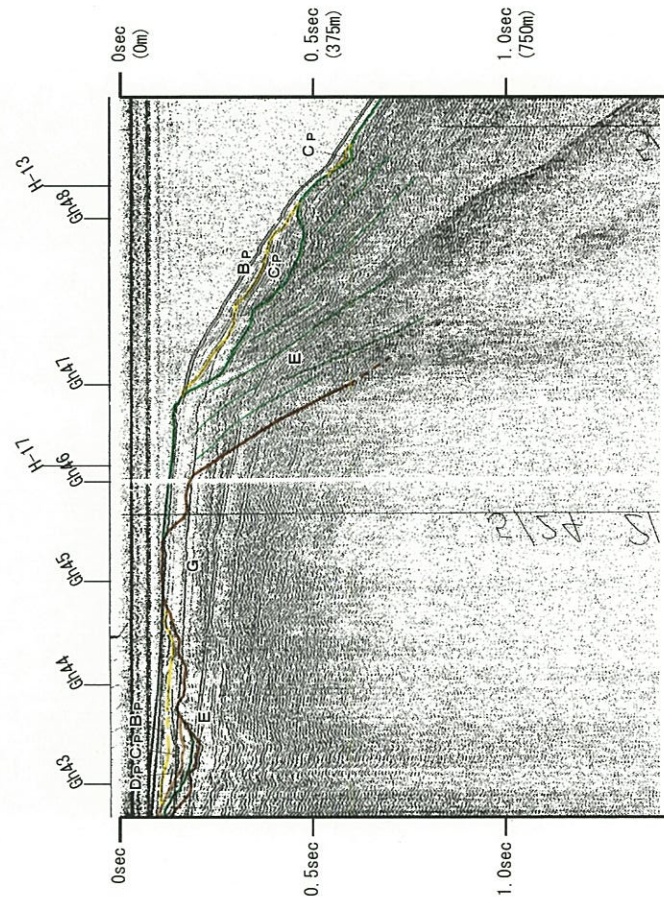
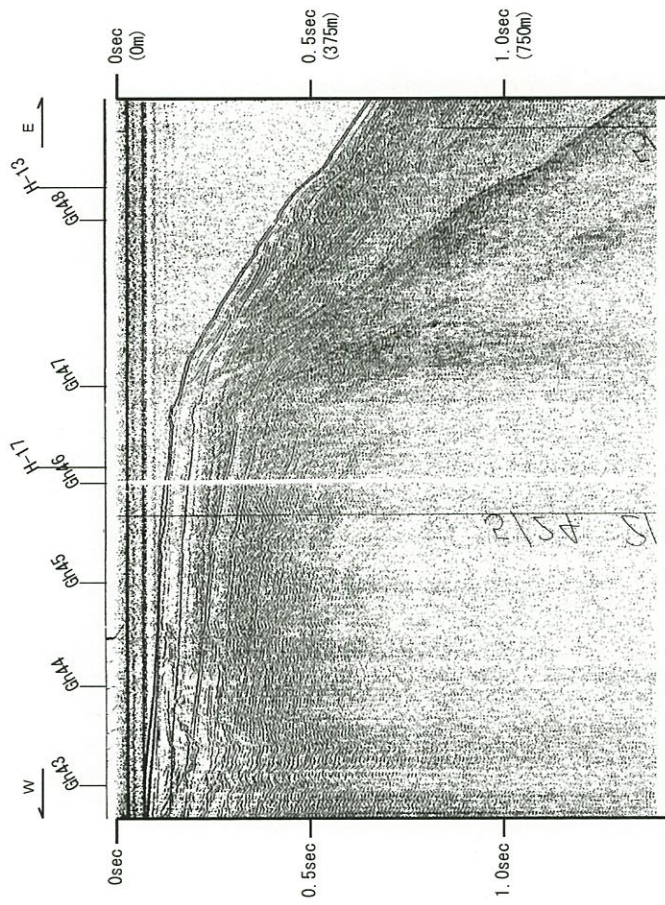


断面

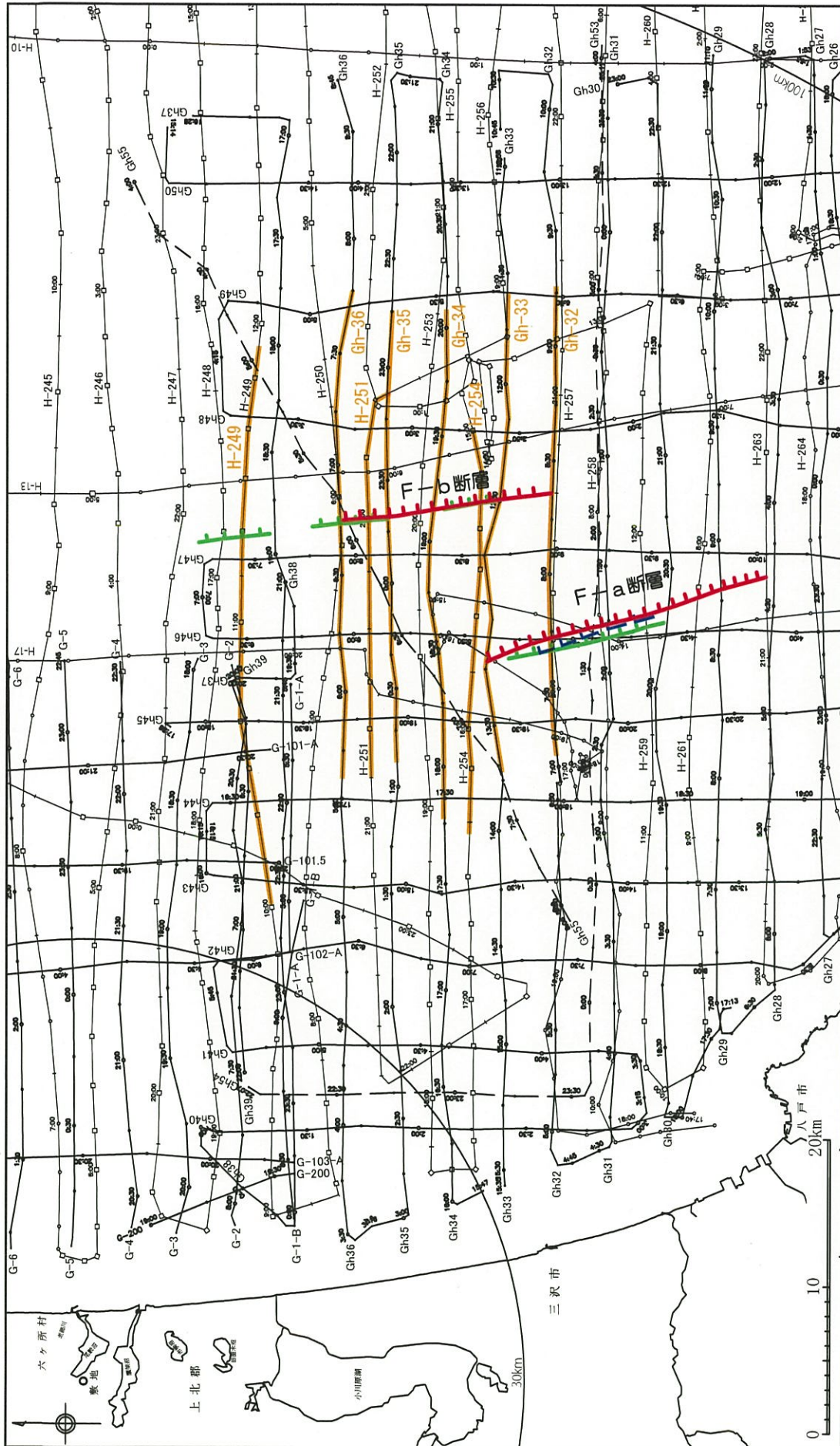
※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に寄位もしくは
 震形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-135図(5) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh29測線)

H-263



第4.2-135図(6) F-a 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-263測線)

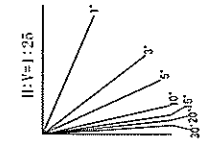
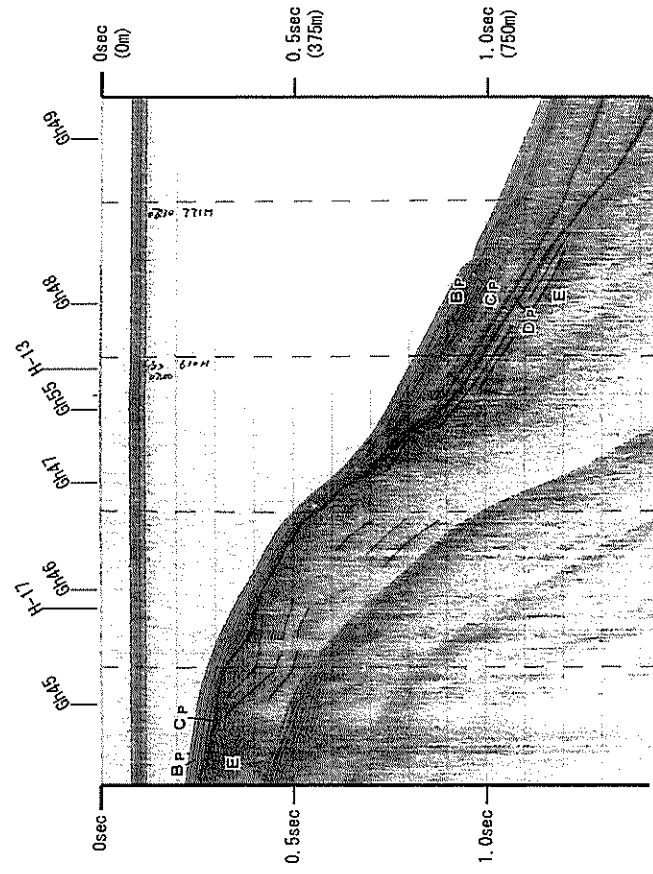
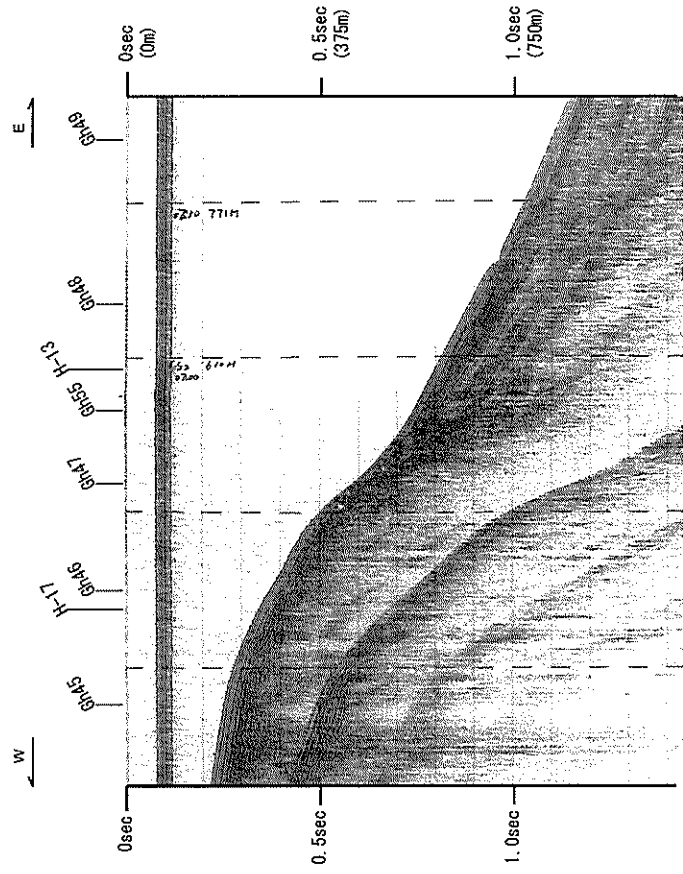


凡 例

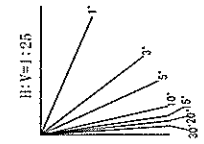
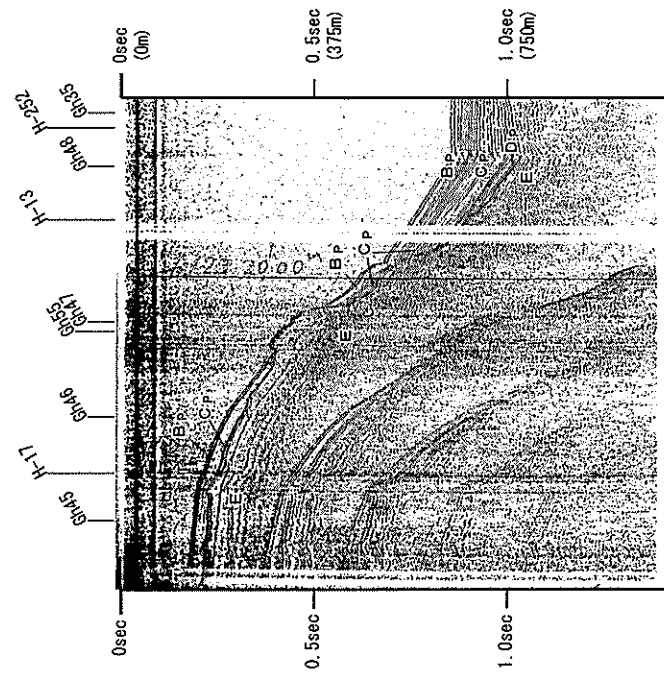
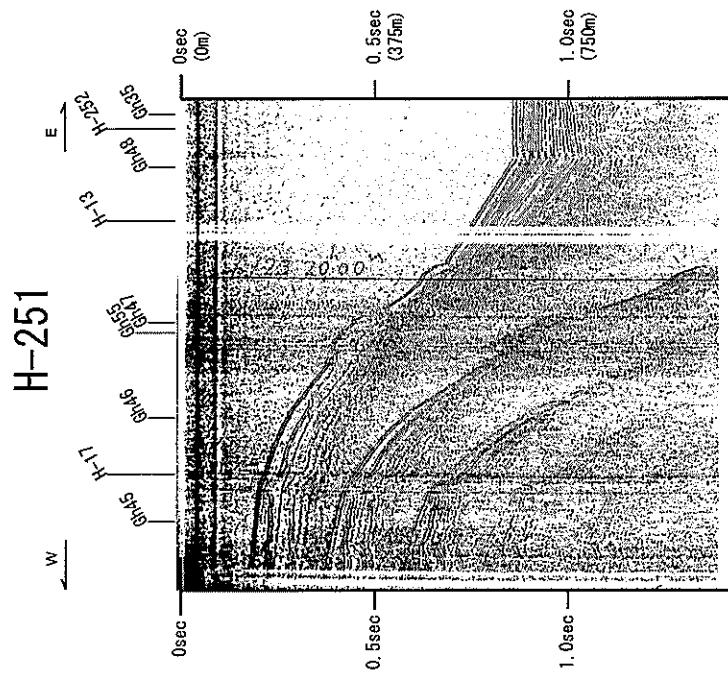
- ┆┆┆ [新編]「日本の活断層」活断層研究会編(1991)による断層
- ┆┆┆ 1/20万海底地質構造図「八戸沖」海上保安庁水路部(1973)による断層
- ┆┆┆ 第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層
- ┆┆┆ 海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線(1972)
- ┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1982)
- ┆┆┆ 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線(1976)
- H-253 音波探査記録解析位置
- G-3
- Gh34

第4.2-136図 F-b断層位置図

Gh36

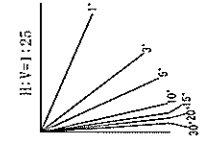
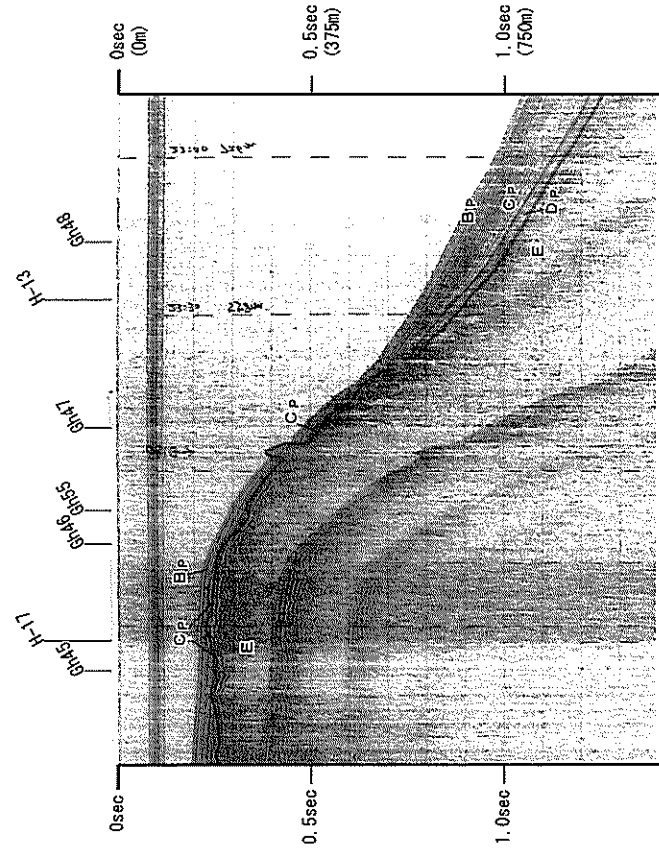
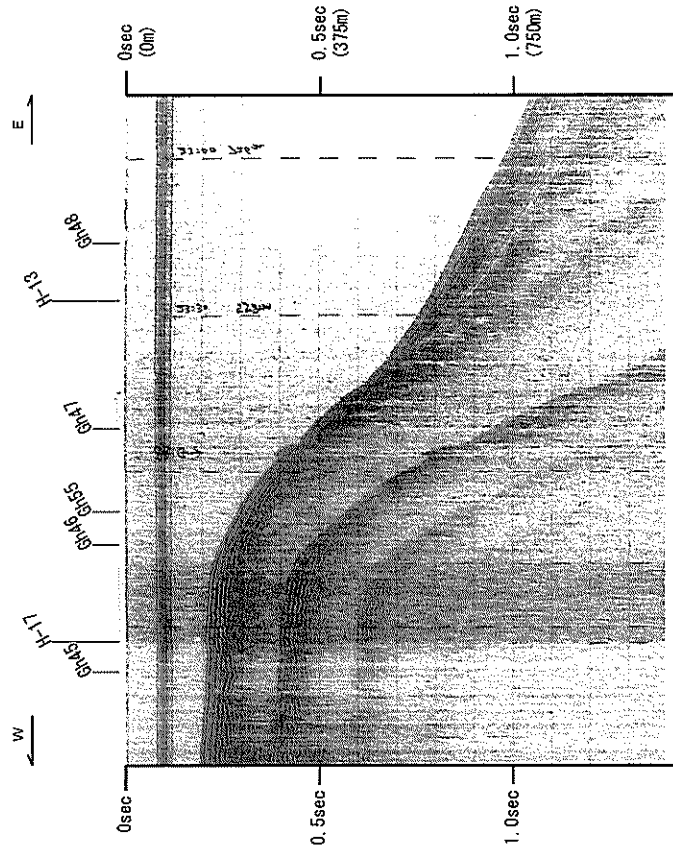


第4.2-137図(2) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh36測線)



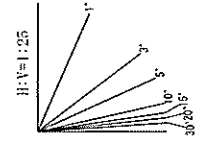
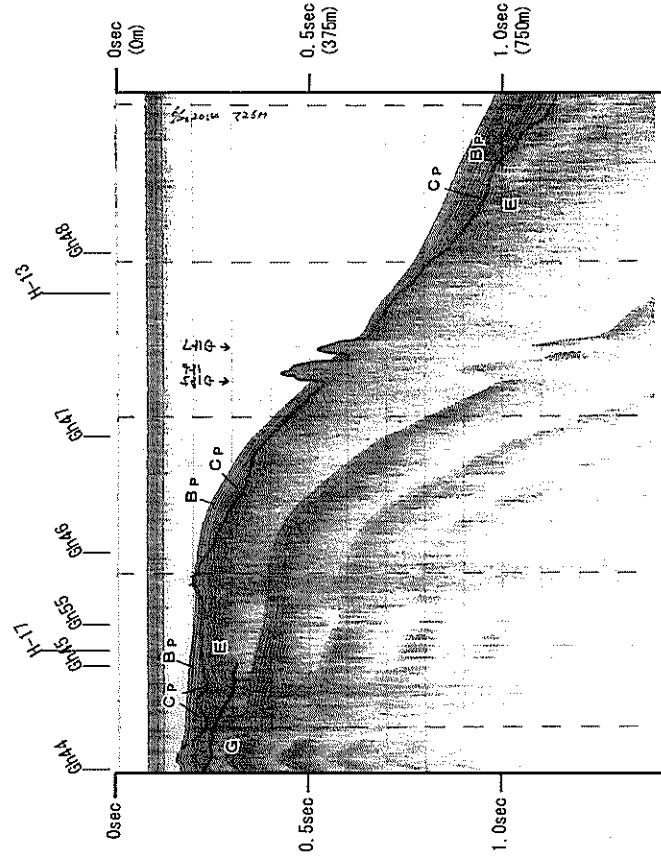
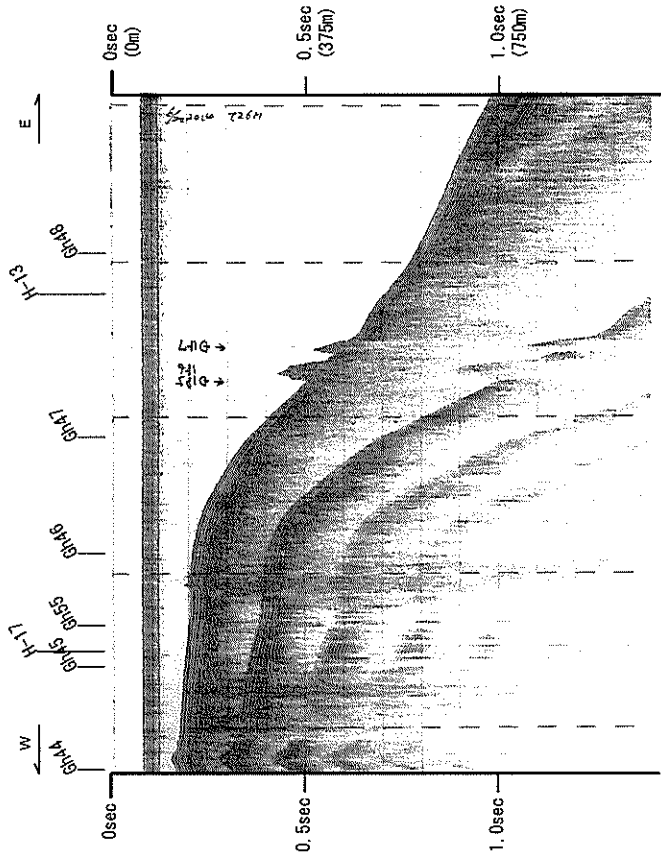
第4.2-137図(3) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-251測線)

Gh35



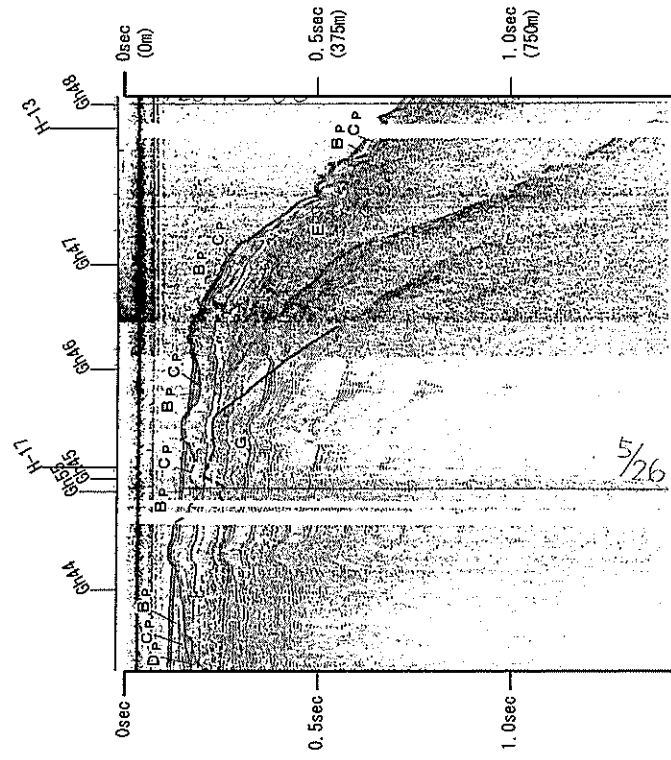
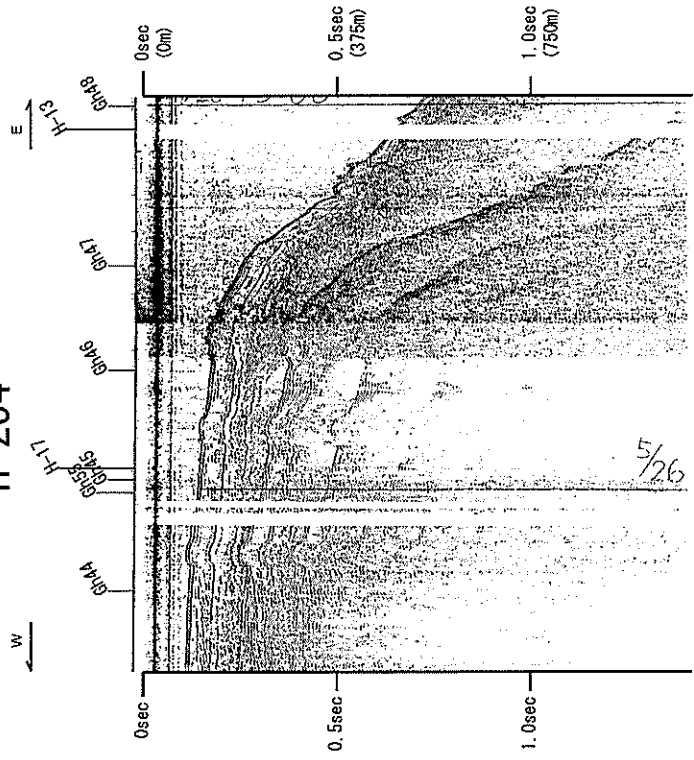
第4.2-137図(4) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh35測線)

Gh34



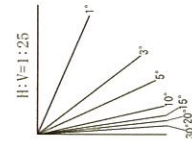
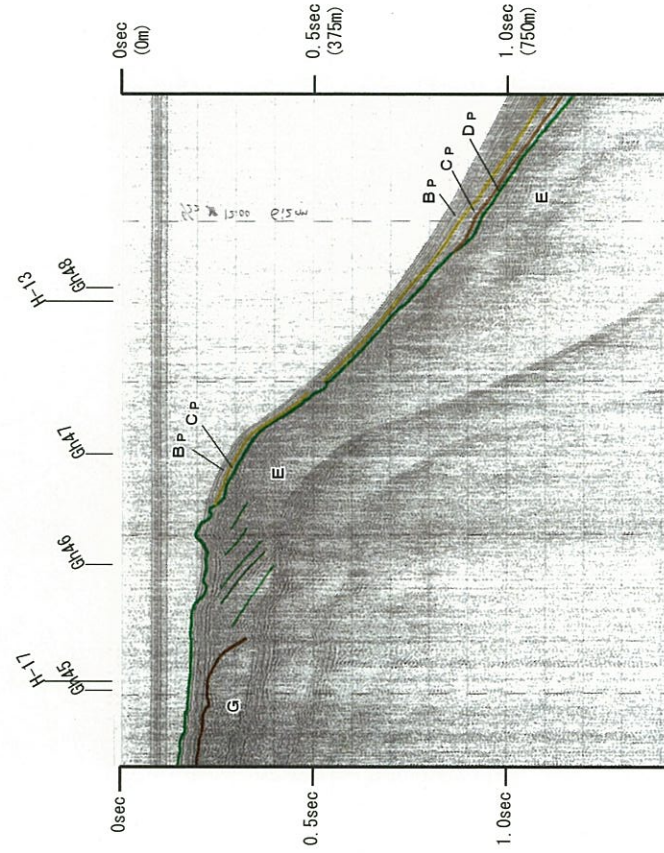
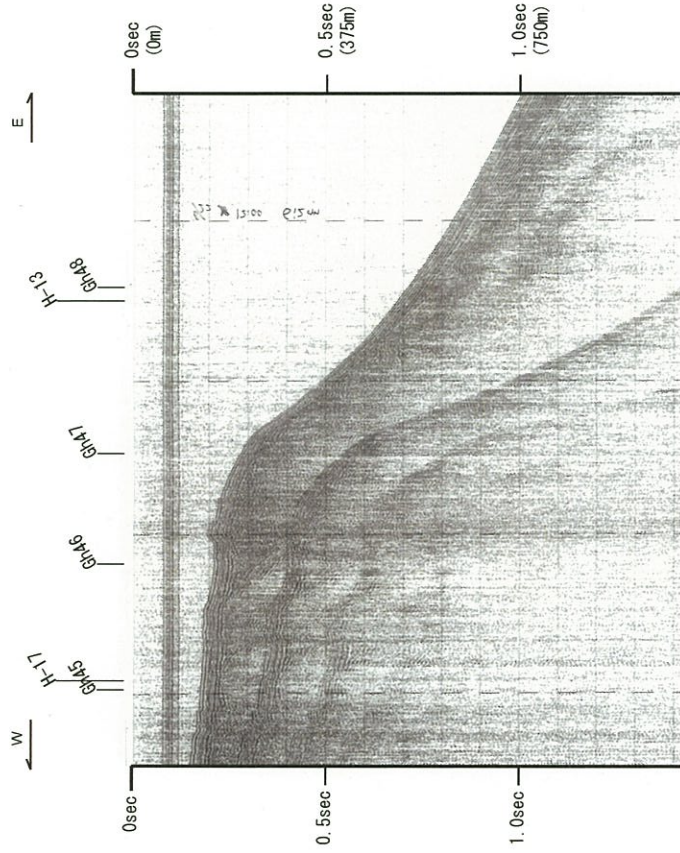
第4.2-137図(5) F-b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh34測線)

H-254



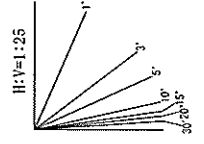
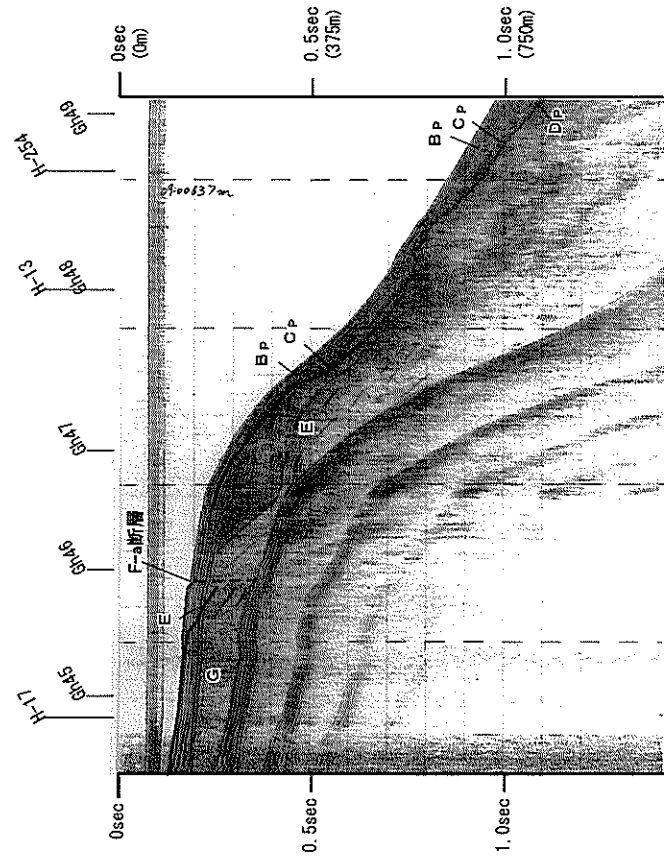
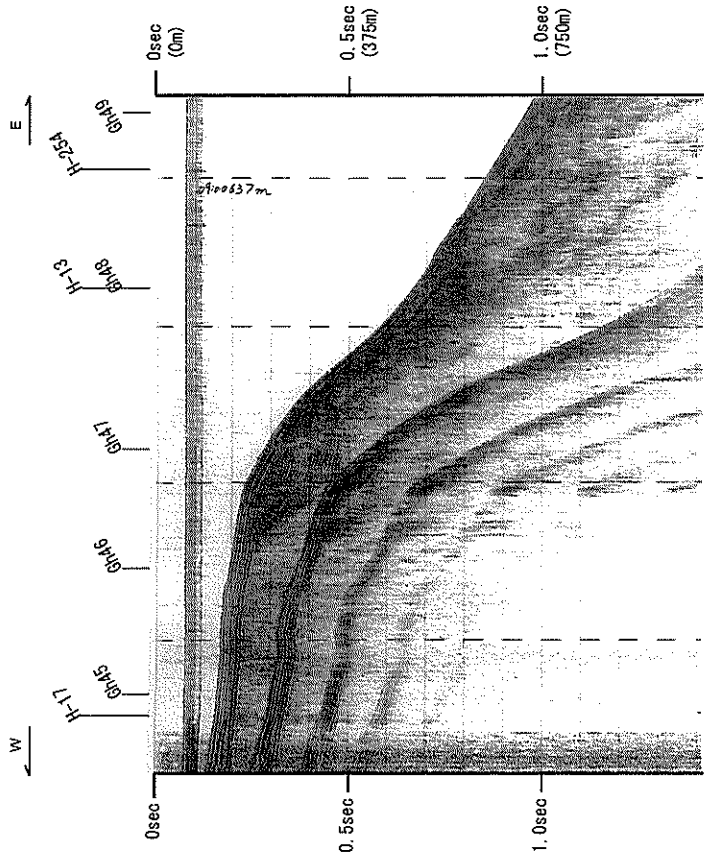
第4.2-137図(6) F-b 断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (H-254測線)

Gh33



第4.2-137図(7) F-b断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh33測線)

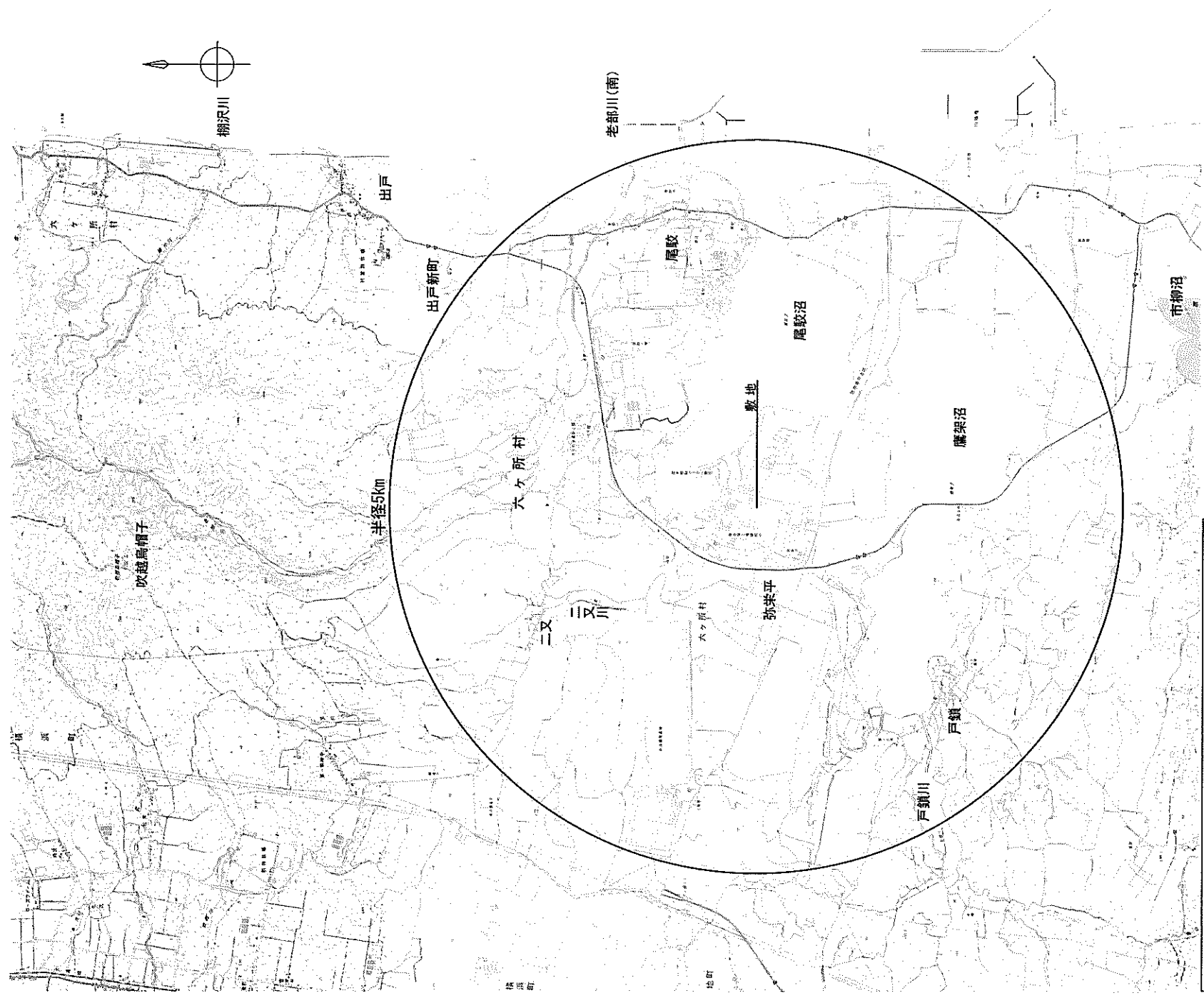
Gh32



断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に衰位もしくは
 波形を与えている可能性を否定できないもの

第4.2-137図 (8) F-a断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (Gh32測線)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。
 複製法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11Hf 1244。
 本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

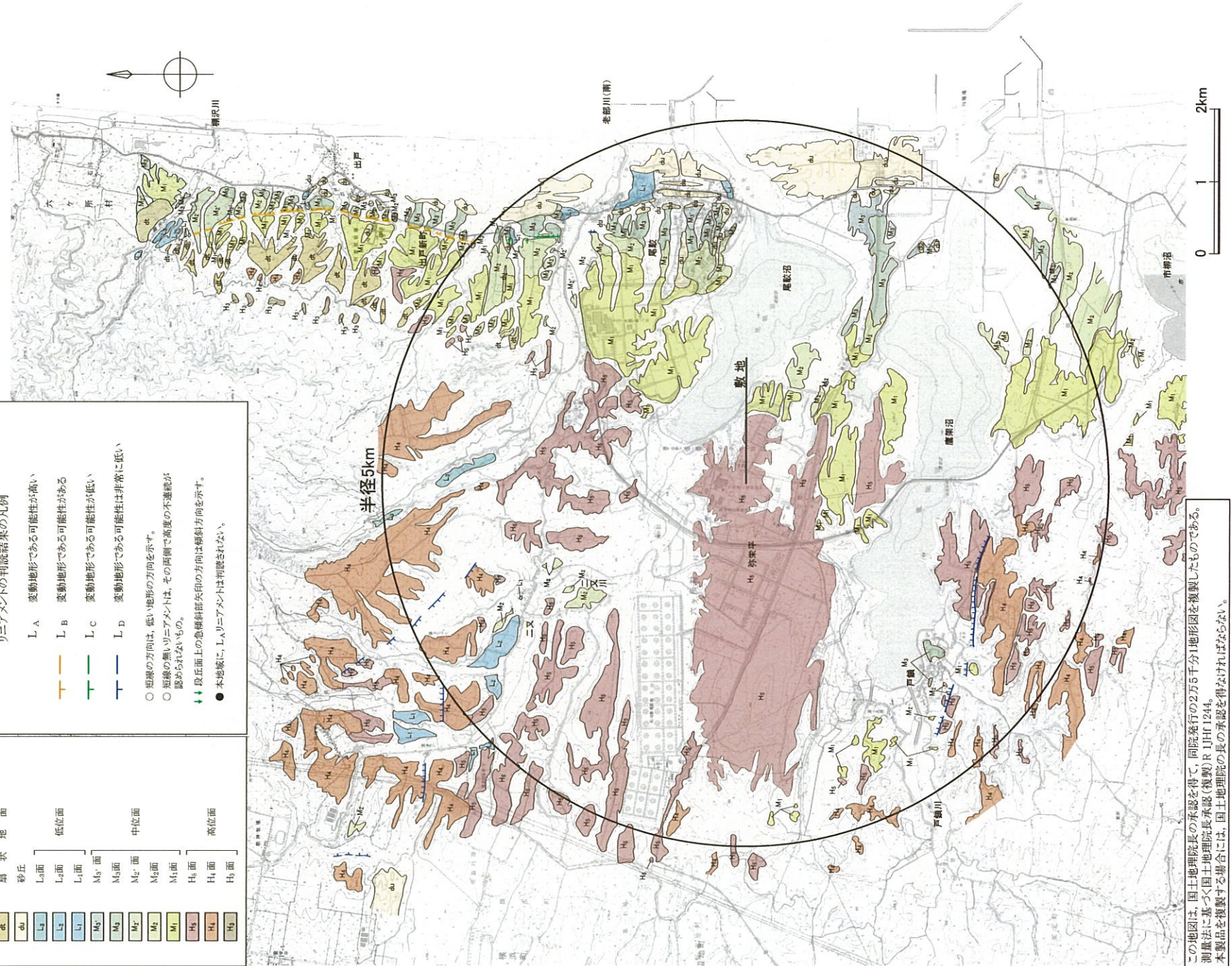
第4.3-1 図 敷地近傍の地形図

地形面区分凡例	
■ 砂状地面	砂状地面
■ 砂丘	砂丘
■ L ₃ 面	低位面
■ L ₂ 面	
■ L ₁ 面	
■ M ₃ 面	中位面
■ M ₂ 面	
■ M ₁ 面	
■ H ₃ 面	高位面
■ H ₂ 面	
■ H ₁ 面	

変動地形に基づいた
リニアメントの判読結果の凡例

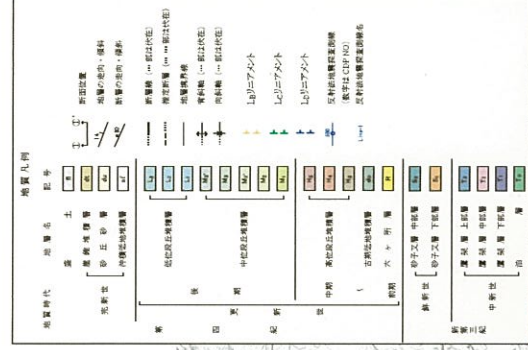
L A 変動地形である可能性が高い
L B 変動地形である可能性がある
L C 変動地形である可能性が低い
L D 変動地形である可能性は非常に低い

○ 短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続性が認められないもの。
⇓⇓ 段丘面上の急傾斜部矢印の方向は傾斜方向を示す。
● 本地域に、L_Aリニアメントは判読されない。



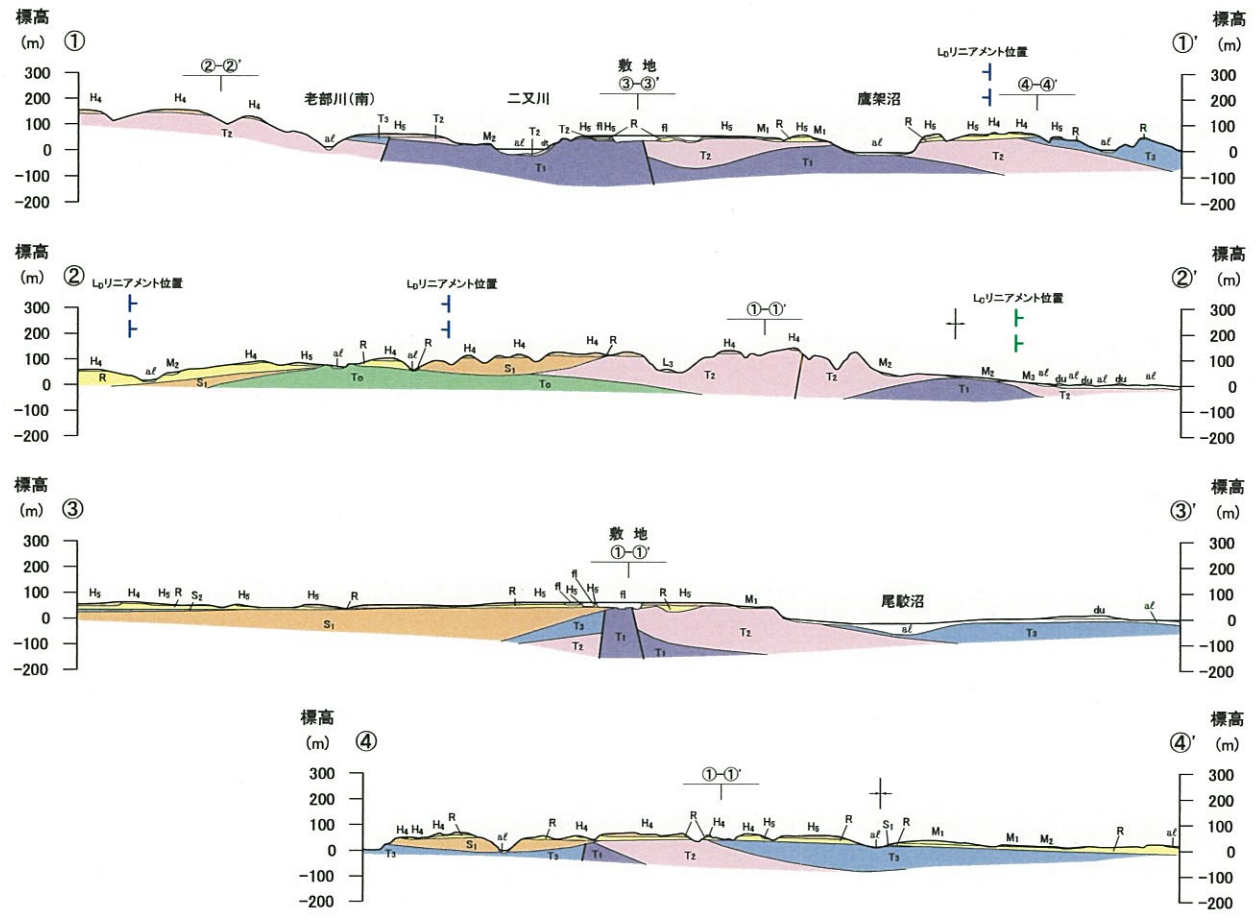
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。
測量法に基づき国土地理院長承認(複製)R.U.H-1244
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

第4.3—2 図 敷地近傍の地形面区分図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。
測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

第4.3-3 図 敷地近傍の地質平面図



地質凡例			
地質時代	地層名	記号	
第 三 紀	盛土	fl	— 地層境界線
	崖錐堆積層	ct	— 断層
	砂丘砂層	du	↕ 背斜軸
	沖積低地堆積層	af	* 向斜軸
新 鮮 新 世	低位段丘堆積層	L _a	↑ Lcリニアメント
	中位段丘堆積層	M ₂	↑ Ldリニアメント
	高位段丘堆積層	M ₁	
	六ヶ所層	R	
	砂子又層 中部層	S ₂	
第 四 紀	砂子又層 下部層	S ₁	
	鷹架層 上部層	T ₃	
	鷹架層 中部層	T ₂	
	鷹架層 下部層	T ₁	
泊層	T ₀		

第4.3-4図 敷地近傍の地質断面図
4-4-449